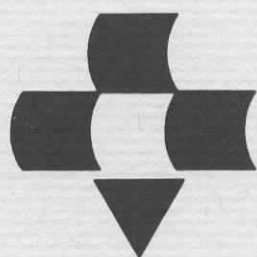


平成13年度

神戸市立博物館年報

No.18



☆目 次☆

| | |
|---------------------------------------|----|
| 沿 革 | 2 |
| 事業概要 (平成13年度) | 5 |
| 1 特別展示 | |
| (1) 第75回特別展 古伊万里のすべて | 6 |
| (2) 第76回特別展 北京・故宫博物院 黄金の至宝展 | 15 |
| (3) 第77回特別展 川西英の新・旧「神戸百景」 | 21 |
| (4) 第78回特別展 異国絵の冒険 | 28 |
| (5) 第79回特別展 古代ローマの輝き 世界遺産 ポンペイ展 | 39 |
| 2 企画展示 | |
| (1) 南蛮紅毛美術企画展示 | 47 |
| (2) 古地図企画展示 | 53 |
| (3) ギャラリー | 60 |
| 3 学習室・図書室 | 63 |
| 4 普及事業 | 64 |
| 5 事業一覧 | 65 |
| 6 刊行物 | 66 |
| 収蔵資料 | |
| 1 新収蔵資料 | |
| (1) 受贈資料 | 69 |
| (2) 購入資料 | 69 |
| 2 指定文化財一覧 | 70 |
| 3 資料補修 | 71 |
| 4 資料の特別利用 | |
| (1) 館外貸出 | 71 |
| (2) 特別利用 | 74 |
| 入館者数 | |
| 1 経 年 | 75 |
| 2 年齢・階層別 | 76 |
| 3 特別展 | 77 |
| 日 誌 | 78 |
| 予 算 | 79 |
| 博物館協議会 | 79 |
| 組織・職員 | 80 |

沿 革

- 昭和48. 9 神戸市立図書館・博物館等調査委員会設置（52.3までに博物館部会を19回開催、視察調査を6回実施）
50. 3 同委員会博物館部会が「神戸における博物館の基本構想」を答申
52. 3 東京銀行と同行神戸支店建物の博物館転用計画について合意
53. 4 教育委員会事務局社会教育部内に新中央図書館・博物館創設準備室を設置
- 7 博物館資料収集協力員を委嘱（各区1名、計9名）
- 8 神戸市立博物館創設準備会議を設置（以降7回開催）
54. 6 博物館展示計画検討会を設置（以降15回開催）
55. 3 東京銀行より同行神戸支店建物を受贈及び土地を買収
- 4 博物館創設準備室と改称。博物館創設担当参与に渡辺昭三就任
- 12 改造及び新築工事、着工
57. 3 竣工
- 4 神戸市立博物館条例公布。博物館組織発足。館長に井尻昌一前助役就任
- 7 神戸市立博物館規則公布
- 11 神戸市立博物館条例及び規則施行。開館記念式典、一般公開。南蛮美術館、考古館閉館
- 11～12 開館記念特別展「海のシルクロード」開催
58. 1～2 受贈記念特別展「南波松太郎収集 古地図の世界」開催
- 2 神戸市立博物館規則一部改正（博物館協議会）。神戸市立博物館協議会を設置
- 2 副館長に檀上重光就任
- 4～5 第3回特別展「神戸の文化財」開催
- 8～9 第4回特別展「びいどろ・ぎやまん」開催
- 10～11 第5回特別展「古地図にみる世界と日本」開催
59. 4～5 第6回特別展「眼鏡絵と東海道五拾三次展」開催
- 8～9 第7回特別展「中国蘇州年画展」開催
- 10～11 第8回特別展「更紗の世界展」開催
- 12 第9回特別展「ヨーロッパのジュエリー展」開催
60. 6～8 第10回特別展「中国五千年の秘宝展」開催
- 8～9 第11回特別展「秘蔵の至宝を一堂に展」開催
- 11～12 第12回特別展「高句麗文化展」開催
61. 1～2 第13回特別展「桃山時代の祭礼と遊楽」開催
- 4～5 第14回特別展「ワーダベ写真展」開催
- 6～7 第15回特別展「西洋の風景展」開催
- 7～8 第16回特別展「狩人の夢」開催
62. 1～2 第17回特別展「甦る幕末写真展」開催
- 4～5 第18回特別展「日本絵画名作展」開催
- 6～7 第19回特別展「神戸はじめ物語展」開催
- 8～9 第20回特別展「ジョルジュ・ビゴー展」開催
- 10～11 第21回特別展「明治のガラス展」開催
63. 4～5 第22回特別展「ジャワ更紗展」「江戸城障壁画の下絵」開催

- 6～7 第23回特別展「中世を旅する聖たち展」開催
- 10～12 第24回特別展「アイルランド・チェスター・ビーティー・コレクション日本絵画名作展」開催
- 平成1. 2～3 第25回特別展「神戸ゆかりの巨匠たち展」開催
- 4～5 第26回特別展「桂林百景展」開催
- 7～8 第27回特別展「大三彩展」開催
- 9～11 第28回特別展「松方コレクション展」開催
- 11 井尻昌一館長退任
- 12～2 受贈記念特別展「秋岡古地図コレクション名品展」開催
- 平成2. 2～3 受贈記念特別展「小磯良平展」開催
- 4 名誉館長に宮崎辰雄前市長就任。船田史郎事務局長、副館長を兼務
- 7～9 第31回特別展「THE びいどろ展—江戸時代のガラス・粹と美—」開催
- 10～11 第32回特別展「手塚治虫展」開催
- 11～12 第33回特別展「没後100年記念 チャールズ・ワーグマン展」開催
3. 2～3 第34回特別展「隠元禅師生誕400年記念 隠元禅師と黄檗宗の絵画展」開催
- 4～5 第35回特別展「ルイス・C・ティファニー展」開催
- 7～9 第36回特別展「ポスター芸術100年展」開催
- 9～10 第37回特別展「神戸市立博物館名品100選」開催
- 10～11 第38回特別展「ジャンニ・ベルサーチ衣裳文化展」開催
4. 2～3 第39回特別展「南蛮見聞録」開催
- 3 檀上重光副館長・船田史郎副館長兼事務局長退任
- 4 副館長兼事務局長に林伸次郎就任
- 4～5 第40回特別展「中国明清名画展」開催
- 5 副館長に崎山昌廣就任
- 6～7 第41回特別展「正倉院の故郷—中国の金・銀・ガラス展」開催
- 10～12 第42回特別展「森英恵とパリオートクチュール」開催
5. 1～3 第43回特別展「銅鐸の世界」開催
2. 20 開館10周年記念講演会（講師 陳舜臣氏）開催
- 3～5 第44回特別展「ルーヴル美術館200年展」開催
- 5～6 第45回特別展「花と鳥たちのパラダイス展」開催
- アーバンリゾートフェア'93「トーマス・マックナイト展」開催
- 7～9 第46回特別展「栄光のオランダ絵画と日本展」開催
- アーバンリゾートフェア'93「アーキテクチュア・フェア KOBE タイムトンネル神戸展」開催
- 9～10 アーバンリゾートフェア'93「印象 神戸絵画展」開催
- 11～12 第47回特別展「太山寺の名宝展」開催
6. 2～4 第48回特別展「アイルランド国立美術館展」開催
- 6～7 第49回特別展「装飾古墳の世界」開催
- 7～9 第50回特別展「鎖国・長崎貿易の華」開催
- 10～11 第51回特別展「横山大観・菱田春草展」開催
7. 1. 17 阪神・淡路大震災により休館（再開までの間、館外企画展を6回開催）
- 4 林伸次郎副館長兼事務局長退任、三輪忠副館長兼事務局長就任

8. 1. 17 再開
 4～6 第52回特別展「オルセー美術館展」開催
 7～9 第53回特別展「マリー・ローランサン展」開催
 9～10 第54回特別展「柳原義達展」開催
 11～12 第55回特別展「司馬江漢 百科事展」開催
9. 2～4 第56回特別展「砂漠の美術館 永遠なる敦煌」開催
 4 三輪忠副館長兼事務局長退任、藤村邦夫副館長兼事務局長就任
 5～7 第57回特別展「デイル・チフリー展」開催
 8～9 第58回特別展「日中歴史海道2000年」開催
 11 第59回特別展「発掘された日本列島'97」開催
10. 1～3 第60回特別展「日蘭交流のかけ橋」開催
 3～5 第61回特別展「大英科学博物館展」開催
 5～6 第62回特別展「MOA 美術館名品展」開催
 7～8 第63回特別展「夏休み子ども博物館 コメはじめ物語」開催
 9 博物館建物（旧横浜正金銀行神戸支店）が登録文化財になる
 9～11 第64回特別展「有馬の名宝」開催
11. 1～3 第65回特別展「唐の女帝・則天武后とその時代展」開催
 6～8 第66回特別展「オルセー美術館展1999」開催
 9～10 第67回特別展 居留地返還100周年記念「神戸・横浜“開化物語”」展開催
 10～12 第68回特別展「大英博物館 古代エジプト展」開催 開館以来の来館者数が400万人突破
12. 1～2 第69回特別展「源平物語絵セレクション」展開催
 2 宮崎辰雄名誉館長逝去（2月22日）
 3～4 第70回特別展「絵図と風景」展開催
 11年度 年間来館者数過去最高の925,945人を記録する
 4 藤村邦夫副館長兼事務局長退任、神内良彦副館長兼事務局長就任
 4～5 第71回特別展 文化財保護法50年記念「海の考古学」開催
 7～9 第72回特別展「びいどろ・ぎやまん・ガラス」開催
 8 笹山幸俊神戸市長が名誉館長に就任
 10～11 第73回特別展「平戸・松浦家名宝展」開催
13. 2～3 第74回特別展「大古墳展」開催
 4～5 第75回特別展「古伊万里のすべて」開催
 6～7 第76回特別展「北京・故宮博物院 黄金の至宝展」開催
 7～9 第77回特別展「川西英の新・旧『神戸百景』」展開催
 9～10 第78回特別展「異国絵の冒険」開催
 11～1 第79回特別展「古代ローマの輝き 世界遺産 ポンペイ展」開催

事業概要

平成13年度の事業報告として、神戸市立博物館年報第18号を発行いたします。神戸市立博物館は、「国際文化交流－東西文化の接触と変容－」を基本テーマとして、以前からあった神戸市立南蛮美術館と考古館を統合し、人文系の博物館として1982(昭和57)年11月に開館しました。博物館の建物は、建築家・桜井小太郎が旧外国人居留地に設計し、1935(昭和10)年に建てられた旧横浜正金銀行神戸支店を増改築したものです(平成10年度登録文化財)。

開館以来、当館は常設展をはじめ、年4～5回の特別展、企画展を開催し、講演会など各種の催しを企画してまいりました。1995(平成7)年1月17日の阪神・淡路大震災では、建物などに被害を受けて一年間の休館を余儀なくされましたが、平成8年度以降は従前通りの活動をおこなってきました。

平成13年度は、特別展として「古伊万里のすべて」・「北京・故宫博物院 黄金の至宝展」・「川西英の新・旧『神戸百景』」・「異国絵の冒険」・「古代ローマの輝き 世界遺産 ポンペイ展」の五展覧会を開催いたしました。また、南蛮紅毛美術企画展として「南蛮美術名品展」・「江戸時代の中国趣味」を、古地図企画展として「古地図と版元」・「世界図の歴史」、ギャラリーでは「神戸ゆかりの芸術家たちⅠ」・「文化遺産としてのモダニズム建築」・「神戸の風景版画」・「神戸ゆかりの芸術家たちⅡ」・「神戸の書展」を開催しました。

普及事業としては夏休み土器づくり教室、博物館たんけん隊、こうべ歴史たんけん隊、ミュージアム講座、ジュニア・ミュージアム講座、講座博物館を楽しむ「日中文化交流をさぐる」を昨年度に引き続き開催しました。そのほか、共催事業も開催いたしております。さらに本年度は初めての協賛事業として、「クロモリット」と「KOBEで結婚式」を博物館を会場として行ないました。

刊行物としては、特別展図録・館蔵品目録・研究紀要・年報・博物館だよりを発行しています。

平成13年度の開館日数は285日、うち特別展は198日。入館者総数は236,862人でした。入館者の内訳は、常設展11,924人、特別展221,465人、普及事業参加者3,473人です。

また、学校団体の来館は160校でした。トライやるウィークも5校16人が研鑽に励みました。博物館実習は、計45人を3班に分けて各5日間行ないました。一方、館外貸出は32件258点、特別利用は1,008件3,462点でした。

指定文化財は、国宝1件21点、重要文化財(付属指定を含む)7件76点、重要美術品2件12点で、昨年度と変更はありません。

この年報により、平成13年度の当館の事業の概要を知っていただくと幸いに存じます。

1. 特別展示

(1) 第75回特別展

古伊万里のすべて

・内 容／

伊万里とは有田を中心とする肥前（佐賀・長崎県の旧国名）一帯で焼かれた磁器の総称です。伊万里の港から積み出されたことから消費地でそう呼ばれるようになり、すでに江戸時代前期には、用いられていました。現在、江戸時代に製作された伊万里焼を広く古伊万里と呼ぶようになっていきます。

日本における磁器生産は、1610年代頃、有田周辺で始まりました。はじめは、朝鮮系の技術でつくられていましたが、1640～50年代に技術革新がなされ、中国磁器を手本とした製法、体制が確立し、肥前の主要産業に成長していきます。1640年代には色絵を施した磁器が製作されるようになります。1653年以降、海外向け製品の注文を受けるようになり、1684年頃をピークとして18世紀初頭まで、染付磁器だけでなく柿右衛門様式や、染付と色絵を併用した豪華な金襴手の磁器が製作され、オランダ東インド会社の手で東南アジアやイスラム地域・ヨーロッパに向けて輸出されました。もちろん、国内向けにも多様な作例が製作され、そこに当時の人々の暮らしの美が反映されました。

この展覧会は、歴史、様式の展開、デザインの変遷、外国製陶磁器への影響、江戸時代の暮らしの中での使われ方、年代判断の目安など、様々な視点から古伊万里へのアプローチを試み、その魅力と美を再発見しようとするものでした。佐賀県・有田町の九州陶磁文化館のコレクションを中心に、当館や日本各地の所蔵家の初公開作品も含め、194件（274点）を展示しました。古伊万里入門の決定版の展覧会と言えるものでした。

- ・ 会 期／平成13年（2001）4月14日（土）～5月20日（日）
- ・ 会 場／特別展示室1、南蛮美術館室
- ・ 主 催／神戸市立博物館、神戸新聞社
- ・ 後 援／文化庁、佐賀県、有田町、サンテレビジョン、AM神戸
- ・ 監 修／佐賀県立九州陶磁文化館
- ・ 入 館 料／（当日・一般）800円
- ・ 開 催 日 数／32日
- ・ 入 館 者 数／20,588人
- ・ 出 品 点 数／194件274点
- ・ 記念講演会／会場 当館地階講堂 午後2時～
 - 4月14日（土）「古伊万里入門」鈴田由紀夫氏（佐賀県教育庁文化課主査）
 - 5月5日（土）「古伊万里の中の日本と西洋」岡 泰正（当館学芸課主査・学芸員）
 - 5月12日（土）スライドレクチャー「兵庫津出土の古伊万里」藤井太郎（当館学芸員）
- ・ 本展は、福岡三越ギャラリー、三越日本橋本店、ひろしま美術館（当地で芸予地震にあう）、そして神戸で開催、その後、香川県歴史博物館に巡回した。

古伊万里のすべて

The Variety and Bounty of Old Imari



伊万里とは有田を中心とする肥前(佐賀・長崎県の旧国名)一帯で焼かれた磁器の総称です。伊万里の港から積み出されたことから消費地で呼ばれるようになり、すでに江戸時代前期には、用いられていました。現在、江戸時代に製作された伊万里焼を広く古伊万里と呼ぶようになっています。

今回の展覧会は、歴史、様式の展開、デザインの変遷、外国磁器への影響、江戸時代の暮らしの中での使われ方、年代判断の目安など、様々な視点から古伊万里へのアプローチを試み、その魅力と美を再発見しようとするものです。佐賀県・有田町の九州陶磁文化館のコレクションを中心に、日本各地の所蔵家の初公開作品も含め、275点(195件)を展示します。古伊万里入門の決定版の展覧会と言えるでしょう。

あなたの古伊万里度をチェック!

Q1 どちらが古い?


Q2 どちらが古い?


Q3 どちらが古伊万里?


Q4 どちらが古伊万里?


Q5 皿の底(高台)はどんな形?


Q6 皿の底(高台)はどんな形?


Q7 初期伊万里様式はどちら?


Q8 柿右衛門様式はどちら?


Q9 古伊万里様式はどちら?


Q10 どちらが高価?


図版はいずれも出品作品です。表の色絵大壺、大瓶以外の掲載作品は、すべて佐賀県立九州陶磁文化館所蔵。

こたえ

Q1②/①は江戸後期、②は江戸初期。江戸初期の方が素地が陶器を思わせる黒須(コバルト)が黒みを帯びています。Q2①/②は江戸初期、②は江戸後期。初期伊万里は高台が小さい。Q3①/②は中国・景德鎮製。写しである伊万里の方が絵付けが形式化しており、景德鎮製は口辺に虫喰い(釉切れ)が見られます。Q4②/①はフランス製。磁器の色合いが微妙に違い、とくに顔の表情が洋風になっています。Q5①/②の図のようにロクロで作りにくい形は、板状の粘土を型にはりつけ、高台も形状に合わせて貼りつけています。Q6②/①輪花皿は型にかぶせて変形させたあと、回転させて高台を削り出す型打ち成形のため、丸くなります。Q7①/②初期は陶器を思わせるやわらかな釉の調子と力強い絵付けが特徴。Q8①/②柿右衛門様式は、古九谷様式に比べ、乳白色の素地の余白を生かし、繊細な線描きが特徴があります。Q9①/②輸出タイプに多く見られる古伊万里様式は、染付の黒須の色と上絵の赤、金の配色に特徴があり、初期赤絵とは際違った違いを示しています。Q10②/①二点とも茶の湯の水指です。一般に古伊万里の中でも茶道具は高価ですが、とりわけ初期伊万里はさらに高くなるためです。

あなたの古伊万里度を採点(正解は各1点)

- 8~10点 あなたは古伊万里博士。
- 4~7点 もうひと息で古伊万里通。
- 0~3点 「古伊万里のすべて」展をご覧ください。

講演会

- 4月14日(土) 記念講演会「古伊万里入門」 鈴田由紀夫氏(佐賀県立九州陶磁文化館学芸員)
 - 5月5日(土) 記念講演会「古伊万里の中の日本と西洋」 岡 泰正(神戸市立博物館主査・学芸員)
 - 5月12日(土) スライドレクチャー「兵庫津出土の古伊万里」 藤井太郎(神戸市立博物館学芸員)
- (すべて午後2時より・当館地階講堂において。事前申し込み不要 当日先着180名聴講料無料、ただし入館券が必要です。)

神戸市立博物館
Kobe City Museum

〒650-0034 神戸市中央区京町24番地
TEL.078-391-0035 FAX.078-392-7054

テレホンサービス (078) 332-7810 当館で開催中の展覧会に関する情報をお伝えしています。



出品リスト

| 作品名 | 産地/作者 | 年代 | 寸法 | 所蔵 |
|-----------------|-------|-----------|--------------------------------|-------------------------------|
| 1. 初期伊万里 | | | | |
| 1 染付唐花文大皿 | 有田 | 1610～30年代 | 口径37.0 高さ10.0 底径10.6 | 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵 (柴田夫妻コレクション) |
| 2 染付松竹梅文瓶 | 有田 | 1620～30年代 | 口径4.5 高さ26.8 底径12.1 | 岩尾對山窯所蔵 |
| 3 染付草花文瓶 | 有田 | 1620～40年代 | 口径5.2 高さ24.6 底径10.3 | 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵 |
| 4 染付梅松文瓶 | 有田 | 1630～40年代 | 口径5.2 高さ22.3 底径6.8 | 個人蔵 |
| 5 染付松竹梅文手付水注 | 有田 | 1630～40年代 | 口径3.7 高さ19.8 底径7.3 | 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵 |
| 6 染付山水文胴締水指 | 有田 | 1610～30年代 | 口径12.0 高さ17.2 底径9.7 | 青毬庵コレクション |
| 7 染付牛人物文水指 | 有田 | 1610～30年代 | 口径9.8 高さ16.9 底径9.7 | 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵 |
| 8 染付葡萄文大皿 | 有田 | 1630～40年代 | 口径36.8 高さ9.2 底径10.7 | 青毬庵コレクション |
| 9 染付唐獅子文大皿 | 有田 | 1630～40年代 | 口径45.7 高さ13.3 底径12.2 | 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵 |
| 10 瑠璃釉陰刻魚文大皿 | 有田 | 1630～40年代 | 口径25.2 高さ4.2 底径8.2 | 青毬庵コレクション |
| 11 染付吹墨山羊文皿 | 有田 | 1610～30年代 | 口径17.1 高さ2.5 底径5.8 | 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵 (柴田夫妻コレクション) |
| 12 染付吹墨月兎文皿 | 有田 | 1630～40年 | 口径20.0 高さ3.6 底径6.4 | 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵 (柴田夫妻コレクション) |
| 13 染付兎網目文皿 | 有田 | 1630～40年 | 口径15.7 高さ2.8 底径7.2 | 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵 (柴田夫妻コレクション) |
| 14 染付木賊文皿 | 有田 | 1630～40年代 | 口径19.5 高さ3.6 底径6.6 | 個人蔵 |
| 15 染付蓬萊山文皿 | 有田 | 1630～40年 | 口径23.5 高さ3.0 底径8.3 | 個人蔵 |
| 16 染付松竹文輪花小鉢 | 有田 | 1630～40年代 | 口径10.7 高さ7.7 底径4.6 | 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵 (柴田夫妻コレクション) |
| 17 染付錆釉山水文菱形小鉢 | 有田 | 1630～50年代 | 口径10.0×8.8 高さ8.4 底径9.4×9.2 | 青毬庵コレクション |
| 18 白磁鑄文猪口 | 有田 | 1620～40年代 | 口径8.6 高さ8.5 底径5.2 | 個人蔵 |
| 19 青磁象嵌鶴文香炉 | 有田 | 1630～40年代 | 口径3.4 高さ4.2 底径3.6 | 個人蔵 |
| 20 青磁染付鷺文香合 | 有田 | 1630～40年代 | 径6.4×5.3 高さ2.6 | 今右衛門古陶磁美術館所蔵 |
| 21 瑠璃釉雉形香合 | 有田 | 1630～40年代 | 径3.1×2.9 高さ7.1 底径3.4×3.3 | 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵 (柴田夫妻コレクション) |
| 22 色絵孔雀形香合 | 有田 | 1640～50年代 | 径5.5×3.8 高さ8.6 底径3.6×2.8 | 個人蔵 |
| 23 染付辰砂釉鶴形香合 | 有田 | 1630～40年代 | 径3.4×3.2 高さ6.8 | 青毬庵コレクション |
| 24 錆絵菊花文皿 | 有田 | 1630～40年代 | 口径17.3 高さ5.5 底径6.5 | 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵 (柴田夫妻コレクション) |
| 25 錆瑠璃釉華鳥風月字文瓶 | 有田 | 1630～50年代 | 口径2.4 高さ20.1 底径7.9 | 岩尾對山窯所蔵 |
| 26 白磁釉彩貼花梅松文壺 | 有田 | 1630～40年代 | 口径7.6 高さ11.5 底径8.5 | 青毬庵コレクション |
| 27 染付輪繫菊花文皿 | 有田 | 1640年代 | 口径20.7 高さ3.4 底径10.1 | 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵 (柴田夫妻コレクション) |
| 28 染付棕欄丸文葉形皿 | 有田 | 1640～50年代 | 口径16.0×13.5 高さ3.7 底径9.9×8.4 | 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵 |
| 29 染付山水唐草文輪花大皿 | 有田 | 1640～50年代 | 口径40.9 高さ8.8 底径22.2 | 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵 (柴田夫妻コレクション) |
| 2. 初期色絵 | | | | |
| 30 色絵燕子鳥文輪花大皿 | 有田 | 1640～50年代 | 口径30.5 高さ8.2 底径18.6 | 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵 (柴田夫妻コレクション) |

| 作品名 | 産地/作者 | 年代 | 寸法 | 所蔵 |
|-----------------|-------|-----------|--------------------------------|-------------------------------|
| 31 色絵網目文瓢形瓶 | 有田 | 1640年代 | 口径2.9 高さ28.2 底径8.8 | 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵 |
| 32 色絵菊鳥文輪花皿 | 有田 | 1640~50年代 | 口径20.2 高さ3.0 底径13.5 | 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵 (柴田夫妻コレクション) |
| 33 色絵竹虎文大皿 | 有田 | 1650~60年代 | 口径31.5 高さ7.2 底径16.5 | 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵 |
| 34 色絵菊唐草文大皿 | 有田 | 1650~60年代 | 口径32.4 高さ15.4 底径6.5 | 個人蔵 |
| 35 色絵窓絵盆栽文皿 | 有田 | 1650~60年代 | 口径19.3 高さ4.6 底径7.4 | 源右衛門窯古伊万里資料館所蔵 |
| 36 色絵鶴丸形瓶 | 有田 | 1650~60年代 | 径16.0 高さ21.4 底径8.7×7.6 | 神戸市立博物館所蔵 |
| 37 色絵如意頭文棧花形香炉 | 有田 | 1650~60年代 | 口径5.1×4.4 高さ5.0 底径5.2 | 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵 (柴田夫妻コレクション) |
| 38 色絵桐鳳凰文茶入 | 有田 | 1640~50年代 | 口径3.3 高さ6.7 底径3.4 | 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵 (柴田夫妻コレクション) |
| 39 薄瑠璃色絵山水文角香炉 | 有田 | 1640~50年代 | 口径5.9×5.8 高さ7.0 底径5.3×5.1 | 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵 (柴田夫妻コレクション) |
| 40 瑠璃釉金銀彩山水文角香炉 | 有田 | 1650~60年代 | 口径3.8×3.5 高さ6.1 底径5.3×5.2 | 個人蔵 |
| 41 辰砂釉金銀彩竹文輪花皿 | 有田 | 1650~60年代 | 口径14.7 高さ2.3 底径8.4 | 個人蔵 |
| 42 瑠璃釉鷲文富士山形皿 | 有田 | 1650~70年代 | 口径18.7×9.3 高さ3.1 底径12.0×4.4 | 個人蔵 |
| 43 色絵陽刻椿文変形皿 | 有田 | 1650~70年代 | 口径15.2×12.3 高さ3.1 底径8.5×6.3 | 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵 (柴田夫妻コレクション) |

3. 初期伊万里からの脱皮

| | | | | |
|---------------|----|-------------|---------------------------------|-------------------------------|
| 44 染付魚文皿 | 有田 | 1650~60年代 | 口径21.1 高さ2.0 底径12.5 | 個人蔵 |
| 45 染付鹿寿老人文大瓶 | 有田 | 1650~60年代 | 口径7.0 高さ40.3 底径12.7 | 個人蔵 |
| 46 染付山水文茶筌形瓶 | 有田 | 1650~60年代 | 口径4.1 高さ34.0 底径9.6 | 個人蔵 |
| 47 染付山水捻文大皿 | 有田 | 1650~60年代 | 口径38.3 高さ8.3 底径6.8 | 個人蔵 |
| 48 染付鶴文輪花皿 | 有田 | 1650~60年代 | 口径28.1 高さ4.9 底径17.0 | 個人蔵 |
| 49 染付芙蓉手花鳥文大皿 | 有田 | 1650~60年代 | 口径54.1 高さ14.0 底径21.5 | 個人蔵 |
| 50 染付芙蓉手草花文大皿 | 有田 | 1650~60年代 | 口径54.0 高さ13.5 底径22.3 | 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵 |
| 51 青磁龍獅子文角大皿 | 有田 | 1650~60年代 | 口径36.0×36.0 高さ8.3 底径19.6 | 個人蔵 |
| 52 染付大根文皿 | 有田 | 1660~80年代 | 口径21.0 高さ3.6 底径13.2 | 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵 (柴田夫妻コレクション) |
| 53 染付陽刻文兎形皿 | 有田 | 1660~80年代 | 口径15.0 高さ2.5 底径7.1 | 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵 (柴田夫妻コレクション) |
| 54 染付桜花波文長丸皿 | 有田 | 1660~80年代 | 口径16.2×13.0 高さ3.2 底径10.1×7.2 | 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵 |
| 55 染付陽刻字文変形小皿 | 有田 | 1660~70年代 | 口径10.5×7.9 高さ2.4 底径7.2×4.0 | 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵 (柴田夫妻コレクション) |
| 56 染付陽刻文蝶形皿 | 有田 | 1670~1700年代 | 口径13.5×9.8 高さ2.5 底径8.2×5.0 | 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵 (柴田夫妻コレクション) |

4. 色絵の展開

| | | | | |
|--------------|----|-----------|----------------------|-------------------------------|
| 57 色絵孔雀花文大皿 | 有田 | 1650~60年代 | 口径32.8 高さ7.1 底径13.7 | 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵 (柴田夫妻コレクション) |
| 58 色絵金彩花鳥文合子 | 有田 | 1650~60年代 | 口径22.7 高さ10.6 底径10.1 | 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵 (柴田夫妻コレクション) |
| 59 色絵沢瀉梅花文瓶 | 有田 | 1650~60年代 | 口径3.6 高さ27.6 底径10.0 | 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵 |
| 60 色絵牡丹文壺 | 有田 | 1660~70年代 | 口径12.6 高さ27.9 底径11.5 | 個人蔵 |
| 61 色絵楼閣山水文瓶 | 有田 | 1660~80年代 | 口径3.3 高さ23.1 底径9.4 | 個人蔵 |

| 作品名 | 産地／作者 | 年代 | 寸法 | 所蔵 |
|------------------------|-------|-------------|----------------------------------|-------------------------------|
| 62 色絵岩牡丹文瓶 | 有田 | 1660～80年代 | 口径3.4 高さ19.0 底径6.8 | 個人蔵 |
| 63 色絵桜花文瓢形瓶 | 有田 | 1650～70年代 | 口径2.7 高さ26.3 底径8.1 | 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵 |
| 64 錆釉色絵水仙文皿 | 有田 | 1660～80年代 | 口径21.0 高さ3.3 底径13.0 | 個人蔵 |
| 5. 染付の完成 | | | | |
| 65 染付蜘蛛巣文八角皿 | 有田 | 1673～81年 | 口径21.1 高さ3.8 底径15.0 | 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵 |
| 66 染付鶴鴛沢瀉文輪花皿 | 有田 | 1660～70年代 | 口径21.8 高さ2.9 底径14.5 | 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵 (柴田夫妻コレクション) |
| 67 染付松鶉文折縁角皿 | 有田 | 1660～70年代 | 口径18.6×15.9 高さ4.2 底径12.1×9.5 | 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵 (柴田夫妻コレクション) |
| 68 染付鶉草文皿 | 有田 | 1670～80年代 | 口径15.4 高さ3.3 底径9.7 | 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵 (柴田夫妻コレクション) |
| 69 青磁染付鳥文葉形大皿 | 有田 | 1660～80年代 | 口径30.8 高さ7.7 底径17.2×17.2 | 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵 (柴田夫妻コレクション) |
| 70 青磁染付菊文輪花皿 | 有田 | 1670～80年代 | 口径29.4 高さ8.8 底径16.0 | 個人蔵 |
| 71 染付菊鳥文蓋付壺 | 有田 | 1660～80年代 | 口径10.5 高さ26.5 底径9.8 | 個人蔵 |
| 72 染付若松文皿 | 有田 | 1670～80年代 | 口径18.7 高さ2.4 底径14.0 | 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵 (柴田夫妻コレクション) |
| 73 染付海老文輪花皿 | 有田 | 1670～80年代 | 口径18.3 高さ2.8 底径12.5 | 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵 (柴田夫妻コレクション) |
| 74 染付鮎文輪花皿 | 有田 | 1670～90年代 | 口径28.1 高さ5.0 底径17.6 | 個人蔵 |
| 75 染付竹鶴文扇形蓋物 | 有田 | 1670～90年代 | 口径23.3×16.0 高さ8.0 底径17.0×12.0 | 個人蔵 |
| 76 染付獅子唐草文八角皿 | 有田 | 1670～90年代 | 口径18.0 高さ3.0 底径11.5 | 個人蔵 |
| 6. 色絵の完成と柿右衛門様式 | | | | |
| 77 色絵唐草文菊花形皿 | 有田 | 1670～90年代 | 口径16.1 高さ3.4 底径9.4 | 個人蔵 |
| 78 色絵菊牡丹文角瓶 | 有田 | 1670～90年代 | 口径5.4 高さ28.7 底径11.0×10.9 | 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵 |
| 79 色絵花鳥文角壺 | 有田 | 1670～90年代 | 口径9.4 高さ34.7 底径12.8×12.5 | 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵 |
| 80 色絵花鳥文六角壺 | 有田 | 1670～90年代 | 口径11.0 高さ31.3 底径13.2 | 個人蔵 |
| 81 色絵獅子牡丹文十角皿 | 有田 | 1670～90年代 | 口径24.1 高さ4.1 底径15.4 | 個人蔵 |
| 82 色絵花鳥文菊花形皿 | 有田 | 1670～90年代 | 口径24.0 高さ6.9 底径13.8 | 個人蔵 |
| 83 色絵扇葡萄文婦人像 | 有田 | 1670～90年代 | 高さ38.9 底径11.2×10.5 | 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵 |
| 7. 染付と白磁の展開 | | | | |
| 84 染付瑠璃釉花鳥文輪花大鉢 | 有田 | 1680～1700年代 | 口径36.7 高さ14.8 底径18.0 | 個人蔵 |
| 85 染付波貝千鳥文水指 | 有田 | 1880～1700年代 | 口径11.4 高さ16.2 底径11.6 | 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵 (柴田夫妻コレクション) |
| 86 染付龍鳳文釣鐘形水指 | 有田 | 1670～90年代 | 口径9.5 高さ21.0 底径20.5 | 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵 |
| 87 染付梅竹龍文釣鐘形被香炉 | 有田 | 1670～90年代 | 高さ26.5 底径21.7 | 個人蔵 |
| 88 白磁雪輪形三足皿 | 有田 | 1670～90年代 | 口径14.9 高さ4.1 底径9.6 | 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵 |
| 89 白磁紅葉流水文輪繫鉢 | 有田 | 1670～90年代 | 口径25.5 高さ8.5 底径13.5 | 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵 (柴田夫妻コレクション) |
| 90 染付唐花文輪繫鉢 | 有田 | 1680～90年代 | 口径25.4 高さ8.8 底径12.7 | 個人蔵 |
| 91 染付梅鳥文菊花形小皿 | 有田 | 1690～1720年代 | 口径9.0×4.9 高さ2.0 底径4.9×2.5 | 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵 (柴田夫妻コレクション) |

| 作品名 | 産地/作者 | 年代 | 寸法 | 所蔵 |
|-------------------------|-------|-------------|--|-------------------------------|
| 92 染付雪輪唐草文波縁小皿 | 有田 | 1690~1720年代 | 口径9.4×4.8 高さ1.5 底径6.5×3.3 | 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵 (柴田夫妻コレクション) |
| 8. 古伊万里様式の展開 | | | | |
| 93 色絵花文台付花瓶 | 有田 | 1690~1730年代 | 口径7.2 高さ28.1 底径15.2 | 個人蔵 |
| 94 色絵布袋童子文香炉 | 有田 | 1690~1720年代 | 高さ26.2 底径17.5 | 個人蔵 |
| 95 色絵柘榴牡丹文輪形水注 | 有田 | 1700~30年代 | 高さ25.9 底径15.0×9.3 | 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵 (江口茂氏贈) |
| 96 錆色色絵芥子文栗形蓋物 | 有田 | 1680~1700年代 | 口径18.5×16.5 高さ9.0 | 今右衛門古陶磁美術館所蔵 |
| 97 瑠璃釉白磁花文蓋付鉢 | 有田 | 1700~40年代 | 口径19.0 高さ19.5 底径10.0 | 個人蔵 |
| 98 染付牡丹菊文蓋付壺 | 有田 | 1670~90年代 | 口径14.5 高さ46.0 底径15.5 | 個人蔵 |
| 99 色絵鳳凰花門八角大壺 広口八角大瓶 | 有田 | 1690~1730年代 | 壺:口径22.0 高さ89.5 底径19.8 瓶:口径29.5 高さ61.8 底径14.0 | 個人蔵 |
| 100 色絵花籠婦人文大皿 | 有田 | 1690~1730年代 | 口径37.0 高さ7.4 底径17.3 | 個人蔵 |
| 101 色絵幔幕人物文大皿 (一対) | 有田 | 1690~1730年代 | 口径40.0 高さ7.0 底径22.9 | 個人蔵 |
| 102 色絵扇面桜花文花傘婦人像 | 有田 | 1700~50年代 | 高さ30.5 底径10.5×8.6 | 個人蔵 |
| 103 色絵菊薊文婦人像 | 有田 | 1700~50年代 | 高さ44.5 底径12.9×13.5 | 個人蔵 |
| 104 色絵菊薊文婦人像 | 有田 | 1700~50年代 | 高さ36.0 底径13.1×13.0 | 個人蔵 |
| 105 色絵七宝文男像 | 有田 | 1700~50年代 | 高さ36.5 底径12.7×11.7 | 個人蔵 |
| 106 色絵菖蒲文傘持婦人像 | 有田 | 1700~50年代 | 高さ26.1 底径10.1×9.0 | 個人蔵 |
| 107 色絵菊花流水文婦人像 | 有田 | 1700~50年代 | 高さ61.5 底径19.5×18.5 | 個人蔵 |
| 108 色絵松葉流水文扇持男像 | 有田 | 1700~50年代 | 高さ64.3 底径20.3×19.0 | 個人蔵 |
| 109 染付雪輪唐草文段重瓶 | 有田 | 1680~1720年代 | 口径3.1 高さ25.0 底径12.5 | 個人蔵 |
| 110 色絵桜梅竹文六角瓶 | 有田 | 1700~30年代 | 口径3.9 高さ33.5 底径16.0 | 個人蔵 |
| 111 色絵菊文角瓶 | 有田 | 1690~1730年代 | 口径4.2 高さ25.0 底径10.6×10.5 | 個人蔵 |
| 112 色絵梅鶯文角瓶 | 有田 | 1700~30年代 | 口径2.4 高さ20.5 底径8.4×8.2 | 個人蔵 |
| 113 色絵豚置物 | 有田 | 1690~1730年代 | 口径45.0×11.7 高さ26.2 底径24.0×11.0 | 個人蔵 |
| 114 色絵犬置物 | 有田 | 1690~1730年代 | 右:高さ40.1 底径22.3×9.4 左:高さ41.2 底径18.5×9.5 | 個人蔵 |
| 115 色絵唐花文朝顔形鉢 | 有田 | 1690~1710年代 | 口径21.1 高さ8.8 底径9.1 | 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵 (柴田夫妻コレクション) |
| 116 色絵菊花地文菊花形鉢 | 有田 | 1690~1710年代 | 口径29.2 高さ10.8 底径15.2 | 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵 (柴田夫妻コレクション) |
| 117 色絵赤玉雲龍文鉢 | 有田 | 1690~1710年代 | 口径26.0 高さ10.3 底径11.7 | 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵 |
| 118 色絵弓浜文変形皿 | 有田 | 1690~1730年代 | 口径29.7×19.5 高さ4.7 底径21.6×12.7 | 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵 |
| 9. 蕎麦猪口の変遷 | | | | |
| 119 色絵松竹梅文猪口 | 有田 | 1750~80年代 | 口径6.9 高さ5.2 底径3.5 | 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵 (柴田夫妻コレクション) |
| 120 染付菊花唐草文猪口 | 有田 | 1700~30年代 | 口径7.3 高さ5.2 底径4.3 | 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵 (鍋島則子氏贈) |
| 121 染付藤草花文猪口 | 有田 | 1700~40年代 | 口径6.8 高さ6.4 底径4.9 | 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵 (鍋島則子氏贈) |
| 122 染付水裂文猪口 | 肥前 | 1720~60年代 | 口径7.5 高さ5.6 底径4.3 | 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵 (鍋島則子氏贈) |

| 作品名 | 産地／作者 | 年代 | 寸法 | 所蔵 |
|--------------|-------|-------------|-------------------|---------------------------|
| 123 色絵菊雲文猪口 | 有田 | 1740～80年代 | 口径8.4 高さ6.3 底径6.4 | 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵 (鍋島則子氏贈) |
| 124 染付唐草文猪口 | 肥前 | 1770～1800年代 | 口径8.0 高さ6.3 底径5.9 | 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵 (鍋島則子氏贈) |
| 125 染付草文猪口 | 肥前 | 1780～1810年代 | 口径8.5 高さ6.8 底径6.2 | 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵 (鍋島則子氏贈) |
| 126 染付牡丹竹文猪口 | 肥前 | 1780～1810年代 | 口径8.3 高さ6.5 底径5.1 | 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵 (鍋島則子氏贈) |
| 127 染付雲龍文猪口 | 肥前 | 1790～1820年代 | 口径7.6 高さ6.5 底径6.2 | 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵 (鍋島則子氏贈) |
| 128 染付稲束鎌文猪口 | 肥前 | 1800～30年代 | 口径7.9 高さ6.6 底径5.9 | 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵 (鍋島則子氏贈) |
| 129 染付格子目文猪口 | 肥前 | 1820～60年代 | 口径7.0 高さ5.6 底径5.0 | 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵 (鍋島則子氏贈) |

10. 江戸の暮らしとやきもの

| | | | | |
|------------------------|------|----------------------------|----------------------------------|-------------------------------|
| 130 染付桜花散文碗 | 有田 | 1680～1720年代 | 口径15.0 高さ5.9 底径4.7 | 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵 (柴田夫妻コレクション) |
| 131 染付唐草散文碗 | 有田 | 1690～1740年代 | 口径14.8 高さ5.9 底径5.0 | 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵 (柴田夫妻コレクション) |
| 132 色絵椿文油壺 | 有田 | 1740～80年代 | 口径2.2 高さ7.5 底径6.0 | 個人蔵 |
| 133 色絵龍宝文段重 | 有田 | 1780～1820年代 | 口径7.0 高さ9.8 底径4.5 | 個人蔵 |
| 134 色絵巻軸文段重 | 有田 | 1780～1820年代 | 口径7.1 高さ11.0 底径4.7 | 個人蔵 |
| 135 染付竹雀文輪花皿 | 有田 | 1820～60年代 | 口径15.9 高さ2.5 底径9.5 | 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵 (柴田夫妻コレクション) |
| 136 染付寿字唐草文盃洗 | 有田 | 1810～50年代 | 口径15.1 高さ11.5 底径8.3 | 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵 (柴田夫妻コレクション) |
| 137 染付窓絵山水亀甲文波緑皿 | 有田 | 1820～60年代 | 口径24.3 高さ7.5 底径11.3 | 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵 (柴田夫妻コレクション) |
| 138 染付山水城郭文楕円皿 | 有田 | 1800～40年代 | 口径28.0×20.7 高さ2.7 底径26.9×19.6 | 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵 (柴田夫妻コレクション) |
| 139 染付区割鷺花文輪花小鉢 | 有田 | 1800～40年代 | 口径8.7 高さ6.5 底径4.0 | 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵 (柴田夫妻コレクション) |
| 参考図版1 集女八景 洞庭秋月 | 歌川国貞 | 文化8年～天保末頃 (1811～1844年頃) | 縦38.1×横26.5 | 個人蔵 |
| 参考図版2 東海道五十三図会 神奈川 | 歌川広重 | 嘉永頃 (1848～1854年頃) | 縦37.6×横25.0 | 太田記念美術館所蔵 |
| 参考図版3 東海道五十三図会 荒井 | 歌川広重 | 嘉永頃 (1848～1854年頃) | 縦36.5×横24.9 | 太田記念美術館所蔵 |
| 参考図版4 なげふし | 歌川国貞 | 文化・文政期 (1804～1830年) | 縦38.6×横26.0 | 太田記念美術館所蔵 |
| 参考図版5 江戸名所百人美女 小梅 | 歌川豊国 | 安政5年2月 (1858年) | 縦37.3×横25.7 | 太田記念美術館所蔵 |
| 参考図版6 江戸名所百人美女 呉服ばし | 歌川豊国 | 安政4年12月 (1857年) | 縦37.5×横25.5 | 太田記念美術館所蔵 |

11. 江戸後期の意匠

| | | | | |
|------------------|----|-------------|------------------------------|-------------------------------|
| 140 色絵捻割草花文輪花皿 | 有田 | 1750～90年代 | 口径17.1 高さ3.0 底径10.5 | 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵 (柴田夫妻コレクション) |
| 141 色絵帆船阿蘭陀人文蓋付碗 | 有田 | 1780～1800年代 | 口径12.8 高さ7.0 底径5.9 | 神戸市立博物館所蔵 |
| 142 色絵阿蘭陀人文八角皿 | 有田 | 1790～1800年代 | 口径30.3 高さ5.4 底径18.9 | 神戸市立博物館所蔵 |
| 143 染付阿蘭陀人文八角鉢 | 有田 | 1800～40年代 | 口径20.2 高さ10.3 底径10.7 | 神戸市立博物館所蔵 |
| 144 染付阿蘭陀人文六角小鉢 | 有田 | 1800～40年代 | 口径8.8 高さ6.9 底径4.8 | 神戸市立博物館所蔵 |
| 145 染付茄子散文八角皿 | 有田 | 1800～40年代 | 口径15.8 高さ3.6 底径9.8 | 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵 (柴田夫妻コレクション) |
| 146 染付鈴虫文葉形小皿 | 有田 | 1810～40年代 | 口径9.0×8.8 高さ1.9 底径4.3×4.2 | 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵 (柴田夫妻コレクション) |
| 147 染付蒸気船日本地図文大皿 | 有田 | 1830～40年代 | 口径48.3 高さ7.0 | 神戸市立博物館所蔵 |

| 作品名 | 産地／作者 | 年代 | 寸法 | 所蔵 |
|--------------------------|-----------------|-------------|--------------------------------|-------------------------------|
| 148 染付鶴富士山文大皿 | 有田 | 1820～50年代 | 口径49.0 高さ5.8 底径25.5 | 個人蔵 |
| 149 染付五十三次文大皿 | 有田 | 1820～60年代 | 口径78.5 高さ12.8 底径41.5 | 個人蔵 |
| 12. 古伊万里入門 | | | | |
| 150 染付唐人観月文皿 | 有田 | 1640～50年代 | 口径22.5 高さ3.4 底径15.2 | 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵 |
| 151 色絵唐人観月文皿 | 有田 | 1640～50年代 | 口径19.4 高さ3.1 底径15.4 | 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵 |
| 152 染付棕櫚鳥文角皿 | 有田 | 1640～50年代 | 口径14.0×12.6 高さ2.6 底径8.8 | 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵 (柴田夫妻コレクション) |
| 153 染付花鳥文角皿 | 有田 | 1640～50年代 | 口径13.7×12.4 高さ2.8 底径8.2×7.0 | 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵 (柴田夫妻コレクション) |
| 154 染付吹墨牡丹文大皿 | 有田 | 1700～40年代 | 口径31.9 高さ5.2 底径18.0 | 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵 (柴田夫妻コレクション) |
| 155 染付牡丹唐草文菊花形皿 | 有田 | 1700～30年代 | 口径15.3×11.9 高さ4.7 底径9.6×6.8 | 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵 (柴田夫妻コレクション) |
| 156 染付山水桐文大皿 | 有田 | 1690～1710年代 | 口径35.7 高さ6.5 底径21.1 | 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵 (柴田夫妻コレクション) |
| 157 色絵桐並文角皿 (「承応二歳」銘) | 有田 | 1653年(承応二歳) | 口径13.7×13.6 高さ2.9 底径7.5×7.4 | 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵 (柴田夫妻コレクション) |
| 158 染付五弁花唐草文皿 | 有田 | 1690～1720年代 | 口径20.3 高さ3.0 底径13.4 | 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵 (柴田夫妻コレクション) |
| 159 染付唐草文細首瓶 | 有田 | 1690～1720年代 | 口径1.6 高さ22.6 底径5.8 | 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵 (柴田夫妻コレクション) |
| 160 染付唐草文細首瓶 | 有田 | 1780～1820年代 | 口径2.4 高さ26.5 底径7.1 | 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵 (柴田夫妻コレクション) |
| 161 染付鳳凰牡丹唐草文酒注 | 有田 | 1670～90年代 | 口径10.0 高さ15.0 底径9.5 | 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵 |
| 162 染付牡丹唐草文酒注 | 有田 | 1740～60年代 | 口径12.0 高さ18.0 底径10.0 | 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵 (柴田夫妻コレクション) |
| 163 染付唐草文角瓶 | 有田 | 1800～50年代 | 口径1.9 高さ20.3 底径9.9×9.5 | 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵 (柴田夫妻コレクション) |
| 164 色絵石楠花躑躅文皿 | 鍋島藩窯 | 1690～1730年代 | 口径20.3 高さ6.1 底径10.8 | 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵 |
| 165 染付三方唐花文皿 | 鍋島藩窯 | 1690～1730年代 | 口径20.1 高さ5.2 底径10.9 | 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵 (鍋島則子氏贈) |
| 166 色絵梅文輪花皿 | 中国・ 景德鎮窯 | 1610～40年代 | 口径19.9 高さ3.5 底径14.7 | 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵 |
| 167 色絵梅唐草文輪花皿 | 有田 | 1650～60年代 | 口径20.9 高さ2.4 底径14.5 | 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵 (柴田夫妻コレクション) |
| 168 染付仙人文鉢 | 中国・ 景德鎮窯 | 1630～60年代 | 口径22.0 高さ9.6 底径8.7 | 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵 |
| 169 染付仙人文鉢 | 有田 | 1650～70年代 | 口径23.5 高さ11.2 底径9.7 | 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵 |
| 170 色絵花文大皿 | 中国・ 景德鎮窯 | 1700～40年代 | 口径32.3 高さ4.7 底径17.8 | 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵 |
| 171 色絵花籠文八角皿 | ドイツ・ マイセン窯 | 1730～50年代 | 口径23.4 高さ2.9 底径13.1 | 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵 |
| 172 色絵梅菊文菊花形皿 | イギリス・ ウースター窯 | 1740～90年代 | 口径25.6 高さ6.7 底径15.4 | 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵 |
| 173 染付牡丹菊文髹皿 | 有田 | 1700～30年代 | 口径28.0 高さ6.1 底径13.4 | 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵 |
| 174 藍彩花籠文髹皿 | オランダ・ デルフト窯 | 1700～40年代 | 口径26.5 高さ6.6 底径9.7 | 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵 |
| 175 色絵桐鳳凰文婦人像 | 有田 | 1700～50年代 | 高さ46.7 底径16.0×14.4 | 個人蔵 |
| 176 色絵花文婦人像 | フランス | 1800～1900年代 | 高さ46.8 底径16.7×14.8 | 個人蔵 |

13. 現代に生かす古伊万里の美

| | | | | |
|-----------------|----|-----------|--|-------------------------------|
| 177 白磁陽刻桜花筏文菱形皿 | 有田 | 1670～80年代 | | 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵 (柴田夫妻コレクション) |
| 178 白磁陽刻牡丹文猪口 | 有田 | 1640～70年代 | | 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵 (柴田夫妻コレクション) |

| 作品名 | 産地／作者 | 年代 | 寸法 | 所蔵 |
|------------------|-------|-------------|----|-------------------------------|
| 179 白磁蓋付碗 | 有田 | 1730～60年代 | | 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵 (柴田夫妻コレクション) |
| 180 色絵桜花並文猪口 | 有田 | 1690～1720年代 | | 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵 (柴田夫妻コレクション) |
| 181 色絵桜婦人文水注 | 有田 | 1700～40年代 | | 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵 (柴田夫妻コレクション) |
| 182 白磁陽刻如意頭文輪花鉢 | 有田 | 1680～1740年代 | | 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵 (柴田夫妻コレクション) |
| 183 染付牡丹花弁文輪花皿 | 有田 | 1660～70年代 | | 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵 (柴田夫妻コレクション) |
| 184 染付花唐草文皿 | 有田 | 1680～90年代 | | 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵 (柴田夫妻コレクション) |
| 185 染付岩花文調味料入揃物 | 有田 | 1670～1700年代 | | 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵 (柴田夫妻コレクション) |
| 186 白磁銀杏葉形小皿 | 有田 | 1670～90年代 | | 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵 (柴田夫妻コレクション) |
| 187 染付波兎文変形皿 | 有田 | 1650～70年代 | | 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵 (柴田夫妻コレクション) |
| 188 瑠璃釉陽刻唐草文猪口 | 有田 | 1650～70年代 | | 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵 (柴田夫妻コレクション) |
| 189 色絵折枝菊文花形猪口 | 有田 | 1650～70年代 | | 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵 (柴田夫妻コレクション) |
| 190 染付草花文小鉢 | 有田 | 1740～60年代 | | 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵 (柴田夫妻コレクション) |
| 191 染付柴垣梅文兎鈕蓋付角鉢 | 有田 | 1690～1700年代 | | 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵 (柴田夫妻コレクション) |
| 192 色絵松竹梅山水文輪花皿 | 有田 | 1740～60年代 | | 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵 (柴田夫妻コレクション) |
| 193 色絵色紙山水文皿 | 有田 | 1650～60年代 | | 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵 (柴田夫妻コレクション) |
| 194 染付窓絵松竹梅文蓋付碗 | 有田 | 1740～70年代 | | 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵 (柴田夫妻コレクション) |
| 195 染付竹文丸形段重 | 有田 | 1770～1810年代 | | 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵 (柴田夫妻コレクション) |



B2ポスター



図 録

(2) 第76回特別展

北京・故宮博物院 黄金の至宝展

・内 容／

中華人民共和国の首都北京。その中心に位置する紫禁城は明・清二代にわたる王朝の皇宮でした。そこには、宮殿や役所、内裏として使われた大小さまざまな建築群が立ち並び、今日それらの建築群を総称して故宮博物院と呼んでいます。

故宮には商・周時代の古銅器から書画、工芸、彫刻、書籍など明・清の皇帝が集めた膨大な数の美術品が収蔵されており、世界有数の博物館としてもよく知られています。

この展覧会は、故宮博物院が所蔵する貴重な文物の中から清王朝の華麗な宮廷生活を彷彿させる金や銀、玉をあしらった豪華な調度品や服飾品をはじめ、歴代王朝下で、中国の工芸技術の粋を集めて制作された美術工芸品118件約170点を厳選して紹介するものでした。

・会 期／平成13年（2001）6月2日（土）～7月8日（日）

・会 場／特別展示室1、南蛮美術館室、特別展示室2

・主 催／神戸市立博物館、神戸新聞社

・後 援／兵庫県、兵庫県教育委員会、神戸市、神戸市教育委員会、
サンテレビジョン、AM神戸、NHK神戸放送局

・協 力／日本航空

・入 館 料／（当日・一般）1000円

・開催日数／32日

・入館者数／50,809人

・出品点数／118件170点

・本展は、岡山県立美術館、岐阜市歴史博物館、佐賀県立美術館、愛媛県美術館（当地で芸予地震にあう）、そして神戸で開催、その後、浜松市美術館、島根県立美術館に巡回した。



B2ポスター

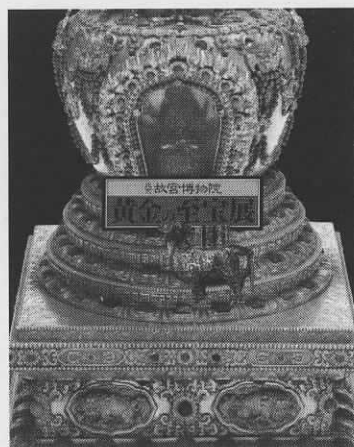
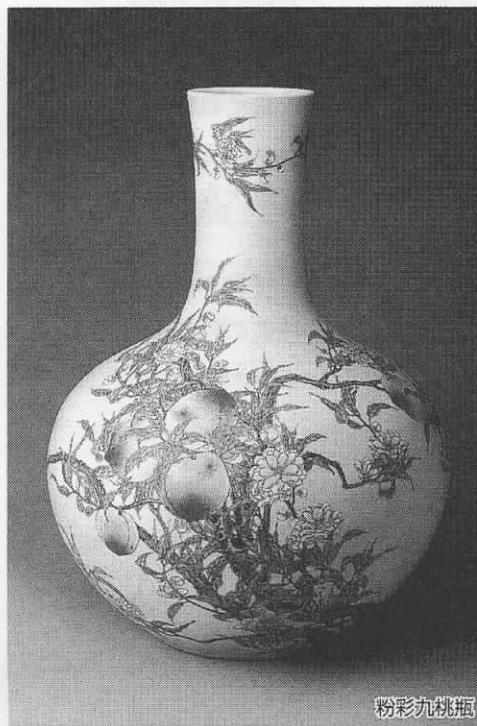


図 録

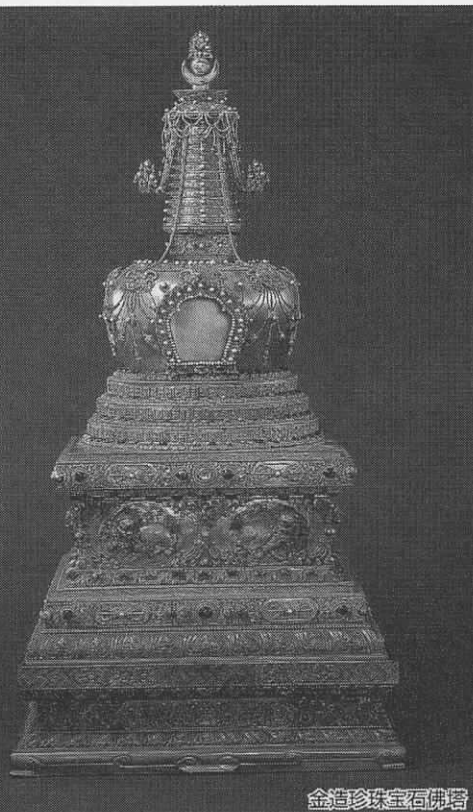
北京故宮博物院

黄金の至宝展

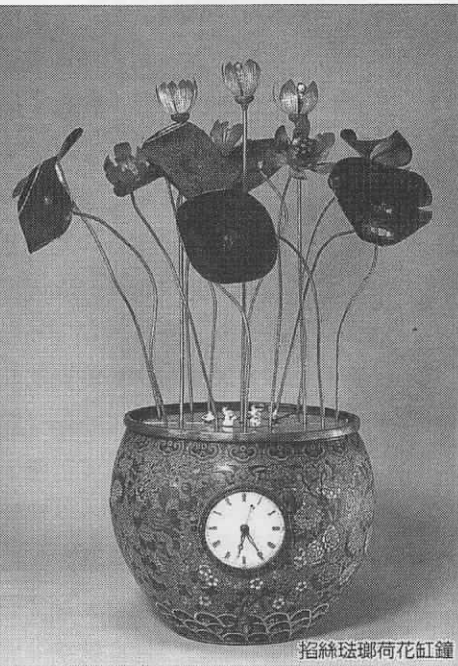
特別展



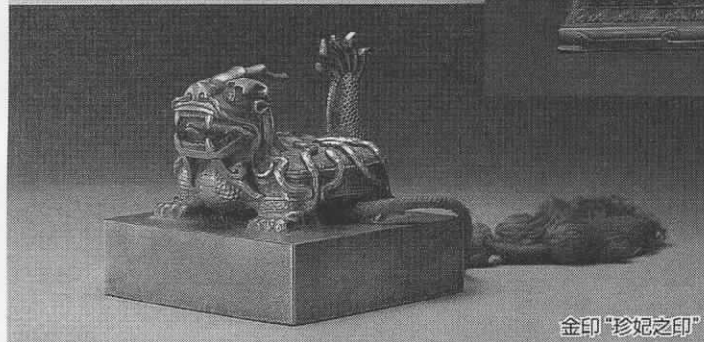
粉彩九桃瓶



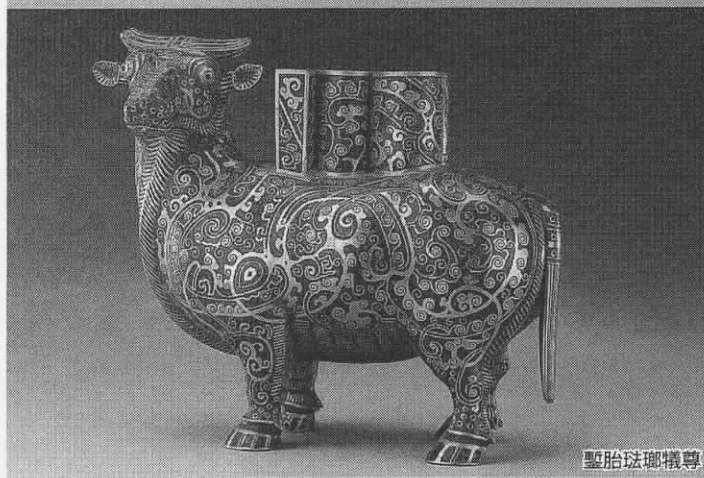
金造珍珠宝石佛塔



掐絲琺瑯荷花缸鐘



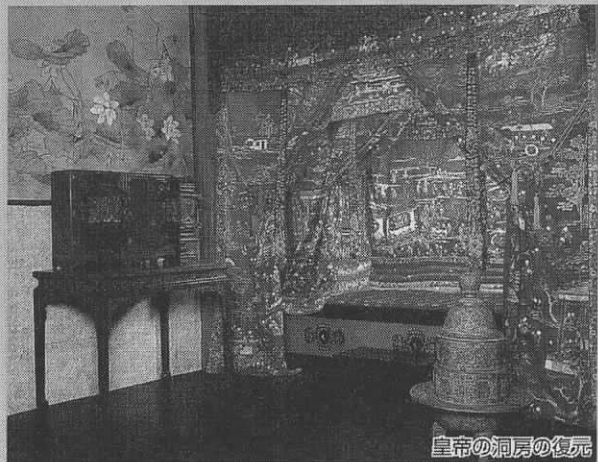
金印“珍妮之印”



鑲胎琺瑯犏尊

中国の首都北京、その中心部に位置する故宮は、明・清二代にわたる王朝の皇宮でした。そこには、宮殿や役所、内裏として使われた大小さまざまな建築群が立ち並び、今日、それらの建築群を総称して故宮博物院と呼んでいます。故宮には、商・周代の古銅器から書画、工芸、彫刻、書籍など、明・清の皇帝が集めた膨大な数の美術工芸品が收藏されており、世界有数の博物館としてもよく知られるところです。

本展は、故宮博物院が所蔵する文物の中から、清王朝の華麗な宮廷生活をほうふつさせる金や銀、玉をあしらった豪華な調度類や服飾品をはじめ、歴代王朝下で中国の工芸技術の粋を集めて制作された優れた工芸美術品約170点をよりすぐり、紹介します。



皇帝の洞房の復元

●入館料

| | 一般 | 高大生 | 小中生 |
|----|--------|------|------|
| 当日 | 1,000円 | 700円 | 400円 |
| 前売 | 850円 | 600円 | 300円 |
| 団体 | 750円 | 550円 | 250円 |

※団体は30名以上
※65歳以上で神戸市すこやか手帳持参の方はシルバー料金(500円)

●前売券発売所

チケットぴあ、神戸市総合インフォメーションセンター
大丸神戸店、三宮ビブレMYCAL21
阪急三宮プレイガイド、当館券売所など

神戸市立博物館

Kobe City Museum

〒650-0034 神戸市中央区京町24番地
TEL.078-391-0035 FAX.078-392-7054

テレホンサービス (078) 332-7810

当館で開催中の展覧会に関する情報をお伝えしています。



出品リスト

| 図版番号 | 作品名 | 時代 | サイズ |
|-----------------|-----------------------|---------|---------------------------------|
| 1. 玉座の景観 | | | |
| 1 | 紅彫漆嵌玉石荷花屏風 | 清代・乾隆年間 | 高217cm 横314cm |
| 2 | 紅彫漆嵌玉宮扇 一對 | 清代 | 高302cm |
| 3-1 | 紅彫漆嵌玉石荷花宝座 | 清代 | 縦91cm 横127cm 高115cm |
| 3-2 | 紅彫漆脚踏 | 清代 | 縦26.5cm 横92cm 高7.2cm |
| 3-3 | 地毯 | 清代 | 縦446cm 横451.5cm |
| 4 | 紅彫漆香机 一對 | 清代 | 高90cm 面径45cm |
| 5 | 碧玉太平有象 一對 | 清代 | 像高27.3cm 幅14.6cm 総高35.3cm |
| 6 | 碧玉角端 一對 (付属：紫檀角端机 一對) | 清代 | 高35cm 短径8.2×11.2cm 長径33.5cm |
| 7 | 碧玉香筒 一對 | 清代 | 高76.4cm 径12.9cm |
| 8 | 青玉如意 | 清代 | 長46cm 幅12.3cm |
| 9 | 彫漆痰盒 | 清代 | 総高6.5cm 最大径15.1cm |
| 10 | 乾隆二十九年編鐘 | 清代 | 横340cm 高350cm |
| 11 | 金龍鈕「広運之宝」 | 清代 | 印面17.9×17.9cm 総高7.6cm 鈕高2.4cm |
| 12-1 | 銅鍍金印盒 | 清代末 | 函の縦横各25.5cm 高28.8cm |
| 12-2 | 銅鍍金印池 | 清代末 | 縦横各18.3cm |
| 13 | 金印「珍妃之印」 | 清代 | 印面11×11cm 総高11.5cm 鈕高8cm |
| 14 | 銅鍍金「端康皇貴妃」冊 | 清代末 | 長22.5cm 単片幅10.2cm |
| 2. 仏堂の景観 | | | |
| 15 | 布本彩絵五方仏唐卡 | 清代 | 縦165cm横306cm(画面各縦140cm 横54.5cm) |
| 16-1 | 黄銅五方仏 宝生仏 | 元 | 高47cm |
| 16-2 | 黄銅五方仏 阿弥陀仏 | 元 | 高47cm |
| 16-3 | 黄銅五方仏 大日如来 | 元 | 高47cm |
| 16-4 | 黄銅五方仏 阿閼仏 | 元 | 高47cm |
| 16-5 | 黄銅五方仏 不空成就仏 | 元 | 高47cm |
| 17 | 銅鍍金無量寿仏 | 清代 | 縦16cm 横54cm 高38cm |
| 18 | 銅鍍金無量寿仏 | 清代 | 縦16cm 横54cm 高38cm |
| 19 | 黄緞綉八宝仏卓圍 | 清代 | 長224cm 幅78.5cm |
| 20-1 | 紅彫漆托白地紅釉瓷供碗 五客 | 清代 | 高22cm 口径15.7cm |
| 20-2 | 黄素綉卓圍 | 清代 | 長341cm 幅71cm |
| 20-3 | 仏案 一對 | 清代 | 縦42cm 横172cm |
| 20-4 | 供卓 | 清代 | 縦70cm 横108cm |
| 20-5 | 仏頂 | 清代 | 縦163cm 横324cm |
| 21 | 掐絲琺瑯五供 | 清代 | 燭台高43cm 花瓶高58cm 香炉高23cm |

| 図版番号 | 作品名 | 時代 | サイズ |
|------|-----------------------|---------|------------------------------------|
| 22 | 銅胎掐絲琺瑯大威德金剛壇城 | 清代・乾隆年間 | 高50cm 径75cm |
| 23 | 鉄鍍金玲瓏龍紋鉢 | 清代・乾隆年間 | 高17cm 径19.5cm |
| 24 | 金造鑲銀嵌珠石四臂觀音菩薩像 | 清代・乾隆年間 | 高90cm |
| 25 | 金造嵌珠石文殊菩薩像 | 清代・乾隆年間 | 高90cm |
| 26 | 金造珍珠寶石仏塔 | 清代・乾隆年間 | 高139cm 幅65cm |
| 27 | 金造嵌松石碧璽仏塔 | 清代・乾隆年間 | 高72cm 幅35cm |
| 3 | 清朝皇帝の結婚と坤寧宮の寢室 | | |
| 28 | 楠木鏤彫富貴牡丹花罩 | 清代 | 縦80cm 横276cm |
| 29 | 紅納紗百子床幔 | 清代 | 長241cm 幅165cm 高228cm |
| 30 | 大紅緞綉五彩百子双喜帳 | 清代 | 長47cm 幅136cm 高220cm |
| 31 | 銀双喜字帳鉤 一對 | 清代 | 長31cm 幅19cm |
| 32-1 | 黄綉紡五彩雲鳳被 | 清代 | 長256cm 幅156cm |
| 32-2 | 紅緞綉五彩葫蘆万代双喜被 | 清代 | 長284cm 幅225cm |
| 32-3 | 大紅寸蟒緞炕单 | 清代 | 長300cm 幅150cm |
| 33-1 | 黄緞綉五彩百子枕 | 清代 | 長68cm 幅17cm |
| 33-2 | 黄緞綉五彩龍鳳双喜枕 | 清代 | 長66cm 幅17cm |
| 34 | 紫檀脚踏 | 清代 | 縦33.5cm 横71cm 高16cm |
| 35 | 画琺瑯葫蘆式「大吉」宮灯 一對 | 清代 | 高113.5cm |
| 36 | 掐絲琺瑯炭炉 | 清代 | 高82cm 最大径50.5cm |
| 37 | 屈兆麟等蓮花貼落 | 清代 | 高160cm 幅200cm |
| 38 | 紅地描金漆卓 | 清代 | 縦66cm 横101cm 高83cm |
| 39 | 剔彩博古紋小柜 一對 | 清代 | 縦22.5cm 横38cm 高62.5cm |
| 40 | 紫檀木彫纏枝蓮龍鳳紋双喜卓灯 一對 | 清代 | 縦19.5cm 横19.5cm 高58cm |
| 4 | 清代の皇帝と后妃の服飾 | | |
| 41 | 石青緞綉彩雲金龍袷朝褂 (皇后用) | 清代・雍正年間 | 着丈138cm 肩幅39cm 裾幅124cm |
| 42 | 明黄緞綉彩雲金龍袷朝袍 (皇后用) | 清代・乾隆年間 | 着丈147cm 袖桁188cm 袖口幅17cm 裾幅126cm |
| 43 | 明黄緞綉彩雲金龍袷朝袍 (皇帝用) | 清代・乾隆年間 | 着丈142cm 袖桁190cm 袖口幅20cm 裾幅126cm |
| 44 | 明黄緞綉彩雲金龍双喜字单龍袍 (皇后用) | 清代・光緒年間 | 着丈140cm 袖桁178cm 袖口幅22.5cm 裾幅86.5cm |
| 45 | 深藕荷色綢綉水仙平金团寿字髦衣 (后妃用) | 清代・光緒年間 | 着丈140cm 袖桁148cm 袖口幅38.5cm 裾幅117cm |
| 46 | 忠孝带 | 清代・雍正年間 | 長166cm |
| 47 | 珍珠蘭翠鈿子 | 清代 | 長径31cm 短径24cm 高19cm |
| 48 | 鑲珠翠青鈿子 | 清代 | 長径27cm 短径23cm 高16cm |
| 49 | 鑲珠宝冠 | 清代 | 長径28.5cm 短径23cm 高16cm |
| 50 | 松石朝珠 | 清代 | 長160cm |
| 51 | 珊瑚朝珠 | 清代 | 長122cm |

| 図版番号 | 作品名 | 時代 | サイズ |
|----------|----------------|---------|--|
| 52 | 銀鍍金鑲珠石蜻蜓簪 | 清代 | 長17.5cm 幅5cm |
| 53 | 銀鍍金緞米珠盆花簪 | 清代 | 長13.5cm 幅5cm |
| 54 | 銅鍍金縹絲嵌翠三鑲如意 | 清代 | 長62cm 幅15.5cm |
| 55 | 珊瑚雕双喜十八子手串 | 清代 | 周囲30cm |
| 56 | 翠鏤雕双蝶双喜佩 | 清代 | 縦5.7cm 横3.4cm |
| 57 | 銀鍍金嵌珠宝点翠条 | 清代 | 長22.5cm 幅3.5cm |
| 58 | 金鑲珠石縹絲香囊 | 清代 | 長径7.2cm 短径5cm 高2.2cm |
| 59 | 金鑲寶石縹絲四龍戲珠鐲 一对 | 清代 | 外径7.4cm 内径5.8cm 厚1.5cm 重196g |
| 5 宮廷の所蔵品 | | | |
| 60 | 耀州窯刻花牡丹花梅瓶 | 宋代 | 高22cm 口径5.2cm 底径6cm |
| 61 | 釉裏紅松竹梅紋玉壺春瓶 | 明代・洪武年間 | 高33.3cm 口径8.7cm 底径11.3cm |
| 62 | 釉裏紅白花大碗 | 明代・洪武年間 | 高16.7cm 口径42cm 底径22.7cm |
| 63 | 青花纏枝花双耳葫蘆扁瓶 | 明代・永樂年間 | 高25.5cm 口径3.3cm 底径6cm |
| 64 | 青花折枝花果紋梅瓶 | 明代・宣德年間 | 高30cm 口径6.5cm 底径8.8cm |
| 65 | 青花折枝花果紋蓋罐 | 明代・宣德年間 | 高34.3cm 口径17.7cm 底径20cm |
| 66 | 闕彩葡萄紋杯 | 明代・成化年間 | 高4.8cm 口径5.5cm 底径2.5cm |
| 67 | 五彩雲龍紋花鳥紋大瓶 | 明代・萬曆年間 | 高58cm 口径17.8cm 底径18cm |
| 68 | 五彩鷺蓮長頸瓶 | 明代・萬曆年間 | 高44.2cm 口径7.5cm 底径14.5cm |
| 69 | 德化窯白釉達磨座像 | 明代 | 高34cm 底径15.8×12.3cm |
| 70 | 五彩仕女盤 | 清代・康熙年間 | 高2.9cm 口径24.9cm 底径16.8cm |
| 71 | 五彩福寿棒槌瓶 | 清代・康熙年間 | 高46cm 口径11.5cm 底径15cm |
| 72 | 粉彩桃樹紋大盤 | 清代・雍正年間 | 高8.4cm 口径50.6cm 底径28.5cm |
| 73 | 青花纏枝花紋花澆 | 清代・雍正年間 | 高25cm 注ぎ口径5.1cm 底径9cm |
| 74 | 霽藍描金勾蓮寿字瓶 | 清代・乾隆年間 | 高28.5cm 口径8.4cm 底径8.5cm |
| 75 | 粉彩九桃瓶 | 清代・乾隆年間 | 高50.9cm 口径11.3cm 底径17.6cm |
| 76 | 仿古銅彩爵杯 | 清代・乾隆年間 | 高13.4cm 口径11.6cm 底径6cm |
| 77 | 粉彩山水方瓶 | 清代・乾隆年間 | 高37.5cm 口径10.1×10.1cm 底径12×12cm |
| 78 | 粉彩百鹿尊 | 清代・乾隆年間 | 高45cm 口径16cm 底径24.2cm |
| 79 | 銀鍍金嵌珠石双龍扁手炉 | 清代 | 横12cm 縦2.2cm 高7cm |
| 80 | 銀縹糸瓜棱瓶 | 清代 | 高17.1cm 口径10.5cm |
| 81 | 金刻花面盆 | 清代 | 高9cm 口径43cm 底径32.7cm |
| 82 | 金鑲翠嵌碧璽四孔花插 | 清代 | 高34.6cm 幅56cm 重1107g |
| 83 | 赤金鑲翠碧璽四孔花插 | 清代 | 高34.6cm 径15.6cm 重1110g |
| 84 | 金方瓶 | 清代 | 高20.5cm 口径9.2×7.3cm 底径9.7×7.7cm 重3760g |
| 85 | 金彫花嵌寶石八角盒 | 清代 | 高7cm 径14cm 重938g |

| 図版番号 | 作品名 | 時代 | サイズ |
|------|----------------|---------|---|
| 86 | 金漱盂 | 清代 | 高8.7cm 口径8.8cm 底径5.3cm 重194g |
| 87 | 金葫蘆洗 | 清代 | 長17.2cm 幅8.4cm 重218g |
| 88 | 金胎珊瑚雲龍蝠寿桃式盒 | 清代 | 長径25cm 短径21.5cm 高19.5cm 重2962g |
| 89 | 金鏤空葫蘆式香薰 | 清代 | 高42cm 口径7.3cm 底径13.5cm 重2340g |
| 90 | 金鏤花執壺 | 清代 | 高30.4cm 径27cm 重1506g |
| 91 | 金鏤花双喜团寿碗 | 清代・同治年間 | 高6cm 口径9.5cm 底径5.1cm 重260g |
| 92 | 金攢雲椅円盤 | 清代 | 高1.3cm 口径13.2×10.4cm 底径10.1×7.5cm 重112g |
| 93 | 乾隆款金爵杯 | 清代 | 高11.3cm 長径11.9cm 短径5.7cm 重210g |
| 94 | 青玉鏤赤金箸 | 清代 | 長29.6cm 重80g |
| 95 | 玉柄金匙 | 清代 | 長16.9cm 幅4.3cm 重6.5g |
| 96 | 金胎琺瑯玉柄佩刀 | 清代 | 長29.1cm 鞘口幅2.8cm 厚2.7cm 重28.8g |
| 97 | 嵌米珠珊瑚松石馬鞍 | 清代・乾隆年間 | 縦33cm 横63cm 高30cm |
| 98 | 樺皮弓 | 清代 | 長162cm |
| 99 | 箭 | 清代 | 長102cm |
| 100 | 金桃皮鞘「毓芝」腰刀 | 清代・乾隆年間 | 長95cm |
| 101 | 紅鯊魚皮鞘「貫霄」劍 | 清代・乾隆年間 | 長95cm |
| 102 | 掐絲琺瑯勾蓮紋六棱貫耳瓶 | 清代・乾隆年間 | 高29.6cm 胴径16cm |
| 103 | 掐絲琺瑯勾蓮紋梅瓶 | 清代・乾隆年間 | 高34cm 最大径17.5cm |
| 104 | 画琺瑯委角长方盆碧桃花盆景 | 清代・乾隆年間 | 総高56cm 盆高16.7cm 盆径29cm |
| 105 | 画琺瑯福寿花卉紋冠架 | 清代・乾隆年間 | 高29cm 底径12.8cm |
| 106 | 画瑞郷開光山水人物紋方瓶 | 清代・乾隆年間 | 高49.5cm 口径18cm |
| 107 | 画琺瑯雲龍大盤 | 清代・乾隆年間 | 高7.3cm 口径53.3cm 底径4.1cm |
| 108 | 鏤胎琺瑯犧尊 | 清代・乾隆年間 | 高19.9cm 長径21.1cm 短径9cm |
| 109 | 餞金彩漆双鳳紋折角盤 | 清代・乾隆年間 | 高3.2cm 長径30cm 短径19.6cm |
| 110 | 餞金填漆龍紋菊弁式盒 | 明代・嘉靖年間 | 高18cm 口径42.5cm |
| 111 | 識文描金銀福寿紋八方盒 | 清代中期 | 高17cm 口径37.6cm |
| 112 | 識文描金銀暗八仙攢盒 | 清代中期 | 高15.6cm 口径38.2cm 底径9.6cm |
| 113 | 識文描金銀花卉紋高足杯 | 清代中期 | 高12.8cm 口径15cm |
| 114 | 木柄玉石石榴如意 | 清代 | 長42cm |
| 115 | 粉彩如意 | 清代・乾隆年間 | 長53.5cm |
| 116 | 松蓬果罩 | 清代 | 高63.5cm 幅34cm |
| 117 | 掐絲琺瑯荷花缸鐘 | 清代中期 | 高118cm 口径49cm |
| 118 | 銅鍍金琺瑯軛花活動人物鐘 | 清代 | 縦27cm 横36cm 高85cm |
| 119 | 銅鍍金葫蘆頂軛花鐘 | 清代・乾隆年間 | 縦30cm 横34cm 高86cm |
| 120 | 銅鍍金琺瑯人物亭式軛花水注鐘 | 清代・乾隆年間 | 高84cm 口径34cm |

(3) 第77回特別展

川西 英の新・旧「神戸百景」
～川西祐三郎作品とともにたどる20世紀の神戸の姿～

・内 容／

川西 英^{ひで}（1894～1965）と川西祐三郎氏（1923～）は、神戸で二代続く木版画家。

大正時代に青春時代を過ごし、関西における創作版画の雄として活躍した川西 英は、「神戸百景」と題する連作を生涯に2度手がけた。

1933～36（昭和8～11）年にかけて制作された「神戸百景」（木版画）は、活気あふれる戦前の神戸の都市風景と、人々の風俗を捉えた代表作として広く知られている。また、1952（昭和27）年から制作が始まった「新・神戸百景」（描画）は、神港新聞社の依頼により、戦後の変わりゆく神戸風景を描いたもので、この百景は1962（昭和37）年2月に、画集『神戸百景』として出版された。その後、神戸新聞社の依頼により、「兵庫百景」（1962～63年作、2年間新聞連載）という描画の連作も生み出されるなど、川西 英にとって、神戸の風景を描くことは、制作の中で常に大きな位置を占めていた。

川西祐三郎氏は、父、英に木版画を学び、ヨーロッパの街角に取材した独自の鮮やかな風景版画を制作されてきた。1980年代以降は、神戸沖に人工島が形成されて人が住み、それまでとは全く異なる景観が出現したことを踏まえて、新たな視点で神戸の風景を捉えた作品の制作を始め、現在も第一線で活躍されている。

本展では、川西 英の戦前・戦後の（旧・新）「神戸百景」と、川西祐三郎氏による現代の神戸関連風景24点を展示し、大正時代から現在までの港都の変遷をたどった。展覧会図録には川西 英が手がけた3つの百景について、各関係者（川西祐三郎氏、画集『神戸百景』編集者・森本泰好氏、「兵庫百景」企画立案者・伊藤 誠氏）からそれぞれの誕生に関する貴重なドキュメントを賜った。当館が所蔵する絵葉書、写真帖、2001年夏に撮影した神戸風景写真もあわせて展示した。

・会 期／平成13年（2001）7月20日（金・祝）～9月2日（日）

・会 場／南蛮美術館室、特別展示室2

・主 催／神戸市立博物館、神戸新聞社

・後 援／サンテレビジョン、AM 神戸

・協 賛／財団法人 みなと銀行文化振興財団

・入 館 料／当日・一般 600円

・開催日数／39日

・入館者数／13,865人

・出品点数／330点

・講演会／会場 当館地階講堂 午後2時～

7月20日（金・祝） 川西祐三郎氏（版画家）

『川西 英をめぐる人々』

7月28日（土） 金井紀子（当館学芸員）

『オールド「神戸百景」案内』



B2ポスター

特別展 川西 英の新・旧「神戸百景」

～川西祐三郎作品とともにたどる20世紀の神戸の姿～

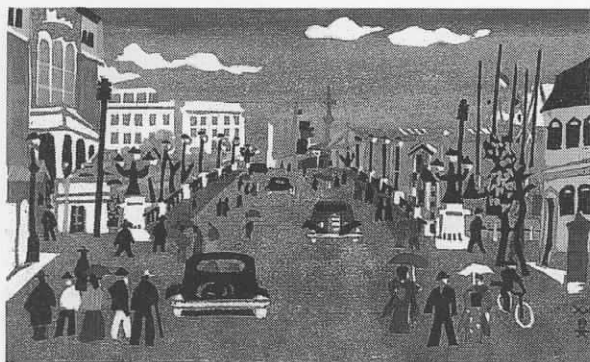
川西 英(1894～1965)と川西祐三郎氏(1923～)は、神戸で二代続く木版画家です。

大正時代に青春時代を過ごし、関西における創作版画の雄として活躍した川西 英は、「神戸百景」と題する連作を生涯に2度手がけました。そのうち、1933～36(昭和8～11)年にかけて制作された「神戸百景」(版画)は、活気あふれる戦前の神戸の都市風景と人々の風俗を捉えた代表作として広く知られています。また、1952(昭和27)年から制作が始まった「新・神戸百景」(描画)は、神港新聞社の依頼により、戦後の変わりゆく神戸の風景を描いたものです。その後、「兵庫百景」という描画の連作も生み出されるなど、川西 英にとって、神戸の風景を描くことは、制作の中で常に大きな位置を占めていました。

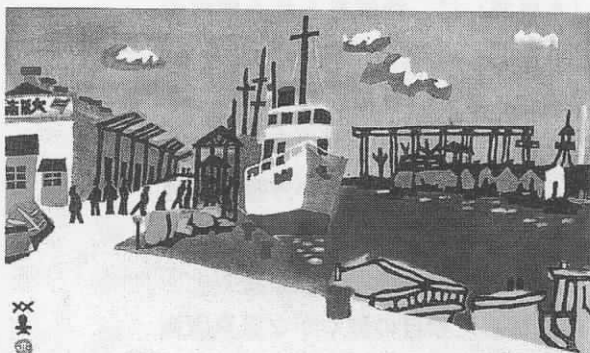
川西祐三郎氏は、父、英に木版画を学び、ヨーロッパの街角を取材した独自の鮮やかな風景版画の制作によって知られています。そして1980年代以降、神戸沖に人工島が形成されて人が住み、それまでとは全く異なる景観が出現したことを踏まえて、新たな視点で神戸の風景を捉えた作品の制作を始め、現在も第一線で発表を続けておられることは周知のとおりです。

このたびの展覧会は、川西 英の「神戸百景」(版画)の全点展示を中心に、大正時代から現在にかけて、川西 英と祐三郎両氏が制作した神戸風景の代表作を一堂で紹介する試みです。郷土の画家が見た、20世紀の港都の変遷を振り返るひとつの機会となることを願っています。

(敬称略)



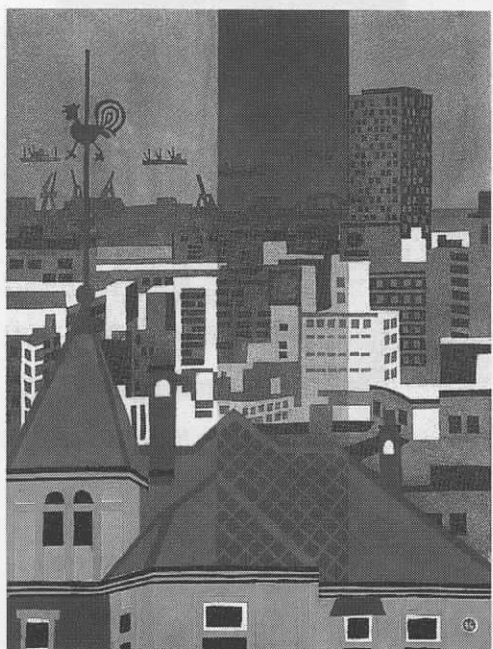
川西 英「神戸百景」より 京橋 1936



川西 英「神戸百景」より 中突堤 1935

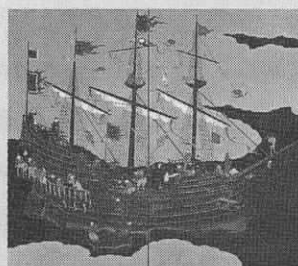


川西 英「新・神戸百景」より 市立美術館 1950年代



川西 祐三郎 風見鶏 1981

企画展 同時開催 南蛮美術名品展



狩野内膳筆 南蛮屏風(部分)

記念講演会

7月20日(金・祝) 午後2時～

川西祐三郎氏(版画家) <川西 英をめぐる人々>

スライドレクチャー

7月28日(土) 午後2時～

金井紀子(当館学芸員) <オールド「神戸百景」案内>

於:当館地階講堂(開場、午後1時30分)

事前申し込み不要、当日先着180名

聴講料無料(入館料は必要です)

入館料

※団体は30名以上

| | 当日券 | 団体券 |
|------|------|------|
| 一般 | 600円 | 450円 |
| 高・大生 | 400円 | 300円 |
| 小・中生 | 250円 | 150円 |
| シルバー | 300円 | — |

※シルバーは、65歳以上で、神戸市すこやか手帳持参の方

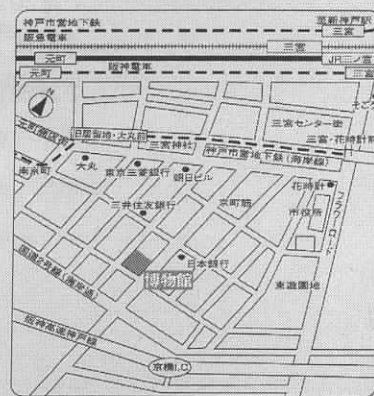
テレホンサービス

☎(078) 332-7810

当館で開催中の展覧会に関する情報をお伝えしています。



ひと・まち・みらい
KOBÉ 2001



出品リスト

| 番号 | 作品名 | 制作年月日 | 技法・材質 | 画面寸法 (縦×横、cm) |
|------------|----------|------------|-------|------------------|
| 川西 英「神戸百景」 | | | | |
| 1-1 | 能福寺大仏 | 1933.11.10 | 木版・紙 | 15.5×26.2 |
| 1-2 | みなとの祭 | 1933.11.12 | 木版・紙 | 15.5×25.3 |
| 1-3 | 南京街 | 1933.11.14 | 木版・紙 | 15.6×26.2 |
| 1-4 | 諏訪山動物園 | 1933.11.17 | 木版・紙 | 15.8×25.9 |
| 1-5 | 兵庫突堤 | 1933.11.19 | 木版・紙 | 16.0×25.7 |
| 1-6 | 阪神地下鉄のりば | 1933.11.20 | 木版・紙 | 15.6×25.9 |
| 1-7 | 金魚池(新開地) | 1934.8.26 | 木版・紙 | 15.4×26.2 |
| 1-8 | 楠公前 | 1934.12.29 | 木版・紙 | 15.9×26.0 |
| 1-9 | 長田神社正月 | 1935.1.5 | 木版・紙 | 15.2×26.4 |
| 1-10 | 背山眺望 | 1935.1.7 | 木版・紙 | 15.5×25.9 |
| 1-11 | トーア・ロード | 1935.1.10 | 木版・紙 | 15.7×26.0 |
| 1-12 | 三角帳場 | 1935.1.11 | 木版・紙 | 15.7×26.5 |
| 1-13 | 中突堤 | 1935.1.13 | 木版・紙 | 15.2×26.2 |
| 1-14 | 鳥原水源池 | 1935.1.15 | 木版・紙 | 15.1×25.7 |
| 1-15 | 高架線 | 1935.1.18 | 木版・紙 | 15.6×25.5 |
| 1-16 | 松尾稲荷 | 1935.1.26 | 木版・紙 | 15.5×25.8 |
| 1-17 | 裁判所 | 1935.5.18 | 木版・紙 | 15.6×25.7 |
| 1-18 | 神戸駅前 | 1935.5.20 | 木版・紙 | 15.7×25.1 |
| 1-19 | 市立図書館 | 1935.5.21 | 木版・紙 | 15.7×26.0 |
| 1-20 | 山陽電鉄兵庫終点 | 1935.5.22 | 木版・紙 | 15.6×25.6 |
| 1-21 | 海洋気象台 | 1935.6.16 | 木版・紙 | 15.7×25.5 |
| 1-22 | 生田川遊歩道 | 1935.6.18 | 木版・紙 | 15.6×25.2 |
| 1-23 | 布引雄滝 | 1935.6.24 | 木版・紙 | 15.6×25.8 |
| 1-24 | 中央市場 | 1935.6.26 | 木版・紙 | 15.9×25.8 |
| 1-25 | タイムボール | 1935.6.29 | 木版・紙 | 15.7×25.7 |
| 1-26 | 酒場 | 1935.6.30 | 木版・紙 | 15.6×25.6 |
| 1-27 | 観光団上陸 | 1935.7.5 | 木版・紙 | 15.7×25.3 |
| 1-28 | 出帆 | 1935.7.6 | 木版・紙 | 15.3×25.6 |
| 1-29 | ダンスホール | 1935.7.10 | 木版・紙 | 15.6×25.5 |
| 1-30 | 生田神社 | 1935.7.12 | 木版・紙 | 15.6×25.2 |
| 1-31 | 入江橋 | 1935.7.15 | 木版・紙 | 15.7×25.5 |
| 1-32 | 築島寺 | 1935.7.16 | 木版・紙 | 15.8×25.5 |
| 1-33 | 造船職工出勤 | 1935.7.23 | 木版・紙 | 15.7×25.4 |
| 1-34 | 川崎造船所 | 1935.7.25 | 木版・紙 | 16.8×25.6 |
| 1-35 | 山手線 | 1935.8.4 | 木版・紙 | 15.7×25.5 |
| 1-36 | 相生橋跡 | 1935.8.5 | 木版・紙 | 15.7×25.8 |
| 1-37 | 税関 | 1935.8.23 | 木版・紙 | 15.8×25.5 |
| 1-38 | 東遊園地附近 | 1935.8.25 | 木版・紙 | 15.6×25.5 |
| 1-39 | 鉢伏山頂 | 1935.8.30 | 木版・紙 | 15.8×25.6 |
| 1-40 | 製鋼所 | 1935.9.7 | 木版・紙 | 15.8×25.3 |
| 1-41 | 米艦入港 | 1935.9.19 | 木版・紙 | 15.6×25.5 |
| 1-42 | 布引貯水池 | 1935.9.21 | 木版・紙 | 15.6×25.3 |
| 1-43 | 元居留地 | 1935.9.23 | 木版・紙 | 15.8×25.5 |
| 1-44 | 三宮神社 | 1935.9.25 | 木版・紙 | 15.7×25.5 |
| 1-45 | シルクストア | 1935.11.8 | 木版・紙 | 15.6×25.6 |
| 1-46 | 花隈 | 1935.11.25 | 木版・紙 | 15.9×25.4 |
| 1-47 | ガソリントタンク | 1935.12.5 | 木版・紙 | 15.7×25.4 |
| 1-48 | クリスマスセール | 1935.12.16 | 木版・紙 | 15.6×25.6 |
| 1-49 | ドライブウェイ | 1936.1.5 | 木版・紙 | 15.5×25.7 |
| 1-50 | 京橋 | 1936.1.8 | 木版・紙 | 15.7×25.5 |

| 番号 | 作品名 | 制作年月日 | 技法・材質 | 画面寸法 (縦×横、cm) |
|-------|-------------------|-----------|---------|------------------|
| 1-51 | 神戸市役所 | 1936.2.28 | 木版・紙 | 15.6×25.3 |
| 1-52 | 露路の酒場入口 | 1936.3.1 | 木版・紙 | 15.6×25.4 |
| 1-53 | 柳原十日戎 | 1936.3.6 | 木版・紙 | 15.5×25.5 |
| 1-54 | 西洋薬種店 | 1936.3.8 | 木版・紙 | 15.6×25.4 |
| 1-55 | 支那両替店 | 1936.3.9 | 木版・紙 | 15.7×25.5 |
| 1-56 | 清盛塚 | 1936.3.12 | 木版・紙 | 15.7×25.0 |
| 1-57 | 加納町交差点 | 1936.3.13 | 木版・紙 | 15.6×25.3 |
| 1-58 | 瓦せんべい屋 | 1936.3.28 | 木版・紙 | 15.6×25.2 |
| 1-59 | 武庫離宮 | 1936.4.8 | 木版・紙 | 15.7×25.5 |
| 1-60 | 消防署 | 1936.4.12 | 木版・紙 | 15.5×25.6 |
| 1-61 | 松風村雨堂 | 1936.4.14 | 木版・紙 | 15.7×25.3 |
| 1-62 | 宇治川市場 | 1936.4.16 | 木版・紙 | 15.8×25.2 |
| 1-63 | ラグビー | 1936.4.17 | 木版・紙 | 15.8×25.3 |
| 1-64 | 県庁 | 1936.4.23 | 木版・紙 | 15.8×25.6 |
| 1-65 | 印度教会 | 1936.4.25 | 木版・紙 | 15.7×25.4 |
| 1-66 | 阪急終点 | 1936.5.14 | 木版・紙 | 15.8×25.4 |
| 1-67 | 神有電車乗場 | 1936.5.16 | 木版・紙 | 15.8×25.3 |
| 1-68 | 鷹取山 | 1936.5.18 | 木版・紙 | 15.6×25.3 |
| 1-69 | 北野 | 1936.5.19 | 木版・紙 | 15.8×25.6 |
| 1-70 | 港俯瞰 | 1936.5.20 | 木版・紙 | 15.9×25.6 |
| 1-71 | 須磨海岸 | 1936.5.21 | 木版・紙 | 15.5×25.8 |
| 1-72 | 阪神国道 | 1936.6.7 | 木版・紙 | 15.7×25.5 |
| 1-73 | 万国波止場 | 1936.6.8 | 木版・紙 | 15.5×25.6 |
| 1-74 | 敏馬ボートハウス前 | 1936.6.9 | 木版・紙 | 15.7×25.8 |
| 1-75 | 楠公祭 | 1936.6.11 | 木版・紙 | 15.7×25.7 |
| 1-76 | 摩耶山 | 1936.6.12 | 木版・紙 | 15.8×25.8 |
| 1-77 | 浮ドック | 1936.6.20 | 木版・紙 | 16.0×25.6 |
| 1-78 | 夢野 | 1936.6.22 | 木版・紙 | 15.6×25.6 |
| 1-79 | 栄町 | 1936.6.25 | 木版・紙 | 15.9×25.9 |
| 1-80 | 会下山 | 1936.6.27 | 木版・紙 | 15.8×25.8 |
| 1-81 | 突堤 | 1936.7.9 | 木版・紙 | 15.8×25.7 |
| 1-82 | 西宮内 | 1936.7.13 | 木版・紙 | 15.8×25.8 |
| 1-83 | 平野終点 | 1936.7.15 | 木版・紙 | 15.9×25.8 |
| 1-84 | 船具商 | 1936.7.20 | 木版・紙 | 15.8×25.6 |
| 1-85 | 地下道入口 | 1936.7.22 | 木版・紙 | 15.7×25.5 |
| 1-86 | 市民運動場 | 1936.7.23 | 木版・紙 | 15.6×25.7 |
| 1-87 | 灘酒倉 | 1936.7.25 | 木版・紙 | 16.0×25.6 |
| 1-88 | 山上遊戯 | 1936.7.26 | 木版・紙 | 16.1×25.5 |
| 1-89 | 航空燈台 | 1936.7.30 | 木版・紙 | 16.0×25.8 |
| 1-90 | 東尻池 | 1936.8.9 | 木版・紙 | 15.9×25.5 |
| 1-91 | パイロットボート | 1936.8.11 | 木版・紙 | 15.7×25.8 |
| 1-92 | 汽船会社 | 1936.8.14 | 木版・紙 | 15.8×25.8 |
| 1-93 | 諏訪山公園 | 1936.8.15 | 木版・紙 | 15.7×25.6 |
| 1-94 | 元町夜雨 | 1936.8.18 | 木版・紙 | 15.7×25.6 |
| 1-95 | 須磨夜桜 | 1936.8.20 | 木版・紙 | 15.6×25.5 |
| 1-96 | 湊川公園 | 1936.8.23 | 木版・紙 | 15.9×25.5 |
| 1-97 | 布引雌滝 | 1936.8.25 | 木版・紙 | 16.0×25.7 |
| 1-98 | 六甲ロープウェイ | 1936.8.27 | 木版・紙 | 15.8×25.8 |
| 1-99 | 新開地 | 1936.9.2 | 木版・紙 | 15.9×25.6 |
| 1-100 | 須磨海水浴 | 1936.9.4 | 木版・紙 | 16.0×25.5 |
| 1-101 | 布引溪谷 (「神戸百景」差替分) | 1936.9.20 | 木版・紙 | 15.6×25.8 |
| 1-102 | 「川西 英氏 神戸百景版画展」目録 | 1936 | 木版・印刷・紙 | 15.2×23.1 |
| 1-103 | 展覧会案内 | 1936 | | 17.7×13.2 |

川西 英「新神戸百景」

原画制作 1952.1.1~1953.2.20(一部1961) 技法・材質 オフセット印刷・紙 画面寸法 各約26.0×23.8cm

| 番号 | 作品名 |
|------|--------------|
| 2-1 | みなと |
| 2-2 | 神戸沖 |
| 2-3 | 観光団上陸 |
| 2-4 | 元町歳暮 |
| 2-5 | 元町ネオン |
| 2-6 | 布引水源池 |
| 2-7 | 修法ケ原 |
| 2-8 | 修法ケ原外人墓地 |
| 2-9 | 教育植物園 |
| 2-10 | 森林植物園 |
| 2-11 | 六甲山牧場 |
| 2-12 | 奥摩耶 |
| 2-13 | 摩耶山天上寺 |
| 2-14 | 六甲ケーブルカー |
| 2-15 | 六甲山の夜 |
| 2-16 | 六甲山ゴルフ場 |
| 2-17 | 表六甲ドライブウェイ |
| 2-18 | 鴨子ケ原団地 |
| 2-19 | 白鶴美術館 |
| 2-20 | 灘酒倉 |
| 2-21 | 商船大学 |
| 2-22 | 灘浜 |
| 2-23 | 葺合 |
| 2-24 | カナディアン・アカデミー |
| 2-25 | 王子動物園 |
| 2-26 | 市立美術館 |
| 2-27 | 布引 |
| 2-28 | 三の宮駅附近 |
| 2-29 | 国際会館 |
| 2-30 | 市役所と花時計 |
| 2-31 | ミス・コウベ発表会 |
| 2-32 | 花のプリンセス |
| 2-33 | みなとの祭 |
| 2-34 | 消防出初め式 |
| 2-35 | 外国商社 |
| 2-36 | 国際ロード |
| 2-37 | 税関前 |
| 2-38 | 商工会議所 |
| 2-39 | 新造船レセプション |
| 2-40 | メリケン波止場 |
| 2-41 | ビルの屋上 |
| 2-42 | 明石町 |
| 2-43 | 生田の森 |
| 2-44 | 生田祭 |
| 2-45 | 生田前 |
| 2-46 | 三宮センター街 |
| 2-47 | クリスマスセール |
| 2-48 | 大丸前 |
| 2-49 | ギフト・ショップ |
| 2-50 | 南京街 |
| 2-51 | 元町駅 |
| 2-52 | 高架下商店街 |
| 2-53 | 栄町 |
| 2-54 | 中突堤 |
| 2-55 | 回教寺院 |
| 2-56 | 県庁 |
| 2-57 | トア・ロード |
| 2-58 | 山本通 |
| 2-59 | 北野 |
| 2-60 | 異人屋敷 |
| 2-61 | 諏訪山住宅 |
| 2-62 | 諏訪山より港俯瞰 |

| 番号 | 作品名 |
|-------|---|
| 2-63 | 相楽園 |
| 2-64 | 関帝廟 |
| 2-65 | 海洋气象台 |
| 2-66 | モダン寺 |
| 2-67 | 市立図書館 |
| 2-68 | 神戸駅 |
| 2-69 | 楠公前 |
| 2-70 | 楠公祭 |
| 2-71 | 神戸中央郵便局 |
| 2-72 | 進水式 |
| 2-73 | 新開地 |
| 2-74 | 三角公園 |
| 2-75 | 柳原十日戎 |
| 2-76 | 平野祥福寺 |
| 2-77 | 千年家 |
| 2-78 | 有馬 |
| 2-79 | 有馬炭酸泉 |
| 2-80 | 千刈水源池 |
| 2-81 | 兵庫港 |
| 2-82 | 運河 |
| 2-83 | 浮ドック |
| 2-84 | 長田神社追儺式 |
| 2-85 | 西新開地 |
| 2-86 | 禅昌寺 |
| 2-87 | 水族館 |
| 2-88 | ラジオ関西 |
| 2-89 | 須磨寺 |
| 2-90 | 須磨海水浴 |
| 2-91 | すまの浦 |
| 2-92 | 須磨浦公園 |
| 2-93 | 須磨浦観光リフト |
| 2-94 | 塩屋 |
| 2-95 | ゼームス街 |
| 2-96 | 海神社祭 |
| 2-97 | 舞子 |
| 2-98 | 太山寺 |
| 2-99 | 神戸背山 |
| 2-100 | 出帆 |
| 2-101 | 画集「神戸百景」 1962.2.15発行(神戸百景刊行会) 34.5×33.0×4.6 |
| 2-102 | 展覧会案内 1962 10.4×14.3 |

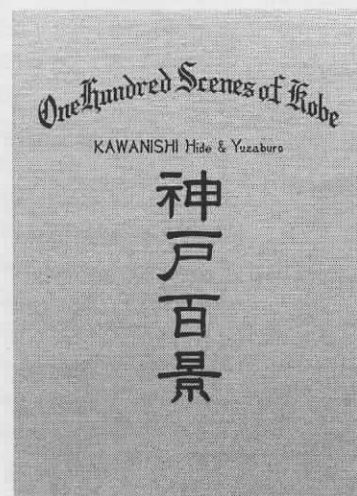


図 録 (B5)

| 番号 | 作品名 | 制作年月日 | 技法・材質 | 画面寸法 (縦×横、cm) | 出品展覧会・出典 |
|---------------|----------------|---------------------|---------|------------------|--------------------|
| 川西 英作品 | | | | | |
| 3-1 | 朝 | 1912.10.8 | 水彩・紙 | 32.0×23.2 | |
| 3-2 | 黄色い家 | 1912 | 油彩・板 | 24.0×33.2 | |
| 3-3 | 元町歳暮 | 大正末期 | 油彩・カルトン | 23.9×32.8 | |
| 3-4 | 港のある町 | 大正末期 | 水彩・紙 | 30.0×37.8 | |
| 3-5 | 街 | 1915～17頃 | 木版・紙 | 24.7×16.4 | |
| 3-6 | 電車の通る街 | 1920 | 木版、水彩・紙 | 29.9×22.1 | 第5回日本創作版画協会展 |
| 3-7 | 途上 | 1928 | 木版・紙 | 36.2×23.6 | 第7回国画創作協会展、第1回三紅会展 |
| 3-8 | 神戸海岸風景 | 1929 | 木版・紙 | 26.7×33.8 | 第4回国展 |
| 3-9 | 「神戸十二月月風景」より | | | | 第6回国展、第3回三紅会展 |
| | 一月 新開地初春 | 1931.2.27 | 木版・紙 | 16.6×28.1 | |
| | 二月 六甲山積雪 | 1931.2.28 | 木版・紙 | 16.6×28.0 | |
| | 三月 福原春宵 | 1931.3.7 | 木版・紙 | 16.7×28.2 | |
| | 四月 須磨桜花 | 1931.3.1 | 木版・紙 | 16.5×28.2 | |
| | 五月 大倉山新緑 | 1931.2.20 | 木版・紙 | 17.1×28.2 | |
| | 六月 波止場初夏 | 1931.2.25 | 木版・紙 | 16.9×28.1 | |
| | 七月 湊川公園薫風 | 1931.3.2 | 木版・紙 | 16.7×28.1 | |
| | 八月 天神浜海水浴 | 1931.3.3 | 木版・紙 | 16.9×27.9 | |
| | 九月 諏訪山満月 | 1931.3.6 | 木版・紙 | 16.5×27.7 | |
| | 十月 布引紅葉 | 1931.3.9 | 木版・紙 | 16.4×28.0 | |
| | 十一月 再度山秋色 | 1931.3.5 | 木版・紙 | 16.6×28.0 | |
| | 十二月 元町歳暮 | 1931.2.17 | 木版・紙 | 16.9×27.8 | |
| 3-10 | 神戸旧居留地 | 1932.3.15 | 木版・紙 | 32.2×38.2 | 第7回国展 |
| 3-11 | 軍艦進水 | 1938.9.21 | 木版・紙 | 45.0×72.0 | 第2回新文展 |
| 3-12 | 街1 (中国街) | 1944.3.12 | 木版・紙 | 47.5×33.0 | 第19回国展 |
| 3-13 | 元町初夏 | 1949.5.29 | 木版・紙 | 48.3×32.2 | 神戸洋画会展 |
| 3-14 | 商工会議所と水上署 | 1952.9.8 | 木版・紙 | 32.6×24.0 | |
| 3-15 | 露台 | 1957.2.9 | 木版・紙 | 61.0×46.0 | 第1回東京国際版画ビエンナーレ |
| 3-16 | 六甲山 | 1958.8.26 | 木版・紙 | 27.2×24.0 | |
| 3-17 | 外国航路 (クレセントビル) | 1961.6.30 | 木版・紙 | 24.2×32.8 | |
| 3-18 | 窓辺 (エリオン邸) | 1961.8.5 | 木版・紙 | 33.0×48.3 | 昭和36年度兵庫県美術展 |
| 3-19 | 蓬萊峡 | 1962.3月 | 木版・紙 | 91.0×61.0 | 第36回国展 |
| 3-20 | 神戸名勝絵葉書 | 1940 | | 各約9.0×13.9 | |
| 3-21 | 『港都情景』 | 1941.12.15発行(アオイ書房) | | 26.6×21.4 | |
| 3-22 | 画集『兵庫百景』 | 1964発行(神戸新聞社) | | 34.2×32.0×3.8 | |

参考資料

| | | | | | |
|------|------------|------|--|-----------|----------------------------------|
| 4-1 | 大国際花行列出発 | 1933 | | 10.3×14.5 | 『みなとの祭・国際大行進写真帖』 (神戸市観光課発行)より |
| 4-2 | 神戸市庁 | 昭和初期 | | 15.8×10.1 | 『神戸観光写真帖』 (神戸市観光課発行)より |
| 4-3 | 観光船入港 | 昭和初期 | | 15.8×18.5 | 〃 |
| 4-4 | 楠公祭 | 昭和初期 | | 11.7×16.0 | 〃 |
| 4-5 | 官幣中杜 長田神社 | 昭和初期 | | 15.8×11.6 | 〃 |
| 4-6 | 摩耶山 | 昭和初期 | | 10.6×15.0 | 〃 |
| 4-7 | 再度山ドライブウェイ | 昭和初期 | | 14.9×10.6 | 〃 |
| 4-8 | 布引貯水池 | 昭和初期 | | 10.5×14.9 | 〃 |
| 4-9 | 布引雄滝 | 昭和初期 | | 14.9×10.6 | 〃 |
| 4-10 | 布引雌滝 | 昭和初期 | | 14.9×10.6 | 〃 |
| 4-11 | 元町通 | 昭和初期 | | 16.0×11.7 | 〃 |
| 4-12 | 税関構内 | 昭和初期 | | 10.5×14.8 | 〃 |
| 4-13 | 山手通り | 昭和初期 | | 15.5×21.4 | 〃 |

| 番号 | 作品名 | 制作年月日 | 技法・材質 | 画面寸法 (縦×横、cm) | 出品展覧会・出典 |
|------|---------------------------|-----------|-------|------------------|----------|
| 4-14 | 兵庫突堤 | 昭和初期 | | 10.7×16.5 | 〃 |
| 4-15 | 湊川公園 | 昭和初期 | | 11.8×15.9 | 〃 |
| 4-16 | 布引遊歩道 | 昭和初期 | | 11.3×16.0 | 〃 |
| 4-17 | 須磨寺遊園地 | 昭和初期 | | 15.2×10.8 | 〃 |
| 4-18 | (神戸)巨利、能福寺の大仏 | 昭和初期 | 絵葉書 | 8.8×14.0 | |
| 4-19 | (神戸)全市を縦貫せる高架線、省線電車の疾走 | 昭和初期 | 絵葉書 | 8.8×13.9 | |
| 4-20 | (神戸)海洋気象台 | 大正末期～昭和初期 | 絵葉書 | 8.7×13.9 | |
| 4-21 | (神戸)巨船鹿島立つ突堤の情景 | 昭和初期 | 絵葉書 | 8.8×14.0 | |
| 4-22 | 神戸生田神社 | 大正後期 | 絵葉書 | 9.0×14.0 | |
| 4-23 | 神戸川崎造船所ガントリークレーン | 大正後期 | 絵葉書 | 8.8×13.8 | |
| 4-24 | (神戸)並立せる議事堂及び試験場の美観 | 大正後期～昭和初期 | 絵葉書 | 8.9×13.9 | |
| 4-25 | (兵庫)清盛塚と琵琶塚 | 大正末期～昭和初期 | 絵葉書 | 8.8×13.9 | |
| 4-26 | 須磨武庫離宮 | 大正後期 | 絵葉書 | 9.0×14.0 | |
| 4-27 | (神戸)山手街の一面に巍然たる兵庫県庁 | 昭和初期 | 絵葉書 | 8.9×14.0 | |
| 4-28 | 大神戸市と港内の全景 | 大正末期～昭和初期 | 絵葉書 | 8.8×28.0 | |
| 4-29 | (神戸)松青く、波静かなる須磨の浦 | 大正後期～昭和初期 | 絵葉書 | 8.9×13.9 | |
| 4-30 | 神戸 会下山楠公陣地の遺跡 | 大正後期 | 絵葉書 | 8.8×13.8 | |
| 4-31 | 神戸港第四突堤 | 大正後期 | 絵葉書 | 8.4×13.5 | |
| 4-32 | (文化の神戸)海上警備機関の整頓せる神戸水上警察署 | 大正末期～昭和初期 | 絵葉書 | 8.9×13.8 | |
| 4-33 | (神戸)緑濃き展望絶佳の諏訪山公園 | 昭和初期 | 絵葉書 | 8.8×14.0 | |
| 4-34 | (六甲山)登山索道 | 昭和初期 | 絵葉書 | 13.9×9.0 | |
| 4-35 | (神戸)劇場櫺比せる湊川新開地の賑い | 昭和初期 | 絵葉書 | 8.7×14.0 | |
| 4-36 | 須磨の海浜 | 大正後期 | 絵葉書 | 9.0×14.0 | |

川西祐三郎作品

| | | | | | |
|------|----------|------------|------|-----------|-------------|
| 5-1 | 神戸まつり | 1974.4.27 | 木版・紙 | 48.5×33.2 | まつりと港絵画展 |
| 5-2 | 群船 | 1975.5.7 | 木版・紙 | 48.5×33.2 | |
| 5-3 | 元町通り | 1976.10.10 | 木版・紙 | 24.4×33.8 | |
| 5-4 | 神戸遠望 | 1977.4.10 | 木版・紙 | 32.9×48.5 | |
| 5-5 | 黎明(須磨) | 1978.7.30 | 木版・紙 | 48.3×33.2 | |
| 5-6 | 花火 | 1979.5.23 | 木版・紙 | 24.8×34.1 | |
| 5-7 | 摩耶山 | 1981.1.23 | 木版・紙 | 24.5×33.9 | |
| 5-8 | みなと神戸 | 1981.2.4 | 木版・紙 | 60.8×45.5 | 第55回国展 |
| 5-9 | 海上都市 | 1981.2.11 | 木版・紙 | 60.6×45.7 | 第49回日本版画協会展 |
| 5-10 | 風見鶏 | 1981.2.18 | 木版・紙 | 60.4×45.6 | 第49回日本版画協会展 |
| 5-11 | 出船入船 | 1981.3.5 | 木版・紙 | 60.8×45.4 | 第55回国展 |
| 5-12 | 観覧車 | 1983.4.27 | 木版・紙 | 33.8×24.3 | |
| 5-13 | 港の朝あけ | 1987.1.27 | 木版・紙 | 33.5×48.2 | |
| 5-14 | ワイド神戸 | 1989.7.3 | 木版・紙 | 33.3×47.8 | |
| 5-15 | 港都陽光 | 1991.5.3 | 木版・紙 | 45.5×60.3 | |
| 5-16 | 神戸大橋 | 1992.5.20 | 木版・紙 | 45.1×60.4 | |
| 5-17 | 港都栄光 | 1993.5.18 | 木版・紙 | 45.2×60.3 | |
| 5-18 | 歌劇の楽園 | 1994.4.10 | 木版・紙 | 24.5×33.8 | |
| 5-19 | 石屋川車庫 | 1998.5.2 | 木版・紙 | 24.4×33.7 | |
| 5-20 | 港だより | 1998.5.12 | 木版・紙 | 45.5×60.4 | |
| 5-21 | 魚崎の駅 | 1998.6.25 | 木版・紙 | 24.5×34.0 | |
| 5-22 | 明石海峡大橋 | 1999.9.15 | 木版・紙 | 60.4×45.4 | |
| 5-23 | 清風薫る | 2001.4.4 | 木版・紙 | 33.3×48.0 | |
| 5-24 | ハーバークルーズ | 2001.4.29 | 木版・紙 | 33.3×48.0 | |

(4) 第78回特別展

異国絵の冒険 近世日本美術に見る情報と幻想

・内 容／

この展覧会で取りあげるのは、「異国」のイメージが描かれた、近世日本の美術工芸品である。近年では、歴史学の分野でも絵画作品が視覚的史料として扱われるようになり、この観点から江戸時代の「異国」「異域」観を見直す研究も進められている。ただ、このような動きの中で取りあげられる絵画資料の大半は、実際に目撃された異国人（もしくは異域に住む人々）の容姿・服装・行動にかかわる観察や印象に基づいて描かれたものである。例としては、長崎のオランダ人・中国人、使節としてやってきた朝鮮人・琉球人、北方のアイヌモシリに暮す人々、これら以外の民族でたまたま日本に漂着した人々を描いたものが挙げられる。

しかし、これら異国・異域の人々のようすを描きとどめることで、当時の日本人が世界のすべてを理解できたとはとうてい思えない。近世絵画史に登場する多くの絵師たちのなかには、日本に滞在する外国人と交流を持つ者もいくらかはいた。しかし、実際に彼らの母国に密航し、その実状を活写し日本に伝えた者など皆無と断言して良いだろう。この異邦人たちの本国はいったいどこなのか、彼らはどういう自然環境のなかで、どのような家屋と都市に住み、いかなる生活を送っていたのか・・・このような事柄は、きわめてわずかであやふやな情報を頼りにして想像するしかなかったはずである。それでも、その景観を形にしたい、目にしたいという欲求は抑えがたく、結果として多くの異国風景が描かれることになる。ただしそこには、憧憬・偏見・コンプレックス・蔑視・誤解・政治的思惑といった、写實的・記録的とはいえない要素が濃厚に混入するのも避けられなかった。このような状況で異国を描くということは、見知らぬ世界へのヴァーチャルな「冒険」を敢行するに等しい行為と言えないだろうか。

本展覧会では、異国に関する情報と幻想が錯綜し混沌としたイメージを「異国絵」なる新造語で定義し、一堂に展覧する企画である。その中には、どこの国を描いた絵なのか、まったくわからないような外国風景も多く含まれている。これら「異国絵」に見られる世界観が、近代以降の日本とその周辺諸国のあゆみ、また今日の我々が抱いている「国際感覚」にどのような影響を及ぼしているか、鑑賞者が自身に問いかける思索の「冒険」にも発展してほしいと願い、企画された。

- ・会 期／平成13年（2001）9月15日（土・祝）～10月21日（日）
- ・会 場／1階ホール、特別展示室1、南蛮美術館室、特別展示室2
- ・入 館 料／（当日・一般）800円
- ・主 催／神戸市立博物館、文化庁、読売新聞大阪本社、読売テレビ
- ・協 賛／財団法人 伊藤文化財団
- ・開催日数／32日間
- ・入館者数／8,331人
- ・出品点数／190件
- ・当館学芸員による解説会／異国絵リレートーク

| | | |
|-----------|--------------------|------|
| 9月22日（土） | 「描かれた異国 ～楽園から修羅場へ」 | 塚原 晃 |
| 9月29日（土） | 「デザインとしての異国」 | 岡 泰正 |
| 10月6日（土） | 「桃山時代の異国絵」 | 成澤勝嗣 |
| 10月13日（土） | 「江戸時代の海外情報と異国絵」 | 勝盛典子 |

会場 当館地階講堂 午後2時～

異国絵 の 冒険

近世日本美術に見る情報と幻想

2001年秋、神戸市立博物館がお送りする別世界への冒険旅行。
時空を超えた「異国」が、
あなたをお待ちしております。

いま私たちの周囲には、海外の国々に関する情報が氾濫しています。海外旅行に出かけることも、それほど特殊なことではなくなりました。そして私たちは、これらの国々を代表する風景をはっきりと思い描くことができます。たとえばアメリカならニューヨークの自由の女神と摩天楼、フランスならパリのエッフェル塔や凱旋門、中国なら北京の故宮や万里の長城・・・

しかし、このような明確な外国のイメージが日本人の間に定着したのは、ごく最近のことです。かつては、アメリカとかフランスとかパリとか、そんな地名ですら一般に知れ渡っていなかった長い時代があったのです。16世紀後半から19世紀半ばにまたがる「近世」という時代は、海外からやってくる人や情報は著しく制限され、外国へ旅行することも困難、あるいは厳しく禁じられていました。こんな状況のなかで、当時の人々は、見知らぬ異国について、どんなイメージを思い抱き、描いてきたのでしょうか。

本展覧会では、異国を見たい、形にしたいという人々の思いが込められた、わずかな情報と、ふくらむ幻想が織りなす、美術工芸品約180点を紹介いたします。

入館料

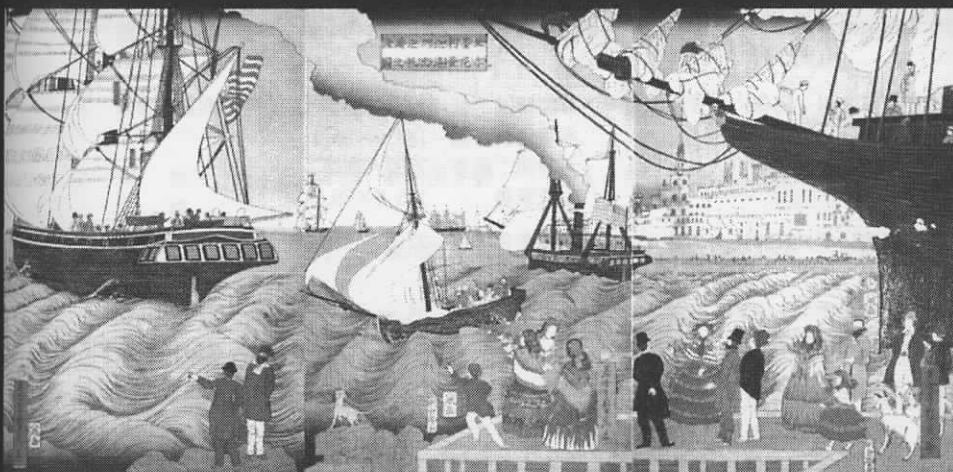
| | 一般 | 高大生 | 小中生 | シルバー |
|----|------|------|------|------|
| 当日 | 800円 | 550円 | 300円 | 400円 |
| 前売 | 700円 | 450円 | 200円 | --- |
| 団体 | 600円 | 400円 | 150円 | --- |

※団体は30名以上

※シルバーは65歳以上で、神戸市すこやか手帳持参の方



南蛮屏風 桃山時代 サントリー美術館蔵



五雲亭貞秀 亜墨利加州迦爾波尼亜 (カリフォルニア) 港出帆之図 文久2年(1862) 当館蔵



西洋遊楽園 (長崎系洋風画) 江戸時代後期 個人蔵

●異国絵リレートーク 当館学芸員による解説会

9月22日(土) 「描かれた異国～楽園から修羅場へ」 (塚原 晃)

9月29日(土) 「デザインとしての異国」 (岡 泰正)

10月6日(土) 「桃山時代の異国絵」 (成澤勝嗣)

10月13日(土) 「江戸時代の海外情報と異国絵」 (勝盛典子)

於：当館地階講堂 午後2時より(開場、午後1時30分)

事前申込不要、当日先着180名

聴講料無料(入館料は必要です)

●会期中、展示室で
午後1時と3時に
スライドによる
展示解説があります。

※会期中、資料保全のため
展示替えを行います。

テレホンサービス
TEL(078)-332-7810

当館で開催中の展覧会に関する
情報をお伝えしております。



染付西洋風景図刀掛 京焼系 幕末期 当館蔵

出品目録

| | 公開名称 | 作者山地 | 時代 | 員数 | 材質 | 法量 | 所蔵品 |
|------|----------------------------|------------------|-------------------|------|------------------------|----------------------------------|-----------|
| 1-01 | 万国絵図屏風(二十八都市・世界図屏風) | | 桃山～江戸時代初期・17世紀前半 | 8曲1双 | 紙本金地著色 | 各194.8×518.3 | 宮内庁三の丸尚蔵館 |
| 1-02 | 世界四大洲・四十八国人物図屏風 | | 江戸時代・18世紀 | 6曲1双 | 紙本著色 | 各163.8×362.8 | 神戸市立博物館 |
| 1-03 | アジア図 | G.ファルク | 1695年ころ | 1舗 | 紙本銅版筆彩 | 102.6×125.6 | 神戸市立博物館 |
| 1-04 | ヨーロッパ図 | G.ファルク | 1695年ころ | 1舗 | 紙本銅版筆彩 | 107.0×23.0 | 神戸市立博物館 |
| 1-05 | 万国総図・万国人物図 | | 正保2年(1645) | 2曲1隻 | 万国総図：紙本著色、万国人物図：紙本木版筆彩 | 万国総図：133.9×56.1、万国人物図：135.8×59.2 | 神戸市立博物館 |
| 1-06 | 四十二国人物図巻 | 金龍齋玉信筆 | 寛政11年(1799) | 1巻 | 紙本著色 | 27.3×1910.0 | 神戸市立博物館 |
| 1-07 | 万国島回寿古録 | 歌川芳盛画 | 江戸時代・19世紀中期 | 1枚 | 紙本木版色摺 | 35.8×62.0 | 神戸市立博物館 |
| 1-08 | 万国寿吾陸 | 落合芳幾、梅素亭玄魚画 | 万延元年(1860) | 1枚 | 紙本木版色摺 | 53.0×48.6 | 神戸市立博物館 |
| 1-09 | 朝比奈島遊び | 五雲亭貞秀画 | 万延元年(1860) | 3枚 | 紙本木版色摺 | 大判 | 神戸市立博物館 |
| 1-10 | 浅草奥山生人形 | 歌川国芳画 | 安政2年(1855) | 3枚 | 紙本木版色摺 | 大判 | 神戸市立博物館 |
| 2-01 | 長恨歌図屏風 | | 桃山時代 | 6曲1隻 | 紙本金地著色 | 153.5×359.0 | 個人 |
| 2-02 | 帝鑑図・咸陽宮図屏風 | 狩野宗眼重信筆 | 桃山時代 | 6曲1双 | 紙本金地著色 | 各154.6×362.8 | 個人 |
| 2-03 | 秦漢物語図屏風 | | 桃山時代 | 6曲1双 | 紙本金地著色 | | 林原美術館 |
| 2-04 | 阿房宮之図 | 円山応挙原図 円山応瑞模写 | 享和元年(1801)板行 | 1幅 | 紙本木版 | 21.7×29.7 | 神戸市立博物館 |
| 2-05 | 玉取り竜宮のてい | 奥村政信画 | 寛保～延享期(1741-48) | 1枚 | 紙本木版筆彩 | 31.4×42.0 | 神戸市立博物館 |
| 2-06 | 浮絵和国景跡龍宮玉取之図 | 歌川豊春画 | 安永～天明期(1772-89) | 1枚 | 紙本木版色摺 | 大判 | 神戸市立博物館 |
| 2-07 | 新版唐九仙山合戦之図 | 歌川豊春画 | 江戸時代後期 | 1枚 | 紙本木版色摺 | 大判 | 神戸市立博物館 |
| 2-08 | 浮絵異国景跡和藤内三官之図 | 歌川豊国画 | 江戸時代後期 | 1枚 | 紙本木版色摺 | 大判 | 神戸市立博物館 |
| 2-09 | 新版浮絵和藤内国性爺城江入図 | 沢雪崙画 | 文化4年(1807) | 1枚 | 紙本木版色摺 | 大判 | 神戸市立博物館 |
| 2-10 | 三国妖狐図会 華陽夫人采姫が眼を射て斑足王をなぐさむ | 歌川国芳画 | 嘉永期(1849-50) | 1枚 | 紙本木版色摺 | 大判 | 神戸市立博物館 |
| 2-11 | 和漢準源氏 乙女悪狐華陽夫人顕 | 歌川国芳画 | 安政2年(1855) | 1枚 | 紙本木版色摺 | 大判 | 神戸市立博物館 |
| 2-12 | 二十四孝童子鑑唐夫人 | 歌川国芳画 | 天保末～弘化初期(1843~44) | 1枚 | 紙本木版色摺 | 大判 | 神戸市立博物館 |

| 公開名称 | 作者山地 | 時代 | 員数 | 材質 | 法量 | 所蔵品 | |
|------|----------------------|------------|-----------------------|-----------|--------------|-----------------------|----------|
| 2-13 | 二十四孝童子鑑董永 | 歌川国芳画 | 天保末～弘化初期 (1843～44) | 1枚(6枚揃の内) | 紙本木版色摺 | 大判 | 神戸市立博物館 |
| 2-14 | 二十四孝童子鑑曾参 | 歌川国芳画 | 天保末～弘化初期 (1843～44) | 1枚(6枚揃の内) | 紙本木版色摺 | 大判 | 神戸市立博物館 |
| 2-15 | 二十四孝童子鑑大舜 | 歌川国芳画 | 天保末～弘化初期 (1843～44) | 1枚(6枚揃の内) | 紙本木版色摺 | 大判 | 神戸市立博物館 |
| 2-16 | 二十四孝童子鑑郭巨 | 歌川国芳画 | 天保末～弘化初期 (1843～44) | 1枚(6枚揃の内) | 紙本木版色摺 | 大判 | 神戸市立博物館 |
| 2-17 | 二十四孝童子鑑陸績 | 歌川国芳画 | 天保末～弘化初期 (1843～44) | 1枚(6枚揃の内) | 紙本木版色摺 | 大判 | 神戸市立博物館 |
| 2-18 | 唐土廿四孝 王哀 | 歌川国芳画 | 嘉永6年(1853) | 1枚 | 紙本木版色摺 | 26.0×18.5 (中判) | 神戸市立博物館 |
| 2-19 | 唐土廿四孝張孝・張禮 | 歌川国芳画 | 嘉永6年(1853) | 1枚 | 紙本木版色摺 | 26.0×18.5 (中判) | 神戸市立博物館 |
| 2-20 | 唐土廿四孝 劔子 | 歌川国芳画 | 嘉永6年(1853) | 1枚 | 紙本木版色摺 | 26.0×18.5 (中判) | 神戸市立博物館 |
| 2-21 | ロビンソン・クルーソーの生涯と冒険 | ダニエル・デフォー作 | 1721年刊 | 1冊 | | 15.3×10.2 | 個人 |
| 2-22 | 南蛮屏風左隻 | | 桃山時代 | 6曲1双のうち1隻 | 紙本金地著色 | 159.0×375.0 | 大阪城天守閣 |
| 2-23 | 南蛮屏風左隻 | | 桃山時代 | 6曲1双のうち1隻 | 紙本金地著色 | 166.8×357.0 | サントリー美術館 |
| 2-24 | 南蛮屏風 左隻 | 狩野内膳筆 | 桃山時代 | 6曲1双のうち1隻 | 紙本金地著色 | 154.5×363.2 | 神戸市立博物館 |
| 2-25 | 韃靼人図屏風 | | 桃山時代 | 6曲1双 | 紙本金地著色 | 各153.0×491.0 | 個人 |
| 2-26 | 異国風景図 | | 清代 | 4幅 | 絹本著色 | 192.1～193.4×38.5～38.6 | 神戸市立博物館 |
| 2-27 | 中国宮廷図 | | 清代か | 4曲 | 紙本著色 | 113.2×228.0 | 神戸市立博物館 |
| 2-28 | 異国海港樓閣図 | | 清代か | 1幅 | 絹本著色 | 71.3×99.3 | 神戸市立博物館 |
| 2-29 | 異国樓閣に泉水図 (中国製眼鏡絵) | | 清・18世紀中期 | 1枚 | 紙本著色 | 27.8×41.5 | 神戸市立博物館 |
| 2-30 | 浮絵阿蘭陀雪見之図 | 歌川豊春画 | 安永～天明期 (1772～89) | 1枚 | 紙本木版色摺 | 大判 | 神戸市立博物館 |
| 2-31 | 中国樓閣風景図眼鏡絵 | 伝円山応挙筆 | 宝暦～明和期 (1751～72) | 1面 | 紙本著色 (板貼) | 27.0×45.5 | 神戸市立博物館 |
| 2-32 | ウキエおらんたづ | 歌川豊春画 | 安永～天明期 (1772～89) | 枚 | 紙本木版色摺 | 13.2×16.7 | 神戸市立博物館 |
| 2-33 | 中国樓閣図 | | 清・18世紀中期 | 1枚 | 紙本著色 | 27.8×41.6 | 神戸市立博物館 |
| 2-34 | 唐館福神図 | 松本大籌画 | 宝暦～明和期 (1751～72) | 1枚 | 紙本木版筆彩 | 24.3×34.1 | 神戸市立博物館 |
| 2-35 | 浮絵七福神寿末広推之図 | 歌川豊春画 | 安永～天明期 (1772～89) | 1枚 | 紙本木版色摺 | 大判 | 神戸市立博物館 |
| 2-36 | 唐人館之図 | 奥村政信 | 寛保～延享期 (1741～48) | 1枚 | 紙本木版筆彩 | 31.3×42.0 | 神戸市立博物館 |

| 公開名称 | 作者山地 | 時代 | 員数 | 材質 | 法量 | 所蔵品 | |
|------|--------------------------------|--------------|---------------------|---------------|--------|----------------------------|------------------|
| 2-37 | 鎮江樹林図眼鏡絵 | 伝円山応挙筆 | 宝暦頃 (1751-64) | 1枚 | 紙本木版筆彩 | 22.7×34.3 | 神戸市立博物館 |
| 2-38 | 異国水辺樹林風景 | | 明和頃 (1764-72) | 1枚 | 紙本木版筆彩 | 13.9×21.2 | 神戸市立博物館 |
| 2-39 | フォンテヌブロー 運河の景眼鏡絵 | イギリス製 | 18世紀中期 | 1枚 | 紙本銅版筆彩 | 20.1×41.2 | 神戸市立博物館 |
| 2-40 | 貯水池近くのカフェ から見た大通りの風 景眼鏡絵 | | 18世紀中期 | 1面 | 紙本銅版筆彩 | 27.6×43.2 | 神戸市立博物館 |
| 2-41 | 明州津図 | 歌川豊春 | 安永~天明期 (1772-89) | 1枚 | 紙本木版色摺 | 21.8×32.1 | 神戸市立博物館 |
| 2-42 | 江蘇沿岸図・蘇州万 年橋図眼鏡絵 | 伝円山応挙筆 | 宝暦9年 (1759)年頃 | 1巻4図の うち2図 | 紙本著色 | 各16.3×21.0 | 神戸市立博物館 |
| 2-43 | 姑蘇万年橋図眼鏡絵 | 伝円山応挙筆 | 宝暦 (1751-64)末頃 | 1枚 | 紙本木版筆彩 | 20.9×27.0 | 神戸市立博物館 |
| 2-44 | 青草湖図眼鏡絵 | 伝円山応挙筆 | 宝暦 (1751-64)末頃 | 1枚 | 紙本木版筆彩 | 20.1×26.8 | 神戸市立博物館 |
| 2-45 | 中国風景図 | 北尾重政画 | 安永~天明期 (1772-89) | 1枚 | 紙本木版色摺 | 大判 | 神戸市立博物館 |
| 2-46 | 蘇州鳥瞰図 | | 江戸時代か | 1面 | 紙本著色 | 55.6×71.2 | 神戸市立博物館 |
| 2-47 | LEYDTSE POORT MUYDER POORT | 長崎版画か | 江戸時代・ 18世紀後期 | 2枚続 | 紙本木版筆彩 | 上図38.3×55.2 下図38.0×55.1 | 神戸市立博物館 |
| 2-48 | 唐美人遊宴図 | 喜多川歌麿画 | 天明年間 (1781-89) | 3枚続 | 紙本木版色摺 | 大判 | 神戸市立博物館 |
| 2-49 | 唐蘭風俗図屏風 | 谷鵬紫溟筆 | 江戸時代・ 19世紀前半 | 6曲1双 | 紙本著色 | 各132.6× 271.0 | 福岡市博物館 |
| 2-50 | 万国名勝尽競之内大 清南京府市坊 | 歌川芳虎画 | 文久2年 (1862) | 3枚続 | 紙本木版色摺 | 大判 | 神戸市立博物館 |
| 2-51 | 霊鷲山図 | 司馬江漢画 | 文化5年 (1808) | 1幅 | 紙本木版 | 80.0×28.2 | 神戸市立博物館 |
| 2-52 | 新旧東インド誌 | ファレンテイン 著 | 1724-26年 | 5冊のうち 1冊 | | | 国際日本文化研究セ ンター |
| 2-53 | 釈尊仏法御修行之画 図 | 五雲亭貞秀画 | 万延元年 (1860) | 3枚続 | 紙本木版色摺 | 大判 | 神戸市立博物館 |
| 2-54 | 万国名勝尽競之内天 竺馬爾加国 | 歌川芳虎画 | 文久3年 (1863) | 3枚続 | 紙本木版色摺 | 大判 | 神奈川県立歴史博物 館 |
| 2-55 | 琉球八景 泉崎夜月 | 葛飾北斎画 | 天保3年 (1832)頃 | 1枚 | 紙本木版色摺 | 大判 | 神奈川県立歴史博物 館 |
| 2-56 | 琉球八景 長虹秋霽 | 葛飾北斎画 | 天保年間 (1830-1844) | 1枚 | 紙本木版色摺 | 大判 | 神奈川県立歴史博物 館 |
| 2-57 | 琉球八景 桑村竹籬 | 葛飾北斎画 | 天保年間 (1830-1844) | 1枚 | 紙本木版色摺 | 大判 | 神奈川県立歴史博物 館 |
| 2-58 | 大日本北地蝦夷麗狽 之図 | 五雲亭貞秀画 | 万延元年 (1860) | 3枚続 | 紙本木版色摺 | 大判 | 神戸市立博物館 |
| 3-01 | 洋人奏楽図屏風 | | 桃山~ 江戸時代初期 | 6曲1双 | 紙本著色 | 各102.5× 308.0 | 永青文庫 |
| 3-02 | 泰西風俗図屏風 | | 桃山~ 江戸時代初期 | 6曲1双 | 紙本著色 | 各97.0× 270.5 | 福岡市美術館 |

| 公開名称 | 作者山地 | 時代 | 員数 | 材質 | 法量 | 所蔵品 |
|------|--|--|-------------|----------------|--------------------------------|------------------------|
| 3-03 | 水車のある西洋風俗 図屏風 | 桃山～ 江戸時代初期 | 6曲1隻 | 紙本著色 | 101.9× 262.2 | 個人 |
| 3-04 | 泰西王侯図屏風 | 桃山～ 江戸時代初期 | 6曲1双 | 紙本著色 | 各図123.8× 51.4 | 長崎県立美術博物館 |
| 3-05 | 西洋人物図 | 若杉五十八筆 江戸時代後期 | 5点 | 布地油彩 | 各129.0× 50.5 | 住友史料館 |
| 3-06 | 狩獵家と鷹匠 | J. E. リーディン ガー 1762年頃 | 1冊 | 紙本銅版 | 47.7×32.5 | 神戸市立博物館 |
| 3-07 | 花鳥の阿蘭陀風景図 | 若杉五十八筆 江戸時代後期 | 2面揃の内 1面 | 紙本著色 | 各134.6× 57.5 | 神戸市立博物館 |
| 3-08 | 蘭人鷹狩図 | 荒木如元筆 江戸時代後期 | 1面 | 布地油彩 | 131.0×68.6 | 長崎市立博物館 |
| 3-09 | 瀬海都城図伝 | 荒木如元筆 江戸時代後期 | 1面 | 布地油彩 | 88.8×58.8 | 神戸市立博物館 |
| 3-10 | オランダ海港図 | 荒木如元筆 江戸時代後期 | 1幅 | 布地油彩 | 26.7×54.9 | 大和文華館 |
| 3-11 | 洋人遊楽図 | 江戸時代後期 | 1面 | 紙本著色 | 52.5×169.8 | 個人 |
| 3-12 | 海岸之図 | 江戸時代後期 | 1枚 | 紙本油彩 | 54.2×126.8 | 住友史料館 |
| 3-13 | 西洋婦人図 | 江戸時代後期 | 1点 | 紙本油彩 | 38.5×26.8 | 鷹見家歴史資料（古 河歴史博物館保管） |
| 3-14 | 西洋風景人物図粉本 類 | 江戸時代後期 | 8点 | 紙本墨画、 部分に著色 | | 伊藤根光氏 |
| 3-15 | 西洋男女図 | 梅湾竹直公筆 文化13年 (1816) | 1面 | 紙本著色 | 177.8×165.0 | 個人 |
| 3-16 | 異国風景人物図 | 榊有隣筆 江戸時代・ 19世紀前半 | 1幅 | 紙本著色 | 124.4×48.3 | 神戸市立博物館 |
| 3-17 | 異国風景図ガラス絵 | 江戸時代・ 19世紀中期 | 1面 | ガラス裏面に 著色 | 33.2×79.7 (額を含めた寸法) | 神戸市立博物館 |
| 3-18 | 西洋海浜風俗図屏風 | 土井有隣筆 文化7年 (1810) | 6曲1隻 | 紙本墨画淡彩 | 151.2×306.8 | 京都国立博物館 |
| 3-19 | バイヨンヌ近郊風景 第2（ああ、よき時 代なるかな、この鉄 の世紀は／あり余る 品々こそ不可欠なる もの） | ジョセフ・ヴェ ルネ原画、ペッ リグリーン・ダ ・コッレ作 18世紀後半 | 1枚 | 紙本銅版筆彩 | | 個人 |
| 3-20 | 紅毛人風俗図 | 松尾秀山筆 江戸時代・ 19世紀中期 | 2曲1双 | 紙本淡彩 | 右隻156.0×176.9 左隻156.2×175.2 | 神戸市立博物館 |
| 3-21 | 西洋人物図 | 松尾秀山筆 江戸時代・ 19世紀中期 | 2幅 | 紙本墨画 | 各120.0× 58.5 | 郡山市立美術館 |
| 3-22 | 紅毛人図 | 松尾秀山画 江戸時代・ 19世紀中期 | 1枚 | 紙本木版色摺 | 39.3×52.6 | 神戸市立博物館 |
| 3-23 | 異国風景人物図 | 司馬江漢筆 江戸時代・ 18世紀後半 | 2幅 | 絹本油彩 | 各114.9× 55.5 | 神戸市立博物館 |
| 3-24 | 異国工場図 | 司馬江漢筆 江戸時代後期 | 1幅 | 絹本淡彩 | 64.0×128.6 | 神戸市立博物館 |

| 公開名称 | 作者山地 | 時代 | 員数 | 材質 | 法量 | 所蔵品 |
|--------------------------|---------|-----------------|-----------|------------|---------------------------|---------|
| 3-25 ZITenHUYS | 司馬江漢画 | 江戸時代・18世紀後期 | 1面 | 紙本銅版筆彩 | 28.2×41.6 | 神戸市立博物館 |
| 3-26 Serhentine | 司馬江漢画 | 江戸時代・18世紀後期 | 1面 | 紙本銅版筆彩 | 27.6×40.7 | 神戸市立博物館 |
| 3-27 獅子のいる異国風景図 | 司馬江漢画 | 江戸時代・18世紀後期 | 1面 | 紙本銅版筆彩 | 25.4×38.5 | 神戸市立博物館 |
| 3-28 異国海岸図 | 亜欧堂田善か | 江戸時代・19世紀前期か | 1幅 | 紙本著色 | 54.4×96.9 | 個人 |
| 3-29 ゼルマニヤ廊中之図 | 亜欧堂田善 | 文化6年(1809) | 1面 | 紙本銅版 | 30.1×56.1 | 神戸市立博物館 |
| 3-30 西洋公園図 | 亜欧堂田善画 | 文化年間(1804-1818) | 1枚 | 紙本銅版 | 29.5×56.0 | 個人 |
| 3-31 フォンテーヌブローウ宮眺望図眼鏡絵 | イギリス製 | 18世紀中期 | 1枚 | 紙本銅版筆彩 | 25.1×43.9 | 神戸市立博物館 |
| 3-32 獅子図 | 石川孟高筆 | 江戸時代・19世紀前期 | 1枚 | 絹本淡彩 | 29.6×19.7 | 個人 |
| 3-33 獅子図 | 石川大浪筆 | 文化2年(1805) | 1面 | 絹本淡彩 | 28.4×19.7 | 神戸市立博物館 |
| 3-34 イソップ物語 | | 1810年頃刊 | 1冊 | | 25.6×18.4 | 神戸市立博物館 |
| 3-35 朱塗り直視式覗き眼鏡阿蘭陀風景図巻付き | | 江戸時代後期 | 1点 | 図巻は絹本著色 | 62.8×35.0×42.5 卷子長3.4m | 神戸市立博物館 |
| 3-36 ミッダハテン城図眼鏡絵 | | 明和・天明頃(1764-89) | 1面 | 紙本著色 | 26.1×38.0 | 神戸市立博物館 |
| 3-37 ローマのヴェネツィア宮殿図眼鏡絵 | 伝円山応挙画 | 江戸時代 | 1面 | 紙本著色 | 28.9×40.6 | 神戸市立博物館 |
| 3-38 阿蘭陀ハイノ名城 | 不韻齋画 | 明和・安永期(1764-81) | 1枚 | 木版合羽摺 | 17.4×24.5 | 神戸市立博物館 |
| 3-39 うきゑ阿蘭陀学科図 | 不韻齋画 | 明和・安永期(1764-81) | 1枚 | 木版合羽摺 | 23.8×34.3 | 神戸市立博物館 |
| 3-40 おらん□□わくうきゑ | 不韻齋画 | 明和・安永期(1764-81) | 1枚 | 木版合羽摺に一部筆彩 | 23.3×33.5 | 神戸市立博物館 |
| 3-41 阿蘭陀フランスカノ伽藍之図 | 歌川豊春 | 安永～天明期(1772-89) | 1枚 | 紙本木版色摺 | 大判横 | 神戸市立博物館 |
| 3-42 浮絵紅毛フランカイノ湊万里鐘響図 | 歌川豊春 | 安永～天明期(1772-89) | 1枚 | 紙本木版色摺 | 大判 | 神戸市立博物館 |
| 3-43 浮絵阿蘭陀国東南湊図 | 歌川豊春画 | 安永～天明期(1772-89) | 1枚 | 紙本木版色摺 | 大判 | 神戸市立博物館 |
| 3-44 浮絵アルマニヤ珍薬物集之図 | 歌川豊春画 | 安永～天明期(1772-89) | 1枚 | 紙本木版色摺 | 大判横 | 神戸市立博物館 |
| 3-45 アンボイナ島珍奇物産集成 | ルンフィウス著 | 1705年 | 1冊 | | 39.8×27.0 | 神戸市立博物館 |
| 3-46 浮絵すなとりの図 | 歌川豊春画 | 安永～天明期(1772-89) | 1枚 | 紙本木版色摺 | 大判 | 江戸ガラス館 |
| 3-47 新板阿蘭陀浮画日多国尖形高台 | 歌川国長画 | 享和～文政頃(1801-30) | 1枚(5枚揃の内) | 紙本木版色摺 | 大判 | 神戸市立博物館 |
| 3-48 新板阿蘭陀浮画細亞洲巴必鷲城 | 歌川国長画 | 享和～文政頃(1801-30) | 1枚(5枚揃の内) | 紙本木版色摺 | 大判 | 神戸市立博物館 |

| 公開名称 | 作者山地 | 時代 | 員数 | 材質 | 法量 | 所蔵品 | |
|------|---|------------------|-----------------------------|-----------|--------------|------------------|-----------|
| 3-49 | 新板阿蘭陀浮画 亜細亞洲第素禄王瑩墓 | 歌川国長画 | 享和～文政頃 (1801-30) | 1枚(5枚揃の内) | 紙本木版色摺 | 大判 | 神戸市立博物館 |
| 3-50 | 新板阿蘭陀浮画 欧邏巴洲石造供木星人形 | 歌川国長画 | 享和～文政頃 (1801-30) | 1枚(5枚揃の内) | 紙本木版色摺 | 大判 | 神戸市立博物館 |
| 3-51 | 新板阿蘭陀浮画 楽徳海嶋銅人巨像 | 歌川国長画 | 享和～文政頃 (1801-30) | 1枚(5枚揃の内) | 紙本木版色摺 | 大判 | 神戸市立博物館 |
| 3-52 | 羅得島湊紅毛船入津之図 | 歌川国虎画 | 文化12年(1815)～ 天保13年(1842) | 1枚 | 紙本木版色摺 | 大判 | 神戸市立博物館 |
| 3-53 | 忠臣蔵十一段目夜討之図 | 歌川国芳画 | 天保初期 (1831)頃 | 1枚 | 紙本木版色摺 | 大判横 | 神戸市立博物館 |
| 3-54 | 東西海陸紀行 | ニュー・ホフ著 | 1682年刊 | 1冊 | | 39×25 (フォリオ判) | 神戸市立博物館 |
| 3-55 | 西洋戦闘図 | 安田雷洲筆 | 嘉永7年 (1854)頃 | 2面 | 紙本淡彩 | 各19.0×59.1 | 大場代官屋敷保存会 |
| 3-56 | 捕鯨図 | 安田雷洲筆 | 江戸時代・ 19世紀中期 | 1幅 | 絹本著色 | 91.2×39.8 | 個人 |
| 3-57 | RUSSISCHE KASTEEL VAN MOSKOW | 安田雷洲 (無款) | 江戸時代・ 19世紀中期 | 1枚 | 紙本銅版墨摺 | 13.8×19.2 | 神戸市立博物館 |
| 3-58 | 西洋戦闘図 | 電斎筆 | 安政4年 (1857) | 1幅 | 紙本淡彩 | 46.9×114.0 | 神戸市立博物館 |
| 3-59 | ヨーロッパ戦闘図 | | 江戸時代・ 19世紀中期 | 22枚 | 紙本著色 | 画面14.1× 22.6 | 神戸市立博物館 |
| 3-60 | 新田よしさだかまくらをおとす | 安田雷洲 | 江戸時代・ 19世紀中期 | 1枚 | 紙本銅版茶摺 | 10.0×16.2 | 神戸市立博物館 |
| 3-61 | 上杉武田信州川中島戦 | 安田雷洲 (無款) | 江戸時代・ 19世紀中期 | 1枚 | 紙本銅版茶摺 | 9.8×16.3 | 神戸市立博物館 |
| 3-62 | 信州川中島武田の正兵西条山を引かへし雨宮のわたりをこへ越後方甘粕近江守と戦ふ図 | 歌川国芳画 | 安政2年 (1855) | 3枚続 | 紙本木版色摺 | 大判 | 神戸市立博物館 |
| 3-63 | 海外人物小伝 | 万邦楼蔵梓・ 時々夢斎序 | 嘉永6年 (1853) | 5冊 | 紙本木版一部 色摺 | 25.5×17.9 | 神戸市立博物館 |
| 3-64 | 海外新話 | 嶺田楓江著 五 雲亭貞秀画 | 嘉永2年 (1849)年 | 5冊 | 紙本木版 | 26.0×17.9 | 神戸市立博物館 |
| 3-65 | ENGERAND GOLOOD GKIP | 岡田春燈斎画 | 江戸時代・ 19世紀中期 | 1枚 | 紙本銅版 | 19.5×24.5 | 神戸市立博物館 |
| 3-66 | 市街戦争図 | 玄々堂 松本保 居か | 江戸時代・ 19世紀中期 | 1枚 | 紙本銅版墨摺 | 17.8×27.5 | 神戸市立博物館 |
| 3-67 | 虫合戦図 | 春木南溟筆 | 嘉永4年 (1851)ごろ | 1幅 | 絹本著色 | 53.7×85.2 | 神戸市立博物館 |
| 3-68 | 虫合戦図 | 春木南溟筆 | 嘉永7年 (1854) | 1幅 | 絹本著色 | 52.0×82.5 | 個人 |
| 3-69 | 亜墨利加国蒸気車往来 | 歌川芳員画 | 文久元年 (1861) | 3枚続 | 紙本木版色摺 | 大判 | 神戸市立博物館 |
| 3-70 | 亜墨利加州内華盛頓府之景銅板之写生 | 歌川芳員画 | 文久元年 (1861) | 3枚続 | 紙本木版色摺 | 大判 | 神戸市立博物館 |

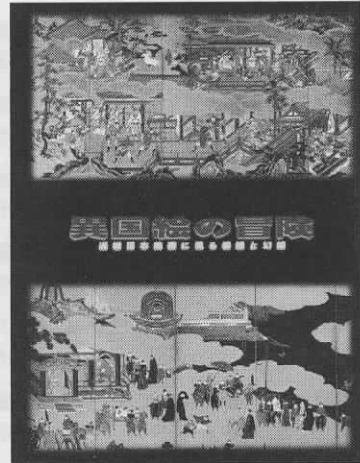
| 公開名称 | 作者山地 | 時代 | 員数 | 材質 | 法量 | 所蔵品 |
|------|--------------------------------|---------|-------------------|------|--------------------|------------|
| 3-71 | イラストレイテッド・ロンドン・ニュース1861年5月18日号 | | 1冊 | | | 神奈川県立歴史博物館 |
| 3-72 | 蛮国名勝尽競之内亜墨利加華盛頓府 | 歌川芳虎画 | 文久2年(1862) | 3枚続 | 紙本木版色摺 大判 | 神戸市立博物館 |
| 3-73 | 北亜墨利加合衆国華盛都府之図 | 歌川芳虎画 | 慶応2年(1866) | 3枚続 | 紙本木版色摺 大判 | 神戸市立博物館 |
| 3-74 | 北亜墨利加洲 | 歌川芳虎画 | 慶応2年(1866) | 3枚続 | 紙本木版色摺 大判 | 神戸市立博物館 |
| 3-75 | 西墨利加国 | 歌川芳虎画 | 慶応3年(1867) | 3枚続 | 紙本木版色摺 大判 | 神戸市立博物館 |
| 3-76 | 亜墨利加国 | 歌川芳虎画 | 慶応元年(1865) | 3枚続 | 紙本木版色摺 大判 | 神戸市立博物館 |
| 3-77 | 亜墨利迦州迦爾波ルニア港出帆之図 | 五雲亭貞秀画 | 文久2年(1862) | 3枚続 | 紙本木版色摺 大判 | 神戸市立博物館 |
| 3-78 | 亜墨利加賑之図 | 歌川広重II画 | 文久元年(1861) | 3枚続 | 紙本木版色摺 大判 | 神戸市立博物館 |
| 3-79 | 蛮国名勝尽競之内英吉利龍動海口 | 歌川芳虎画 | 文久2年(1862) | 3枚続 | 紙本木版色摺 大判 | 神戸市立博物館 |
| 3-80 | 英吉利国囀頓図 | 歌川芳虎画 | 慶応2年(1866) | 3枚続 | 紙本木版色摺 大判 | 神戸市立博物館 |
| 3-81 | 英吉利西龍道大港 | 歌川広重II画 | 文久3年(1863) | 3枚続 | 紙本木版色摺 大判 | 神戸市立博物館 |
| 3-82 | 蛮国名勝尽競之内仏蘭西把里須府 | 歌川芳虎画 | 文久2年(1862) | 3枚続 | 紙本木版色摺 大判 | 神戸市立博物館 |
| 3-83 | 仏狼西国 | 歌川芳虎画 | 慶応元年(1865) | 3枚続 | 大判 | 神戸市立博物館 |
| 3-84 | 仏蘭西大湊諸国交易図 | 月岡芳年画 | 慶応2年(1866) | 3枚続 | 紙本木版色摺 大判 | 神戸市立博物館 |
| 3-85 | 阿蘭陀海港風景図下絵 | 五雲亭貞秀画 | 江戸時代・19世紀中期 | 1枚 | 紙本淡彩 27.5×69.7 | 神戸市立博物館 |
| 3-86 | 新和蘭陀南和留連寿国之図 | 月岡芳年画 | 慶応2年(1866) | 3枚続 | 紙本木版色摺 大判 | 神戸市立博物館 |
| 4-01 | 染付オランダ風景図皿 | 中国・景德鎮窯 | 清代・18世紀初期 | 1枚 | 高20.4 径20.2 | 神戸市立博物館 |
| 4-02 | 染付オランダ風景図皿 | 有田窯 | 江戸時代・18世紀初期 | 1枚 | 高2.4 径19.7 | 神戸市立博物館 |
| 4-03 | 蒔絵コルシーニ宮図プラーク | 長崎製か | 江戸時代・18世紀末～19世紀初期 | 1枚 | 35.5×52.4 | 個人 |
| 4-04 | 青貝細工西洋教会図箱 | 長崎製 | 江戸時代・19世紀中期 | 1点 | 高10.4 24.3×38.0 | 神戸市立博物館 |
| 4-05 | 蒔絵青貝アムステルダム風景図遊戯具箱 | 長崎製 | 江戸時代・19世紀前半期 | 1点 | 高7.0 21.4×26.1 | 個人 |
| 4-06 | 蒔絵青貝オランダ風景図箱 | 長崎製 | 江戸時代・19世紀前半期 | 1点 | 高10.4 24.4×38.0 | 個人 |
| 4-07 | 蒔絵青貝アムステルダム風景図煙草入れ | 長崎製 | 江戸時代・19世紀前半期 | 1点 | 高2.3 8.0×13.5 | 個人 |
| 4-08 | 青貝細工西洋港図風炉先屏風 | 長崎製 | 江戸時代・19世紀前半期 | 2曲1隻 | 36.0×314.8 | 長崎県立美術博物館 |

| 公開名称 | 作者山地 | 時代 | 員数 | 材質 | 法量 | 所蔵品 |
|----------------------------|---------------|-------------------|----|----|--|---------|
| 4-09 青貝細工ヴィーナスにキューピット図煙草入れ | 長崎製 | 江戸時代・18世紀末~19世紀初期 | 1点 | | 高2.4 7.6×13.6 | 神戸市立博物館 |
| 4-10 色絵阿蘭陀人文蓋付碗 | 有田窯 | 江戸時代・18世紀末~19世紀初期 | 5合 | | 各高9.8 口径12.9 | 神戸市立博物館 |
| 4-11 染付帆船に阿蘭陀人文鉢 | 有田窯 | 江戸時代・19世紀初期 | 1口 | | 高12.0 口径23.0 | 神戸市立博物館 |
| 4-12 染付望遠鏡に阿蘭陀人文皿 | 有田窯 | 江戸時代・19世紀初期 | 1枚 | | 高5.4 径30.6 | 神戸市立博物館 |
| 4-13 銚絵西洋風景図盃洗 | 三代乾山に帰属 | 江戸時代・19世紀中期 | 1口 | | 高11.4 径14.1 | 神戸市立博物館 |
| 4-14 銚絵阿蘭陀風俗図皿 | イギリス皿に尾形周平絵付け | 江戸時代・19世紀初期 | 8枚 | | 高2.3 径17.2 | 神戸市立博物館 |
| 4-15 藍絵西洋風景図刀掛 | 京都製 | 江戸時代・19世紀中期 | 1点 | | 高40.5 37.9×20.5 | 神戸市立博物館 |
| 4-16 染付花卉に西洋風景図大皿 | 京都製 | 江戸時代・19世紀中期 | 1枚 | | 高7.5 径49.1 | 神戸市立博物館 |
| 4-17 藍絵西洋風景図台付大鉢 | 京都製 | 天保14年(1843)以前 | 1点 | | 高13.2 径45.2 | 個人 |
| 4-18 藍絵西洋風景図蓋物 | 京都製 | 江戸時代・19世紀中期 | 1合 | | 高16.5 径19.5 | 個人 |
| 4-19 藍絵西洋風景図盃洗 | 京都製 | 江戸時代・19世紀中期 | 1口 | | 高19.6 胴径21.1 | 神戸市立博物館 |
| 4-20 藍絵西洋風景図水指 | 京都製 | 江戸時代・19世紀中期 | 1口 | | 高16.5 口径16.1 | 個人 |
| 4-21 藍絵西洋風景図水注 | 京都製 | 江戸時代・19世紀中期 | 1点 | | 高17.2 胴径7.3 | 個人 |
| 4-22 藍絵西洋人物に風景図急須 | 京都製 | 江戸時代・19世紀中期 | 1点 | | 高12.5 胴径9.0 | 個人 |
| 4-23 藍絵西洋人物図皿 | 京都製 | 江戸時代・19世紀中期 | 1枚 | | 高2.5 径17.3 | 個人 |
| 4-24 藍絵西洋風景図八角皿 | 京都製 | 江戸時代・19世紀中期 | 1枚 | | 高3.5 径17.6 | 個人 |
| 4-25 色絵異国風景図二段重 | 京都製 | 江戸時代・19世紀中期 | 1合 | | 高13.8 幅18.9 | 神戸市立博物館 |
| 4-26 藍絵西洋風景図鉢 | 京都製 | 江戸時代・19世紀中期 | 1口 | | 高8.1 口径17.0 | 神戸市立博物館 |
| 4-27 藍絵西洋風景図台付鉢 | 京都製 | 江戸時代・19世紀中期 | 1点 | | 高5.1 口径18.4 | 神戸市立博物館 |
| 4-28 藍絵西洋風景図手付水注 | 京都製 | 江戸時代・19世紀中期 | 2点 | | 左 高14.6 胴径13.8 右 高14.0 胴径14.0 | 個人 |
| 4-29 藍絵花卉に西洋風景図涼炉 | 仁阿弥道八作 | 江戸時代・19世紀中期 | 1点 | | 高12.2 口径10.8 | 神戸市立博物館 |
| 4-30 藍絵西洋風景図涼炉 | 京都製 | 江戸時代・19世紀中期 | 1点 | | 高13.5 口径11.7 | 神戸市立博物館 |
| 4-31 藍絵西洋風景図碗 | 制作地不詳 | 江戸時代・19世紀中期 | 5口 | | 高6.1 口径10.2 | 神戸市立博物館 |

| 公開名称 | 作者山地 | 時代 | 員数 | 材質 | 法量 | 所蔵品 |
|--------------------------|-------------|-----------------|----|----|-----------------|---------|
| 4-32 黒絵西洋風景図深皿 | 制作地不詳 | 江戸時代・ 19世紀中期 | 1枚 | | 高3.9 径18.0 | 個人 |
| 4-33 黒絵西洋風景図水注 | 制作地不詳 | 江戸時代・ 19世紀中期 | 1点 | | 高15.8 胴径10.6 | 個人 |
| 4-34 藍絵西洋帆船図皿 | 伊賀焼 | 江戸時代・ 19世紀中期 | 1枚 | | 高3.1 径19.9 | 神戸市立博物館 |
| 4-35 染付西洋風景図鉢 | 大橋秋二(名古屋)作か | 江戸時代・ 19世紀中期 | 1口 | | 高7.2 口径15.3 | 個人 |
| 4-36 銅版転写染付西洋人物に西洋風景図火入れ | 川名焼(名古屋)に帰属 | 江戸時代・ 19世紀中期 | 2点 | | 高9.2 胴径11.5 | 神戸市立博物館 |



B2ポスター



図録

(5) 第79回特別展

古代ローマの輝き 世界遺産 ポンペイ展

・内 容／

本展は、ローマ時代の人びとの持っていた自然・科学・技術に対する豊富な知識に焦点をあてた展覧会として企画された。ポンペイは西暦79年ヴェスヴィオ山の大噴火により一瞬のうちに埋没した、ナポリ湾に臨む古代都市である。このため古代の日常生活のようすが他ではみられないような形で保存されてきた。18世紀からはじまった発掘調査で舗装された道路や水道、壁画で飾られた住宅や巨大闘技場などがぞくぞくと姿をあらわした。出品される約360点の出土品のほとんどはこれまで公開されることのなかったもので、ポンペイ・エルコラーノ・オプロンティス・スタビアなどの遺跡から発見された。どれもが2000年前のローマ人たちの自然・科学・技術に対する豊富な知識を裏付けるものである。これらの資料により、当時のポンペイで繰り広げられた人びとの暮らしを紹介した。

- ・会 場／特別展示室1、南蛮美術館室、特別展示室2
- ・会 期／平成13年（2001）11月10日（土）～平成14年（2002）1月27日（日）
- ・主 催／神戸市、神戸市立博物館、(財)神戸国際観光コンベンション協会、朝日新聞社
- ・後 援／外務省、イタリア大使館、日本におけるイタリア年財団、日本ユネスコ協会連盟、NHK 神戸放送局
- ・特別協賛／凸版印刷株式会社
- ・協 賛／Enel（イタリア電力公社）
- ・協 力／アリタリア航空会社、ゼネラル保険会社、日本通運株式会社
- ・学術協力／東京大学文学部象形文化研究拠点
- ・入 館 料／（当日・一般）1,200円
- ・開催日数／63日
- ・入館者数／127,872人
- ・出品点数／357件
- ・講演会／会場 当館地下講堂 午後2時～
12月9日（日） 浅香正氏（同志社大学名誉教授）
『古代ローマ都市ポンペイの埋没と蘇生』



B2ポスター

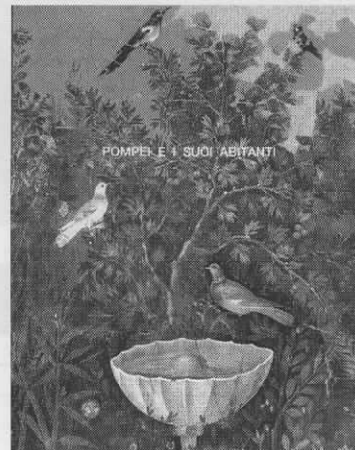


図 録

世界遺産 ポンペイ展

青く輝くナポリ湾に臨む都市遺跡ポンペイ。

2000年のタイムカプセル

古代ローマ時代、ポンペイは農業や貿易で栄え、1万数千人が暮らしていましたが、西暦79年、ヴェスヴィオ山の噴火で火山灰に埋もれてしまいました。18世紀に始まった発掘で、地中から舗装された道路や公共広場、闘技場などが次々に姿をあらわしました。「ポンペイ展」は自然の恵みを利用して豊かな生活を送っていた2000年前の人々に出会う「タイムカプセルの扉」です。360点にもおよぶ壁画や彫像、ガラス細工、化粧品や装身具、医療器具などが、2000年の時をこえて私たちの前によみがえります。

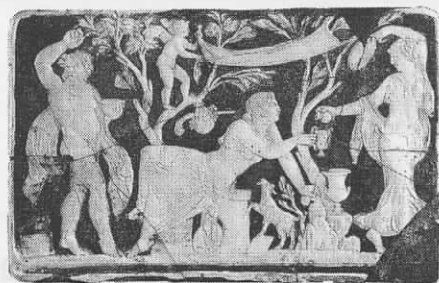
最新の研究成果 ～ローマ時代の豊かな暮らし～

ポンペイには今の生活と変わらない水道、劇場、公共浴場、市庁舎などがありました。「ポンペイ展」では、自然環境や文化、科学、技術などの多角的な視点で、ローマ時代の「人と暮らし」を紹介します。町のメインストリートにあった「ポリビウスの家」の遺跡調査の最新成果を、家の模型や映像に生かし、当時の人々の食事や住まい、日々の生活を明らかにし、噴火直後の人々の最後の行動に迫ります。

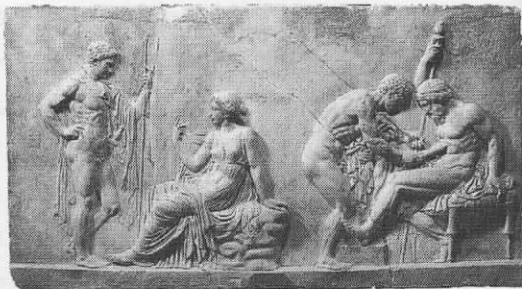


体験しよう！～映像、パソコン、復元模型～

「デジタル体験室」では、パソコンで遺跡を散歩する疑似体験ができます。また、遺跡の規模、「ポンペイ最後の日」のエピソードなどもハイビジョン映像で紹介します。展示品が当時どのように使われていたのか、実際に操作して知ることができる復元模型や、その動きを再現したコンピューター・グラフィックスなどでわかりやすく解説します。子どもから大人まで、ポンペイを訪れたことのない人も十分理解を深め、楽しむことができます。



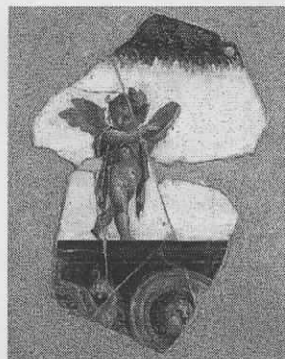
カメオ技法によるガラスの浮き彫り



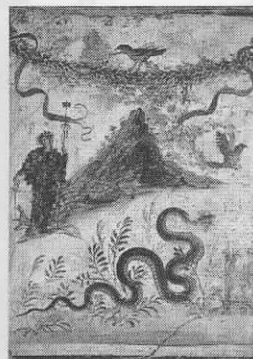
治療場面の浮き彫り



黒曜石の杯



タンパリンをたたくアモリーノ



バッカスとヴェスヴィオ山



庭園の風景

■入館料

| | 当日券 | 前売券 | 団体券 |
|------|--------|--------|------|
| 一般 | 1,200円 | 1,000円 | 900円 |
| 高・大生 | 900円 | 750円 | 700円 |
| 小・中生 | 400円 | 300円 | 250円 |

- * シルバーは600円 神戸市すこやか福祉手帳の提示が必要
- * 団体は30名以上
- * 高・大生は高等学校、高等専門学校、予備校、短期大学、看護専門学校、大学、大学院等て学生証によって身分を確認できる方

<テレフォンサービス> ☎(078)332-7810

当館で開催中の展覧会に関する情報をお伝えしております。



ポンペイ展出品一覧

| No. | 作品名 | 材質 | サイズ |
|--------------------|----------------------|---------------|------------------|
| I タイムカプセルの扉 | | | |
| 1 | 犠牲者の石膏型どり (複製) | 石膏 | 高87×47×幅57cm |
| 2 | 犠牲者の樹脂型どり | ガラス繊維強化樹脂 | |
| 3 | イヌの石膏型どり (複製) | 石膏 | |
| 4 | テラコッタ製奉納品 | テラコッタ | 高14×幅7.5cm |
| II 人と自然 | | | |
| 5 | バックスとヴェスヴィオ山 | 古代フレスコ | 高140×幅101cm |
| 6 | 震災後の情景をあらわす浮き彫り | 大理石 | 高16.5×幅97cm |
| 7 | 震災後の情景をあらわす浮き彫り (複製) | 石膏 | 高18×幅86×厚6cm |
| 8 | 庭園の風景 | 古代フレスコ | 高210×幅367cm |
| 9 | 庭園の風景 | 古代フレスコ | 高210×幅285cm |
| 10 | 庭園の風景 | 古代フレスコ | 高210×幅367cm |
| 11 | 鳥がとまる枝 | 青銅 | 高25cm |
| 12 | フクロウ | 青銅 | 高8cm×幅4.5cm |
| 13 | シカの角 | 骨 | 長60×幅30cm |
| 14 | ワシとヘビ | 大理石 | 高36×幅28cm |
| 15 | オオカミの形の香油入れ | テラコッタ | 高16.5×幅13×奥9.5cm |
| 16 | キツタの壁画断片 | 古代フレスコ | 縦28.3×横19.5cm |
| 17 | ドンダリの壁画断片 | 古代フレスコ | 幅32.5×高28.2cm |
| 18 | ハクチョウの壁画断片 | 古代フレスコ | 幅22×高17.5cm |
| 19 | 昆虫の壁画断片 | 古代フレスコ | 幅23.2×高18.2cm |
| 20 | 魚介類の壁画 | 古代フレスコ | 高53×幅49cm |
| 21 | 魚のモザイク | 多色石灰石、色付すりガラス | 高50×幅40cm |
| 22 | 真珠の耳飾り | 金、真珠 | 径3.6cm |
| 23 | イタヤ貝 | 貝 | 幅12.2×高7cm |
| 24 | 巻き貝 | 貝 | 幅8.1×高5.6cm |
| 25 | ウニ | 貝 | 径6cm |
| 26 | カサ貝 | 貝 | 径4.5cm |
| 27 | ムール貝 | 貝 | 幅7×奥4.2cm |
| 28 | アゲマキ貝 | 貝 | 幅7.5×奥2.5cm |
| 29 | ホラ貝 | 貝 | 幅28×高15cm |
| 30 | オオマキ貝 | 貝 | 幅16×高13cm |
| 31 | タカラ貝 | 貝 | 幅7.1×高4.6cm |
| 32 | ホタテ貝 | 貝 | 幅11×奥9cm |
| 33 | カキ | 貝 | 幅13×奥7.5cm |
| 34 | イシサンゴ | 貝 | 幅3.5×高3cm |
| 35 | サンゴ | 貝 | 長8.5cm |
| 36 | 人間頭部の復元 | 石膏模型 | |
| 37 | 人間頭部の復元 | 石膏模型 | |
| 38 | 人間頭部の復元 | 石膏模型 | |
| 39 | 人骨 | 骨 | |
| 40 | 貨幣をとまなう下顎の骨 | 骨 | 幅6×高4×奥4cm |
| 41 | ファロス | 凝灰岩 | 長40×高27cm |
| 42 | 人面装飾の碗 | 褐色粘土 | 径8×高5.5cm |
| III 住まいと都市 | | | |
| 43 | ステファヌスの縮絨工房の建築模型 | | 幅40×長191×高69cm |
| 44 | 縫い針 | 青銅 | 長12.9cm |
| 45 | 縫い針 | 青銅 | 長28.2cm |
| 46 | ヘアピン | 骨 | 長10.5cm |
| 47 | 紡錘 | 骨 | 長18.6cm |
| 48 | 紡錘 | 骨 | 長14.6cm |
| 49 | 紡錘車 | 骨 | 径3.5cm |
| 50 | 紡錘車 | 骨 | 径3.9cm |
| 51 | 紡錘車 | 骨 | 径3.5cm |
| 52 | 織り機の復元模型 | | 幅150×高170×奥50cm |
| 53 | 織り機のおもり | テラコッタ | 高11×奥5.5cm |
| 54 | 織り機のおもり | 鉛 | 幅6.8×高4.5cm |
| 55 | はさみ | 鉄 | 長22.2cm |

| No. | 作品名 | 材質 | サイズ |
|-----|------------------|---------------|--------------------|
| 56 | ムラサキ貝 | 貝 | 長7.5×奥6cm |
| 57 | 火の神ウルカヌスと陶工 | 古代フレスコ | 高79×幅64cm |
| 58 | フリギア帽をかぶる男 | テラコッタ | 高69cm |
| 59 | 胸像 | テラコッタ | 高13.3×幅9.7×奥6.5cm |
| 60 | 貯金壺 | 陶器 | 高12.7×径12.7cm |
| 61 | 双子の鉢 | 陶器 | 高16×径14cm |
| 62 | 偏壺 | 陶器 | 高20.8×径15.6cm |
| 63 | 浅鍋 | 陶器 | 高9×径19.5cm |
| 64 | 植物文装飾の碗 | 陶器 | 高17×径33cm |
| 65 | 装飾のある杯 | 陶器 | 高12×径16cm |
| 66 | 碗 | 陶器 | 高5.8×径11.6cm |
| 67 | 小型の碗 | 陶器 | 高3.9×径7.2cm |
| 68 | インク壺 | 陶器 | 高6.5×径9cm |
| 69 | 皿 | 陶器 | 高5.1×径17.6cm |
| 70 | 碗 | 陶器 | 高8.4×径18.8cm |
| 71 | ランプの雌型 | 大理石粉 | 9.5×15×10.3cm |
| 72 | ランプ | 陶器 | 高11×長26.5cm |
| 73 | ヘファイストスの工房 | 古代フレスコ | 縦159×横113cm |
| 74 | メナンドロスの首飾り | 金 | 長8cm |
| 75 | 金の腕輪 | 金 | 径6cm |
| 76 | 金の耳飾り | 金 | 径2.2cm |
| 77 | 銀製容器 | 銀 | 高22.6×径27.2cm |
| 78 | 把手付きの碗 | 銀 | 高6.2×幅15.5cm |
| 79 | ランプ | 青銅 | 高29×幅26×奥14.5cm |
| 80 | オイノコエ形の水差し | 青銅 | 高16×径12.5cm |
| 81 | 把手付きの銀製杯 | 青銅 | 長27.9×径14.9cm |
| 82 | ひしゃく | 青銅 | 長30.4×径10.3cm |
| 83 | 貝形の器 | 青銅 | 高5.7×径16.1cm |
| 84 | 鋳型 | 大理石 | 長13.5×幅9.5cm |
| 85 | おの | 鉄 | 長21.5×幅6.5cm |
| 86 | おの | 鉄 | 長18.5×幅7cm |
| 87 | 留め金 | 青銅 | 長11.7~3cm |
| 88 | 留め金 | 青銅 | 径7.8~2.5cm |
| 89 | 留め金 | 青銅 | |
| 90 | 留め金 | 青銅 | |
| 91 | 留め金 | 青銅 | |
| 92 | 留め金 | 青銅 | |
| 93 | 留め金 | 青銅 | |
| 94 | 留め金 | 青銅 | |
| 95 | 留め金 | 青銅 | |
| 96 | 留め金 | 青銅 | |
| 97 | 留め金 | 青銅 | |
| 98 | 鉛のインゴット | 鉛 | 長47×高11×幅9.5cm |
| 99 | 鋳造時の余剰物 | 金属 | 縦4.7×横4.4cm |
| 100 | 鋳造時の余剰物 | 金属 | 縦10.6×横4.1cm |
| 101 | カメオ技法によるガラスの浮き彫り | 青色ガラス、白色練りガラス | 高25.2×幅39.4×厚0.7cm |
| 102 | オルペ形の水差し | ガラス | 高16.5×径17.5cm |
| 103 | オイノコエ形の水差し | ガラス | 高11.3×径8.9cm |
| 104 | びん | ガラス | 高16.3×径6.7cm |
| 105 | オルペ形の水差し | ガラス | 高15.5×径12.8cm |
| 106 | 香油入れ | ガラス | 高7×径1.5cm |
| 107 | 香油入れ | ガラス | 高6.1×径5cm |
| 108 | 香油入れ | ガラス | 高7.3×径2.7cm |
| 109 | 香油入れ | ガラス | 高11.7×径1.8cm |
| 110 | 小壺 | ガラス | 高4.8×径5.9cm |
| 111 | ピュクシス形の容器 | ガラス | 高6.9×径12.8cm |
| 112 | 皿 | ガラス | 高4.8×径24.8cm |
| 113 | 皿 | 吹きガラス | 高3.7×径16.7cm |
| 114 | 板ガラス | ガラス | 縦58.5×横60cm |
| 115 | 噴水の装飾 | 練りガラス | 高127×幅213×奥82cm |
| 116 | モザイク製作用の用具 | 鉄 | 長19.5×幅7cm |
| 117 | 木工房の情景（複製） | 石膏 | 高59×幅152cm |
| 118 | つるはし | 鉄 | 長25.5×幅7cm |

| No. | 作品名 | 材質 | サイズ |
|-----|-----------------|-------------|---------------|
| 119 | 斧 | 鉄 | 長14.5×幅7.5cm |
| 120 | 斧 | 鉄 | 長19.5cm |
| 121 | のこぎり | 鉄 | 長84×幅7.5cm |
| 122 | かなづち付きちょうな | 鉄 | 長21.9cm |
| 123 | のみ | 鉄 | 長23.5cm |
| 124 | 釘 | 鉄 | 長7.5cm |
| 125 | 釘 | 青銅 | 長7.5cm |
| 126 | 黒曜石の杯 | 黒曜石+珊瑚等象嵌細工 | 高12.5×径18.2cm |
| 127 | メノウの杯 | メノウ | 高5.5×径5cm |
| 128 | 把手付きの壺 | オニキス | 高28×幅22×奥11cm |
| 129 | 小壺 | アラバスター | 高13.7×径7.4cm |
| 130 | 小壺 | アラバスター | 高13.1×径4.7cm |
| 131 | 水晶の加工品 | 水晶 | 縦2.5×横2.5cm |
| 132 | メノウの加工品 | メノウ | 高2.7×径1.1cm |
| 133 | 紅玉髓製の玉 | 紅玉髓 | 径1.1cm |
| 134 | 柱頭の部材 | カラーラ産大理石 | 縦40×横46×高46cm |
| 135 | 加工中の柱頭 | カラーラ産大理石 | 縦29×横46×高46cm |
| 136 | 完成直前の柱頭 | カラーラ産大理石 | 縦29×横44×高44cm |
| 137 | 完成した柱頭 | カラーラ産大理石 | 縦29×横43×高43cm |
| 138 | 暖房システムの模型 | — | 高48×幅73×奥35cm |
| 139 | 湯沸し器 | 青銅 | 高96.5×径44cm |
| 140 | 台所の煙突 | テラコッタ | 高40×径38cm |
| 141 | 二口かまど | テラコッタ | 縦70×横60cm |
| 142 | 火ばち | 青銅 | 高16×径30cm |
| 143 | 下げ振り | 青銅 | 高4.5×径6cm |
| 144 | 下げ振り | 青銅 | 高4×径4.7cm |
| 145 | 田園風景 | 古代フレスコ | 縦20×横20cm |
| 146 | 建築現場の情景 | 古代フレスコ | 縦32×横125.7cm |
| 147 | 建築許可に関する碑文の石膏複製 | 石膏複製 | 縦45×横60×厚4cm |
| 148 | 建築景観図 | 古代フレスコ | 縦22×横53cm |
| 149 | ナイル川風景画 | 古代フレスコ | 縦116×横180cm |
| 151 | 水車の復元模型 | — | 175×240×98cm |
| 152 | 吸上げポンプ | — | 58×66×55cm |
| 153 | 吸上げポンプの模型 | — | 44.5×38cm |
| 154 | 水道栓 | 青銅 | 高14×幅21.2cm |
| 155 | 水道管と水道栓 | 青銅 | 高9.4×幅34.4cm |
| 156 | ポンプの部品 | 青銅 | 高22.3×径5cm |
| 157 | 投石器の復元模型 | — | 163×355×118cm |
| 158 | 投石機用の石 | 石 | 径15.5cm |
| 159 | 投石機用の石 | 石 | 径11.5cm |
| 160 | 投石機用の石 | 石 | 径16.5cm |
| 161 | 短剣 | 鉄 | 長34.5cm |
| 162 | 槍の穂先 | 鉄 | 長37.9×幅5.6cm |
| 163 | 弾丸 9個 | 鉛 | 長4×幅2.4cm |

IV 豊かな暮らし

| | | | |
|-----|--------------|--------|-----------------|
| 164 | パン屋の夫婦 | 古代フレスコ | 縦65×横58cm |
| 165 | 釣り針 | 青銅 | 長4.8cm |
| 166 | 釣り針 | 青銅 | 長3.2cm |
| 167 | 魚網の修理針 | 青銅 | 長9cm |
| 168 | 把手付きの壺 | 陶器 | 高51×径16cm |
| 169 | イノシシ狩り | 古代フレスコ | 縦50×横100cm |
| 170 | イノシシの牙 | 牙 | 長10cm |
| 171 | イノシシの牙 | 牙 | 長8.7cm |
| 172 | 行進の場面 | 古代フレスコ | 縦93×横329cm |
| 173 | 熊の頭部 | 青銅 | 縦8×横7cm |
| 174 | 熊の歯 | 歯 | 長5×厚0.7cm |
| 175 | ヘラクレスに扮した幼児像 | 象牙 | 高6.6×厚3.5cm |
| 176 | ちょうつがい | 獣骨 | 長2.5~6.5、径2.5cm |
| 177 | 骨製装飾品 | 骨 | 長15.3×幅3.5cm |
| 178 | アリュパロス形の壺 | 獣骨 | 高4.4×径4.7cm |
| 179 | 小刀 | 鉄、骨 | 長10×幅2cm |

| No. | 作品名 | 材質 | サイズ |
|-----|--------------------|--------|------------------|
| 180 | 錠 | 骨 | 縦3.8×横2.6cm |
| 181 | ブドウを収穫するアモリーノ | 古代フレスコ | 縦49×横48cm |
| 182 | ブドウの壁画断片 | 古代フレスコ | 縦16.5×横27.7cm |
| 183 | ぶどう酒製造用圧搾機の復元模型 | — | 長500×高200×幅200cm |
| 184 | ぶどう酒テイasting用管 | 銀 | 長26.2cm |
| 185 | ぶどう酒テイasting用管 | 銀 | 長25.4cm |
| 186 | アンフォラ | 陶器 | 高61×径7.4cm |
| 187 | アンフォラ | 陶器 | 高67×径7cm |
| 188 | アンフォラ | 陶器 | 高80.5×径16.5cm |
| 189 | くわ | 鉄 | 縦29.5×横33cm |
| 190 | くわ | 鉄 | 縦26.5×横19cm |
| 191 | 接ぎ木用ナイフ | 鉄 | 長8.4×径10.2cm |
| 192 | 接ぎ木用ナイフ | 鉄 | 長15×径5.5cm |
| 193 | 剪定用のナイフ | 鉄 | 長26.5×幅14cm |
| 194 | リコッタチーズとアスパラガスの静物画 | 古代フレスコ | 縦25×横40cm |
| 195 | パンのある生物 | 古代フレスコ | 縦27×横42cm |
| 196 | イチジクの壁画 | 古代フレスコ | 縦31×横44.5cm |
| 197 | 果物の壁画 | 古代フレスコ | 縦12.5×横16.3cm |
| 198 | ハシバミの果の壁画断片 | 古代フレスコ | 縦18.5×横17.5cm |
| 199 | 小鳥の壁画 | 古代フレスコ | 縦42.5×横53.5cm |
| 200 | サクランボの壁画 | 古代フレスコ | 縦11×横10.5cm |
| 201 | 麦の穂の壁画 | 古代フレスコ | — |
| 202 | 石うす | 火山性岩 | 高43.5×径33cm |
| 203 | 鉢 | 陶器 | 高14.6×径8.9cm |
| 204 | 鉢 | 陶器 | 高14.2×径8.9cm |
| 205 | 市場の情景 | 古代フレスコ | 縦138×横198cm |
| 206 | ピサネッラ荘の建築模型 | | 縦221×横126×高50cm |
| 207 | オリーブ油製造用ひきうすの復元模型 | | 長320×径150cm |
| 208 | 羊飼 | 大理石 | 高66.5×奥16.5cm |
| 209 | 田園風景画 | 古代フレスコ | 縦71×横93cm |
| 210 | ヤギの壁画 | 古代フレスコ | 縦29×横28cm |
| 211 | 家畜の首につけた鈴 | 青銅 | 高11.7×径6.3cm |
| 212 | 家畜の首につけた鈴 | 青銅 | 高11.6×径6.9cm |
| 213 | 距骨 | 骨 | 2×1.2×1.2cm |
| 214 | 牛の装飾品 | 青銅 | 10.6×11.1cm |
| 215 | 馬の装飾品 | 青銅 | 高28×幅12cm |
| 216 | 馬具 | 青銅 | 15.7×11.9cmetc |
| 217 | ベガスとベレロフォン | 古代フレスコ | 縦46×横55cm |
| 218 | ロバの壁画 | 古代フレスコ | 縦24.5×横16.5cm |
| 219 | 豚の石膏型どり(複製) | 石膏 | 107×70×25cm |
| 220 | 小犬の装飾品 | 青銅 | 9×9cm |
| 221 | ヤマネの飼育器 | テラコッタ | 45.5×35×28cm |
| 222 | カタツムリの飼育器 | テラコッタ | 高44.5×径14cm |
| 223 | ハト | 青銅 | 14×28cm |
| 224 | ハト小屋の枠 | テラコッタ | 縦47×横50cm |
| 225 | ハトを持つ子どもの壁画 | 古代フレスコ | 縦59×横53.5cm |
| 226 | ウサギ | 青銅 | 7×17cm |
| 227 | 女性画家 | 古代フレスコ | 縦37×横37cm |
| 228 | ナルキッソスとエロス | 古代フレスコ | 縦76×横73cm |
| 229 | 鏡 | 青銅 | 径19.2cm |
| 230 | アドメトスと戦車 | 古代フレスコ | 縦111×横277cm |
| 231 | 風景画のある建築装飾壁画 | 古代フレスコ | 縦101×横74cm |
| 232 | 顔料と容器 | 陶器 | 高4.5×径9.5cm |
| 233 | 顔料と容器 | 陶器 | 高4.2×径9.6cm |
| 234 | 顔料と容器 | 陶器 | 高5.5×径11cm |
| 235 | ウェヌス像 | 大理石 | 高60cm |
| 236 | 手鏡 | 銀 | 長25.1×径16.5cm |
| 237 | 小箱 | 骨 | 高4.1×径3.3cm |
| 238 | かみそり | 鉄、骨 | 縦9.2×横11.5cm |
| 239 | 垢すりへら | 青銅 | 長32.5cm |
| 240 | へら | 骨 | 長10.6cm |
| 241 | へら | 骨 | 長9.8cm |
| 242 | へら | 骨 | 長9.1cm |

| No. | 作品名 | 材質 | サイズ |
|-----|----------------|------------|------------------|
| 243 | シストルム | 青銅 | 高27×幅13cm |
| 244 | 網渡りをするシレノス | 古代フレスコ | 縦25×横115cm |
| 245 | シンバル | 青銅 | 高3×径13.5cm |
| 246 | どら | 青銅 | 径30cm |
| 247 | フルート | 骨 | 長23.5×幅2.5cm |
| 248 | 鈴付きのランプ | 青銅 | 高50×幅18cm |
| 249 | ランプ | テラコッタ | 17.5×7.5×8.1cm |
| 250 | 仮面の形をした装飾品 | テラコッタ | 15.1×20.3×15.2cm |
| 251 | 仮面の形をした装飾品 | テラコッタ | 16×19cm |
| 252 | 仮面 | テラコッタ | 18×18×9cm |
| 253 | ディオニュソスの踊り | 黒色粘板岩+色大理石 | 縦21×横67cm |
| 254 | 辻音楽師 | 古代フレスコ | 縦48×横38cm |
| 255 | タンバリンをたたくアモリーノ | 古代フレスコ | 縦45×横33cm |

V 人々のくらし

| | | | |
|-----|--------------|-------|----------------|
| 256 | 燭台としてのアポロ像 | 青銅 | 高130cm |
| 257 | 指輪 | 金 | 径1.2cm |
| 258 | 腕輪 | 金 | 径6.2cm |
| 259 | 香油入れ | ガラス | 高20.5cm×径5.5cm |
| 260 | 香油入れ | ガラス | 高7.5cm×径3.2cm |
| 261 | ガラスびん | ガラス | 高17.5×径5.8cm |
| 262 | ガラスびん | ガラス | 高17×径5.5cm |
| 263 | ガラスびん | ガラス | 高16.5×径5.6cm |
| 264 | ガラスびん | ガラス | 高16.5×径4.5cm |
| 265 | ガラスびん | ガラス | 高15×径5.5cm |
| 266 | ガラスびん | ガラス | 高12.5×径7cm |
| 267 | ガラスびん | ガラス | 高13.8×径7cm |
| 268 | 排水口のついた瓦 | テラコッタ | 幅103×奥83cm |
| 269 | 軒飾り | テラコッタ | 縦20.5×横24.2cm |
| 270 | 燭台 | 青銅 | 幅41×高26.5cm |
| 271 | ランプ | 青銅 | 12×8cm、径17.5cm |
| 272 | ベッドの装飾金具 | 青銅 | 底部7cm、高31cm |
| 273 | 台 | 青銅 | 高28×径29.5cm |
| 274 | 貯金壺 | 陶器 | 高13.8×径14cm |
| 275 | 銀貨 | 銀 | 径1.8cm |
| 276 | 銀貨 | 銀 | 径1.7cm |
| 277 | 銅貨 | 青銅 | 径2.8cm |
| 278 | 銅貨 | 青銅 | 径3.4cm |
| 279 | 銅貨 | 青銅 | 径1.8cm |
| 280 | 銅貨 | 青銅 | 径3.4cm |
| 281 | カメの甲羅 | 甲羅 | 長18×厚10cm |
| 282 | 香炉 | テラコッタ | 高10.2×径16cm |
| 283 | サイコロ | 骨 | 1.2×1.2×1.2cm |
| 284 | サンゴ製の護符 | 珊瑚 | 長2.3cm |
| 285 | 刻印 | 青銅 | 長6×幅3.4cm |
| 286 | 混酒器 | 青銅 | 高62.5×径35.3cm |
| 287 | オイノコエ形ブドウ酒差し | 青銅 | 高25×径12cm |
| 288 | オイノコエ形ブドウ酒差し | 青銅 | 高25×径13cm |
| 289 | オイノコエ形ブドウ酒差し | 青銅 | 高25×径13cm |
| 290 | 水差し | 青銅 | 高48×径29cm |
| 291 | スキフォス形の碗 | 陶器 | 高12.5×径17cm |
| 292 | 把手付きの皿 | 青銅 | 長36×高6cm、径23cm |
| 293 | 把手付き皿 | 青銅 | 高23×径26.5cm |
| 294 | 青銅製容器 | 青銅 | 高37×径32.5cm |
| 295 | 鍋 | 青銅 | 高18×径36cm |
| 296 | 小鉢 | ガラス | 高5.7×径13.5cm |
| 297 | 皿 | ガラス | 高3×径17.5cm |
| 298 | 水差し | 陶器 | 高23×径7cm |
| 299 | 水差し | 陶器 | 高20×径8.5cm |
| 300 | 浅鍋 | 陶器 | 高6.5×径19.5cm |
| 301 | フライパン | 陶器 | 高4×径27cm |
| 302 | 皿 | 陶器 | 高3.5×径17cm |
| 303 | 把手付きの容器 | 陶器 | 高26cm |

| No | 作品名 | 材質 | サイズ |
|-----------------|-----------------|------------|--------------------|
| 304 | 壺 | 陶器 | 高17×径12.3cm |
| 306 | 水差し | 陶器 | 高16.3×径7cm |
| 307 | フライパン | 陶器 | 高4.5×径26.5cm |
| 308 | すり鉢 | 大理石 | 高8.5×長43cm、径30.5cm |
| 309 | 鍋 | 陶器 | 高11×径17.5cm |
| Ⅵ 科学と技術 | | | |
| 310 | 自走式計測機の復元模型 | | 142×113×118cm |
| 311 | 測量器具の復元模型 | | 100×170×100cm |
| 312 | コンパス | 青銅 | 長17.6×幅2cm |
| 313 | 定規 | 青銅 | 長15.1cm |
| 314 | キャリパー | 青銅 | 径11.5cm |
| 315 | 穀物をはかる升 (モディウス) | 木 (復元) + 鉄 | 高38×径37cm |
| 316 | 計量用ガラス容器 | ガラス | 高16×径7.8cm |
| 317 | 計量用ガラス容器 | ガラス | 高19.5×径8.6cm |
| 318 | 計量用ガラス容器 | ガラス | 高21×径10cm |
| 319 | 計量用ガラス容器 | ガラス | 高25×径12.4cm |
| 320 | 計量用ガラス容器 | ガラス | 高29.5×径14.3cm |
| 321 | 計量用ガラス容器 | ガラス | 高32.7×径15.6cm |
| 322 | 竿ばかり | 青銅 | 46.2×31.3×14.5cm |
| 323 | 竿ばかり | 青銅 | 26×46cm、径13.5cm |
| 324 | 竿ばかり | 青銅 | 19.2×16cm |
| 325 | 竿ばかり | 青銅 | 22.5×20.5cm |
| 326 | ひしゃく形ばかり | 青銅 | 58×28cm |
| 327 | 天球儀の模型 | 石膏 | 75×65cm |
| 328 | 日時計 | 石灰岩 | 26.5×26×15cm |
| 329 | 日時計 | 大理石 | 34×33.5×20cm |
| 330 | 携帯用日時計 | 象牙 | 4.5×11×6cm |
| 331 | 薬箱のふた | 青銅+銀、銅象嵌 | 縦13.7×横8cm |
| 332 | 薬箱 | 青銅 | 縦13.5×横8×厚2cm |
| 333 | 葉を入れる壺 (複製) | | 高43×径25cm |
| 334 | 抜歯器具 | 青銅 | 長11.6cm |
| 335 | カテーテル | 青銅 | 長27×径0.5cm |
| 336 | 吸引具 | 青銅 | 高13.2×厚0.6cm |
| 337 | 治療場面の浮き彫り | ペンテリコン産大理石 | 高52×横120cm |
| 338 | 鉗子 | 青銅 | 21×20.1cm |
| 339 | 婦人用鉗子 | 青銅 | 20×13cm |
| 340 | 婦人用鉗子 | 青銅 | 20×13.5cm |
| 341 | 肛門用鉗子 | 青銅 | 15.5×7.9cm |
| 342 | 医療器具の容器 | 青銅 | 長19.8×径1.8cm |
| 343 | 医療器具 | 青銅 | 長12.5~16.8cm |
| 344 | 医療器具 | 青銅 | |
| 345 | 医療器具 | 青銅 | |
| 346 | 医療器具 | 青銅 | |
| 347 | 医療器具 | 青銅 | |
| Ⅶ 世界の広がり | | | |
| 348 | サル | 青銅 | 高4.8cm |
| 349 | ゾウの鋳飾り | 青銅 | 13×14.5cm |
| 350 | ゾウの鋳飾り | 青銅 | 13×14.5cm |
| 351 | トキ | 青銅 | 2.7×5.3×1.6cm |
| 352 | カバの壁画 | 古代フレスコ | 縦68.5×横58cm |
| 353 | ライオンとカモシカ | 大理石 | 高19×長43cm |
| 354 | 真珠母 | 貝 | 15.5×13cm |
| 355 | シャコ貝 | 貝 | 23×14cm |
| 357 | ヒト形の小像 | 琥珀 | 3×1.5×0.8cm |
| 358 | 動物形の小像 | 琥珀 | 5×5.1×0.8cm |
| 359 | ヒッポカンポスの宝飾品 | インド産サファイヤ | 1.2×2.1cm |

※欠番は出品されず

2 企画展

(1) 南蛮紅毛美術企画展示

旧南蛮美術館、および本館収集の資料を中心に、テーマを設定した企画展示を行う。

| 展覧会名 | 会期 | 内容 |
|-----------|-------------------|--|
| 南蛮美術名品展 | 7月20日(金)～9月2日(日) | 夏休みにあわせ、1年に1度の南蛮美術の公開。ザヴィエル像、泰西王侯騎馬図など、池長孟(いけながはじめ)コレクションの名品を中心に、大航海時代の日欧交流から生まれた南蛮絵画や工芸品を展示した。 |
| 江戸時代の中国趣味 | 2月16日(土)～3月24日(月) | 長崎へ来航する中国人たちは、彼らの民間信仰を日本へもちこんだ。『三国志』の英雄でもある関帝像、現世利益をもれなくかなえる福祿寿三星図など、道教の影響を受けた画題を中心に、中国趣味のひろがりを観覧した。 |

南蛮美術名品展 出品目録

※は個人コレクション
*は1階ホールに展示

南蛮のパトロン

桃山時代、南蛮ブームの火つけ役となったのは2人の^{てんかびと}天下人・織田信長(1534～1582)と豊臣秀吉(1536～1598)でした。信長は^{そくばく}伝統文化の束縛をきらい、南蛮ものを愛好するとともに、キリスト教にも厚い保護を加えています。また秀吉は、^{せんきょうし}天正15年(1587)に宣教師追放令を出し、キリスト教こそ禁止の姿勢をとりましたが、貿易の方は従来どおりという方針でした。世俗的な南蛮文化が爆発的な流行を見せるのは、まさにこの秀吉時代のことなのです。

- | | | | | |
|-----------------|--------------------------------------|------|---|---|
| 1. 織田信長像(重要文化財) | 天正11年(1583) ^{こけいぞうちん} 古溪宗陳賛 | 桃山時代 | 1 | 幅 |
| 2. 豊臣秀吉像 | | 桃山時代 | 1 | 幅 |

初期洋風画

天文18年(1549)イエズス会士ザヴィエルの来日以降、日本にもセミナリオやコレジオといったカトリックの学校が作られ、油絵の技法や遠近法、陰影法のような西洋の写実的表現が、初めて日本に伝えられました。礼拝用の聖画はキリスト教弾圧の中でほとんど失われ、わずかしが残っていませんが、信仰に直接関係のない世俗画は、大名などへの贈呈用だったと思われ、まとまって残されています。また、のちには9のように、西洋の技法で日本の伝統画題に取り組む画家も現われました。

| | | | | |
|--------------------------|--------------------|------------|------|---|
| 3. 聖フランシスコ・ザヴィエル像(重要文化財) | | 江戸時代初期 | 1 | 面 |
| 4. 泰西王侯騎馬図(重要文化財) | | 江戸時代初期 | 4曲1隻 | |
| 5. 四都図・世界図(重要文化財) | | 江戸時代初期 | 8曲1双 | |
| 6. 世界都市図帳 | G.ブラウン & F.ホーヘンペルフ | 1572~1618年 | 6巻3冊 | |
| 7. 師父二童子図・西洋二武人図 | 伝信方筆 | 江戸時代初期 | 2 | 面 |
| 8. 老人読書図※ | 伝信方筆 | 江戸時代初期 | 1 | 面 |
| 9. 達磨図 | 元禄15年(1702) 雪村道香賛 | 江戸時代初期 | 1 | 幅 |
| 10. 老師父図 | | 江戸時代初期 | 1 | 面 |

南蛮屏風と南蛮風俗画

桃山時代は、風俗画——現実の人間生活を主題とする絵画——が流行した時代ですが、中でも西洋人の渡来、交易の様子を描いた南蛮屏風は、珍奇で未知の風俗を楽しめる画題として喜ばれました。これらが発見されるのは、主に港町の豪商の家からで、水運業を営む市民層でとりわけ愛好されたことがわかります。のちに南蛮屏風は、南蛮船イコール宝船、南蛮人は福の神、というような現世利益を願う俗信仰に支えられ、縁起ものとして鎖国後も描き続けられました。

| | | | | |
|---------------------|-------|--------|---------|---|
| 11. 都の南蛮寺図 | 狩野宗秀筆 | 桃山時代 | 1 | 面 |
| 12. 南蛮屏風(重要文化財)(右隻) | 狩野内膳筆 | 桃山時代 | 6曲1双のうち | |
| 13. 花下群舞図 | | 桃山時代 | 6曲1双 | |
| 14. 万国人物図 | | 江戸時代初期 | 3帖のうち | |
| 15. 洛中洛外図(右隻)* | | 江戸時代初期 | 6曲1双のうち | |
| 16. 南蛮人交易図* | | 江戸時代 | 6曲1双 | |

南蛮意匠の工芸

南蛮屏風に散りばめられている異国の風俗は、絵画ばかりでなく、より身近に日常生活で用いる工芸品の中にも登場しました。南蛮人や洋犬、鉄砲、かるたなどの南蛮モチーフ、あるいは縞、水玉など西洋風の幾何学文様が、異国風デザインとして器物を飾ったのです。その代表的なものは馬具や文房具といった漆工芸品ですが、陶器や服飾、金工品のジャンルにも、その影響は及んでいます。

| | | | | |
|-----|--|------------|---|---|
| 17. | 蒔絵南蛮人文鞍 <small>まきえ くら</small> | 慶長9年(1604) | 1 | 背 |
| 18. | 象嵌南蛮人に永楽通宝銭鏡 <small>そうがん えいらくつうほうせんあひみ</small> | 桃山～江戸時代初期 | 1 | 対 |
| 19. | 蒔絵南蛮人洋犬文硯箱 <small>まきえ くら すりばこ</small> | 桃山～江戸時代初期 | 1 | 合 |
| 20. | 蒔絵南蛮人文箱 | 桃山～江戸時代初期 | 1 | 合 |
| 21. | 蒔絵鉄砲文大鼓胴 <small>まきえ おおつみどう</small> | 桃山～江戸時代初期 | 1 | 個 |
| 22. | 黒織部沓形茶碗 <small>おりへくつがた</small> | 桃山時代 | 1 | 口 |
| 23. | 天正かるた版木重箱 | 桃山～江戸時代初期 | 1 | 合 |
| 24. | 南蛮人喫煙図柄鏡 <small>えかがみ</small> | 江戸時代初期 | 1 | 面 |
| 25. | 南蛮人散策図柄鏡 | 江戸時代初期 | 1 | 面 |
| 26. | 南蛮人散策図八稜鏡 <small>はちりょうきょう</small> | 江戸時代 | 1 | 面 |

輸出漆器

漆器は東洋独特の工芸品としてヨーロッパで人気を集めました。桃山時代には、来日した宣教師や商人らの注文によって数多くの外国向け漆器が作られ、海を渡ったのです。器形には西洋のデザインを基調とした上に、秋草など日本的な文様を施してあり、東西文化の美しい融合が見られます。光り輝く螺鈿らでん（夜光貝やアワビなどの貝片を薄く磨ってはめこむ技法）の多用も、国内向けには見られない輸出用漆器の特色です。

| | | | | |
|-----|---|--------|------|----|
| 27. | 蒔絵螺鈿花樹鳥獸文洋櫃 <small>まきえ らでん ぼうひつ</small> | 江戸時代初期 | 1 | 合 |
| 28. | 貝貼り書筆笥 <small>しよたんす</small> | 江戸時代初期 | 1 | 点 |
| 29. | 蒔絵螺鈿鮫皮貼り住吉社図鞍袋形洋箱 <small>まきえ らでん さめがわ くらびくろがた</small> | 江戸時代初期 | 1 | 合 |
| 30. | 貝貼り小櫃 | インド製か | 17世紀 | 1合 |

キリシタン関係資料

| | | | |
|---|---------|---------------|----|
| 31. 豊臣秀吉朱印状 | | 天正16年(1588) | 1通 |
| 32. キリシタン制札(相州鎌倉郡岡津村) | | 天和2年(1682) | 1枚 |
| 33. 白磁マリア観音像 | 清 徳化窯 | 18世紀 | 1体 |
| 34. 白磁マリア観音像 | 清 徳化窯 | 18世紀 | 1体 |
| 35. 恵比寿をかたどる聖像 | | 江戸時代 | 1体 |
| 36. 小児を抱く中国人物像 | | 江戸時代 | 1体 |
| 37. 鬼子母神像 | | 江戸時代 | 1体 |
| 38. キリスト ^{たっけい} 磔 ^{せいはい} 刑図聖牌(片面 神の仔羊図) | 銅版面は舶載品 | 16世紀後半～17世紀初期 | 1点 |
| 39. 十字架 ^に を担うキリスト図聖牌 | 銅版面は舶載品 | 16世紀後半～17世紀初期 | 1点 |
| 40. 聖者像聖牌(片面 聖フランシスコ、片面 聖ドミニクス) | 銅版面は舶載品 | 16世紀後半～17世紀初期 | 1点 |
| 41. キリスト ^{ちけい} 答 ^{けい} 刑図聖牌 | 銅版面は日本製 | 16世紀後半～17世紀初期 | 1点 |
| 42. IHS文赤地布製聖牌 | 江戸時代に舶載 | 16世紀後半～17世紀初期 | 1点 |
| 43. 荊冠 ^{けいかん} のキリスト像聖牌 | 江戸時代に舶載 | 16世紀後半～17世紀初期 | 1点 |
| 44. 象牙彫 ^{そうげほり} 幼児キリスト像 | 江戸時代に舶載 | 16世紀後半～17世紀初期 | 1点 |
| 45. ロザリオ(木製、ガラス製)各種 | 江戸時代に舶載 | 16世紀後半～17世紀初期 | |
| 46. メダイ各種 | 江戸時代に舶載 | 16世紀後半～17世紀初期 | |

江戸時代の中国趣味 出品目録

長崎 — 日本のなかの中国

| | | | | |
|-------------|--------------|-------|----|-------|
| 1. 長崎唐館交易図巻 | | 渡辺秀詮筆 | 1巻 | 絹本 著色 |
| 2. 唐館図説 | 文化5年(1808)以降 | 編者不明 | 1冊 | 彩色写本 |
| 3. 唐船図 | | 玉木鶴亭筆 | 1幅 | 紙本 著色 |
| 4. 唐人遊戯図 | | 城貴筆 | 1幅 | 紙本 著色 |

中国の英雄にあこがれる

| | | | | |
|------------------|-----------------|---------------|----|----------|
| 5. 中華歴代帝王図 | 高玄岱題 貞享4年(1687) | 鶴洲靈鷲筆 | 1帖 | 絹本 著色 |
| 6. 桃園三傑図 | | 洞楊谷筆 | 1幅 | 絹本 著色 |
| 7. 関羽像 | | 広渡湖秀筆 | 1幅 | 絹本 著色 |
| 8. 関羽像 | | 木下逸雲筆 | 1幅 | 紙本 著色 |
| 9. 関羽像 | | Oota Tiwzoo 筆 | 1幅 | 紙本 著色 |
| 10. 関羽像(五月のぼり) | 享和2年(1802) | 安田田駒画 | 1幅 | 木綿地型染・手彩 |
| 11. 関羽像 | | 中国製(蘇州版画か) | 1幅 | 木版 筆彩 |
| 12. 清俗紀聞 第六(関帝廟) | 寛政11年(1799)刊 | 中川忠英編 | 1冊 | 木版 墨摺 |
| 13. 関羽像 | | 范道生作 | 1軀 | 木 造 |
| 14. 草廬三顧図 | | 広渡湖秀筆 | 1幅 | 紙本 著色 |
| 15. 諸葛孔明読書図 | 延宝3年(1675) | 河村若芝筆 | 1幅 | 絹本 著色 |
| 16. 諸葛孔明陣中図 | | 小原慶山筆 | 1幅 | 絹本 著色 |
| 17. 屈原図 | | 伝小田野直武筆 | 1幅 | 紙本 淡彩 |

中国の神仙にあこがれる

| | | | | |
|-------------------------|------------------|----------------|----|----------|
| 18. 豊干騎虎図 | 木庵性瑠賛 延宝5年(1677) | 河村若芝筆 | 1幅 | 絹本 著色 |
| 19. 寒山図 | 即非如一賛 | 河村若芝筆 | 1幅 | 紙本 著色 |
| 20. 拾得図 | 寛文10年(1670)木庵性瑠賛 | 河村若芝筆 | 1幅 | 絹本 著色 |
| 21. 寒山月指図(渡辺家襲蔵粉本) | 明和6年(1769) | 渡辺秀之筆 | 1幅 | 紙本 淡彩 |
| 22. 四睡図 | 太室宗恒賛 | 渡辺鶴洲筆 | 1幅 | 紙本 著色 |
| 23. 万事吉兆図 | 文政2年(1819)松平定信題 | | 1幅 | 木版 筆彩 |
| 24. 北斎漫画 三~五編(和合神など) | 文化13年(1816)他刊 | 葛飾北斎画 | 3冊 | 木版 色摺 |
| 25. 寿老人図 | | 司馬江漢筆 | 1幅 | 紙本 淡彩 |
| 26. 福祿寿三星図 | | 温義夫筆 | 1幅 | 絹本 著色 |
| 27. 福祿寿三星図(渡辺家襲蔵粉本) | 文化12年(1815) | 渡辺鶴洲筆 | 1幅 | 紙本 淡彩 |
| 28. 福祿寿三星図 | | 荒木千洲筆 | 1幅 | 絹本 著色 |
| 29. 福祿寿三星図 | | 斎藤雀亭筆 | 1幅 | 絹本 淡彩 |
| 30. 宋紫石画譜(福祿寿三星図) | 明和2年(1765)刊 | 副孟義編 | 3冊 | 木版墨摺一部色摺 |
| 31. 名数画譜(福祿寿三星図) | 文化7年(1810)刊 | 大原東野編 | 4冊 | 木版墨摺一部色摺 |
| 32. 外国商館商標(福祿寿三星、鐘魁、魁星) | 明治時代 | シモン, エヴァース商会ほか | 3枚 | 印 刷 |
| 33. 天官賜福之図 | | 福田堅達施板 | 1枚 | 木版 墨摺 |
| 34. 群仙星祭図(渡辺家襲蔵粉本) | | 石崎元徳筆 | 1幅 | 紙本 淡彩 |

| | | | | |
|--------------------|-------------------|-----------|----|------|
| 35. 群仙星祭図(渡辺家襲蔵粉本) | 文化12年(1815) | 渡辺鶴洲筆 | 1幅 | 紙本墨画 |
| 36. 群仙星祭図(渡辺家襲蔵粉本) | 文政2年(1819) | 渡辺鶴洲筆 | 1幅 | 紙本墨画 |
| 37. 天仙送子図 | | 中国製(蘇州版画) | 1幅 | 木版筆彩 |
| 38. 唐子遊図 | | 中国製(蘇州版画) | 1幅 | 木版筆彩 |
| 39. 唐子図 | 斗山宗枢賛 | 荒木元慶筆 | 1幅 | 紙本著色 |
| 40. 鍾馗図 | 弘化3年(1846) | 山口重春筆 | 1幅 | 紙本朱画 |
| 41. 鉄拐仙人図 | 享和3年(1803) | 白雲筆 | 1幅 | 絹本著色 |
| 42. 東方朔図 | | 北山寒巖筆 | 1幅 | 絹本著色 |
| 43. 黄初平図 | | 島田元旦筆 | 1幅 | 絹本油彩 |
| 44. 琴高仙人図 | | 勝野范古筆 | 1幅 | 絹本墨画 |
| 45. 鯉図 | 六如慈周賛 明和6年(1769) | 岩井江雲筆 | 1幅 | 紙本著色 |
| 46. 双鯉図 | | 石崎融思筆 | 1幅 | 絹本著色 |
| 47. 吉瑞双鯉之図 | 天明元年(1781) | | 1枚 | 木版色摺 |
| 48. 葛仙移居図(粉本) | 劉松年原図 寛政10年(1798) | 広渡湖月筆 | 1巻 | 紙本淡彩 |
| 49. 三聖図(渡辺家襲蔵粉本) | 鄭顛仙原図 文化15年(1818) | 渡辺鶴洲筆 | 1幅 | 紙本淡彩 |
| 50. 老子図 | 林鳳潭賛 天明2年(1782) | 宋紫石筆 | 1幅 | 絹本墨画 |
| 51. 太上老君像 | | 小田野直林筆 | 1幅 | 紙本著色 |
| 52. 有象列仙全伝(和刻) | 慶安3年(1650)刊 | | 5冊 | 木版墨摺 |
| 53. 伝鄭成功像 | | | 1軀 | 銅造 |

中国の風景にあこがれる

| | | | | |
|---------------------|-------------------------------|----------|--------|------|
| 54. 西湖図 | 延享2年(1745)竺庵浄印賛 | 山本若麟筆 | 1幅 | 絹本著色 |
| 55. 西湖小景 | 円山応挙原図・奥文鳴摸写 | 玄々堂松本保居画 | 1枚 | 銅版藍摺 |
| 56. 山水図(秋日山行詩意) | 安永2年(1773) | 柳沢伊信筆 | 1幅 | 絹本著色 |
| 57. 天台雁塘図巻(渡辺家襲蔵粉本) | 文化3年(1806) | 渡辺鶴洲筆 | 1巻 | 紙本淡彩 |
| 58. 唐土名所之絵 | 天保11年(1840) | 葛飾北斎画 | 1枚 | 木版色摺 |
| 59. 唐土訓蒙図彙 | 橘守国画 享保4年(1719)刊 | 平住専安選 | 14冊のうち | 木版墨摺 |
| 60. 新撰名山勝概図 | 享和元年(1801)刊 | 鈴木芙蓉編 | 3冊 | 木版墨摺 |
| 61. 唐土名勝図会 | 岡田玉山、岡熊岳、大原東野画 文化2年(1805)刊 | 岡田玉山編述 | 6冊 | 木版墨摺 |

中国の名画にあこがれる

| | | | | |
|---------------------|------------------|------------|----|------|
| 62. 芦鷺図(渡辺家襲蔵粉本) | 文政10年(1827) | 渡辺鶴洲筆 | 1幅 | 紙本淡彩 |
| 63. 独釣図(渡辺家襲蔵粉本) | 上官周原図 | 伝渡辺鶴洲筆 | 1幅 | 紙本淡彩 |
| 64. 山水図巻(渡辺家襲蔵粉本) | 陸曉原図 文政7年(1824) | 渡辺鶴洲・渡辺秀乾筆 | 1巻 | 紙本淡彩 |
| 65. 王羲之書扇図(渡辺家襲蔵粉本) | 文化15年(1818) | 渡辺鶴洲筆 | 1幅 | 紙本淡彩 |
| 66. 王羲之換鷺図 | 文政元年(1818) | 渡辺鶴洲筆 | 1幅 | 絹本淡彩 |
| 67. 双鶴図(渡辺家襲蔵粉本) | 沈南蘋原図 文政5年(1822) | 渡辺鶴洲筆 | 1幅 | 紙本淡彩 |
| 68. 清泉白鶴図 | 宝暦4年(1754) | 熊斐筆 | 1幅 | 絹本著色 |
| 69. 黄甲伝臚図(渡辺家襲蔵粉本) | 沈南蘋原図 文政7年(1824) | 渡辺鶴洲筆 | 1幅 | 紙本淡彩 |
| 70. 黄甲伝臚図 | | 岩井江琳筆 | 1幅 | 絹本淡彩 |
| 71. 長春富貴図 | 乾隆39年(1774) | 梁基筆 | 1幅 | 絹本著色 |
| 72. 風牡丹図 | | 鄭培筆 | 1幅 | 絹本著色 |
| 73. 牡丹に蝶図 | | 岩井江雲筆 | 1幅 | 絹本著色 |

| | | | | |
|-------------|---------------------------------------|------------------------|----|-------|
| 74. 牡丹に白頭翁図 | | 山田宮常筆 ^{くわじょう} | 1幅 | 絹本 著色 |
| 75. 墨牡丹図 | 寛政5年(1793) 梁田象水賛 ^{やな だしょうすい} | 森蘭斎筆 | 1幅 | 絹本 墨画 |
| 76. 牡丹に蝶図 | 天明4年(1784) | 岸駒筆 ^{がんとく} | 1幅 | 絹本 著色 |
| 77. 風牡丹図 | | 岸駒筆 | 1幅 | 絹本 著色 |
| 78. 牡丹岩小禽図 | | 斎藤雀亭筆 | 1幅 | 絹本 著色 |

しんなんびん 沈南蘋スタイルの流行

| | | | | |
|------------------------------|---------------------|--------------------------|----|-------|
| 79. 菊に猫図 | | 真村蘆江筆 ^{まむらゐらごう} | 1幅 | 絹本 著色 |
| 80. 葡萄図 ^{ぶどう} | | 宋紫石筆 | 1幅 | 絹本 著色 |
| 81. 寒梅綬帯鳥図 | | 宋紫石筆 | 1幅 | 絹本 著色 |
| 82. 枇杷金鳩図 ^{びわ きんばと} | 天明4年(1784) | 董九如筆 ^{とうきゆうじよ} | 1幅 | 絹本 著色 |
| 83. 花籠に文鳥図 | | 董烈筆 ^{とうれつ} | 1幅 | 絹本 著色 |
| 84. 白梅白頭翁図 | 明和2年(1765) | 渡辺玄対筆 | 1幅 | 絹本 著色 |
| 85. 牡丹に綬帯鳥図 | 明和6年(1769) | 鶴亭筆 ^{かくてい} | 1幅 | 絹本 著色 |
| 86. 白梅綬帯鳥図 | | 鉅鹿民部筆 ^{あおがみんぶ} | 1幅 | 絹本 著色 |
| 87. 瓶花図 | 文政9年(1826) 江芸閣・朱柳橋賛 | 島琴陵筆 | 1幅 | 絹本 著色 |

(2) 古地図企画展示

本館の古地図資料の中心をなす南波コレクション・秋岡コレクションに加え、本館収集の古地図をもとにテーマを設定した企画展示を行う。

| 展 覧 会 名 | 会 期 | 内 容 |
|-------------|-------------------|---|
| 古 地 図 と 版 元 | 4月14日(土)～5月20日(日) | 日本図や世界図というような地図の内容や、伊能忠敬らの地図製作者ではなく、出版した本屋側に焦点をあてて古地図を展示した。江戸・京都・大坂の三都を中心に、それ以外の地方で出版された古地図も採り上げた。 |
| 世 界 図 の 歴 史 | 2月16日(土)～3月24日(月) | コロンブス等が活躍する大航海時代を境に激変するヨーロッパの世界図。さまざまなタイプの世界図が描かれ、流布した江戸時代の日本。古地図を通して昔の人々の世界像を知るとともに、現代の地図との違いを楽しむ。 |

古地図と版元 出品目録

| 資料名 | 作者等 | 時代 | 版種 | 寸法(cm) | 備考 |
|---|--------------------------------|---------------|---------|-------------|----|
| I 江戸の書林 | | | | | |
| 1 相模屋太兵衛……「凶林」と称す | | | | | |
| 1 万国総界図 | 石川流宣 <small>りゅうせん</small> | 貞享5年(1688) | 木版手彩 一軸 | 126.9×57.7 | 池長 |
| 2 本朝凶鑑綱目(内題) | 石川流宣 | 貞享4年(1687) | 木版手彩 | 59.5×130.8 | 南波 |
| 3 日本海山潮陸図 | 石川流宣 | 元禄4年(1691) | 木版手彩 | 97.0×168.1 | 南波 |
| 2 須原屋茂兵衛……江戸時代後期に江戸で最大の書林。北畠氏。店の屋号は千鍾房、千鍾堂 | | | | | |
| 4 万国総界図 全 | 石川流宣 | 宝永5年(1708)改 | 木版手彩 | 132.0×60.0 | 南波 |
| 5 大明都城図 全 | 須原屋茂兵衛 板 | 享保頃(1729年以前) | 木版手彩 | 80.0×102.0 | 南波 |
| 6 歴代分野之凶古今人物事跡(内題) | 桂川甫三 <small>ほさん</small> | 寛延3年(1750) | 木版手彩 | 177.4×157.2 | 秋岡 |
| 7 安見御江戸絵図 全 | 衛山 <small>こうざん</small> 著 | 文化14年(1817)改正 | 木版刷彩 折帖 | 20.8×9.6 | 秋岡 |
| 8 岐菰路安見(万屋清兵衛と他一店との共同板元・売出) | 桑楊 <small>そうよう</small> 編 | 宝暦6年(1756) | 木版 袋綴 | 11.6×16.2 | 南波 |
| 9 東海木曾両道中懐宝凶鑑 | | 明和2年(1765) | 木版 袋綴 | 16.0×11.2 | 秋岡 |
| 10 諸国順覧懐宝道中記 〔前川弥兵衛(盛文堂)と共同板元・売出〕 | | 文化5年(1808) | 木版刷彩両面刷 | 15.2×7.5 | 南波 |
| 11 旅行必用 大日本諸州道程附 全 | | 天保2年(1831)再刻 | 木版両面刷 | 34.2×51.5 | 南波 |
| 12 大日本海陸道中行程凶鑑 | 千鍾房 梓 | 天保7年(1836) | 木版 袋綴 | 16.1×11.2 | 南波 |
| 13 増補新刻 大日本海陸行程凶鑑(内題) | 千鍾房 癸 | 天保7年(1836)以降 | 木版刷彩 折帖 | 16.4×7.8 | 秋岡 |
| 3 須原屋市兵衛……北畠氏。店の屋号は申椒堂 | | | | | |
| 14 地球一覽図 全 | 三橋釣客 <small>しんしょうどう</small> | 天明3年(1783) | 木版刷彩 | 79.1×164.3 | 南波 |
| 15 大清広輿図(八鋪のうち 雲南府) 〔須原屋伊八と合梓〕 | 長久保赤水 <small>ながくぼせきすい</small> | 天明5年(1785) | 木版手彩 | 66.8×62.5 | 南波 |
| 16 三国通覧輿地路程全図 | 林子平 図 | 天明5年(1785) | 木版手彩 | 52.2×79.0 | 南波 |
| 17 蝦夷国全図 | 林子平 図 | 天明5年(1785) | 木版手彩 | 51.5×93.6 | 秋岡 |
| 18 無人島之図 附録 | 林子平 図 | 天明5年(1785) | 木版手彩 | 27.3×65.5 | 南波 |
| 4 万屋清兵衛……松葉氏。店の屋号は松葉軒 | | | | | |
| 19 流宣江戸絵図(仮) | 石川流宣 | 宝永2年(1705) | 木版手彩 | 36.4×48.8 | 南波 |
| 20 東海道分商絵図(5帖) | 遠近道印 <small>おちこちどういん</small> | 元禄16年(1703) | 木版 折本 | 26.5×14.9 | 南波 |
| 21 海陸日本道中行程記 | 菊岡南仙斎 編 | 享保9年(1724) | 木版手彩 折本 | 15.8×7.2 | 南波 |
| 5 菊屋幸三郎……店の屋号は金幸堂 | | | | | |
| 22 校正 大日本輿地全図 | | 江戸時代末期 | 木版刷彩 | 54.5×83.3 | 南波 |
| 23 甲斐国全図 | 橋本玉蘭斎 <small>きょくらんさい</small> 図 | 慶応4年(1868) | 木版刷彩 | 96.5×124.4 | 南波 |
| 24 上野国全図 | 村上吾雄 著 | 江戸時代末期 | 木版刷彩 | 106.2×125.4 | 南波 |
| 25 永福関東講 | 江戸講元 菊屋幸三郎 | 江戸時代末期 | 木版 袋綴 | 7.0×16.0 | 南波 |
| 26 海陸道中画譜 全 | 橋本玉蘭斎 誌 | 元治元年(1864)誌 | 木版刷彩 袋綴 | 17.6×11.9 | 南波 |

Ⅱ 京都・大坂の書林

1 林吉永^{よしなが}……京都。「御絵図所」と称す。名は治左衛門。初代が吉永と名のつた

| | | | | | | | |
|----|-------------------------|--|---------------|------|--|------------|----|
| 27 | 新板 日本国大絵図 | | 延享(1744~48)改正 | 木版手彩 | | 68.8×165.2 | 南波 |
| 28 | 高野山 ^{こうやさん} 之図 | | 延宝9年(1681) | 木版 | | 69.6×42.0 | 南波 |
| 29 | 改正 内裏 ^{だいり} 図 | | 江戸時代後期 | 木版手彩 | | 40.0×47.1 | 南波 |

2 吉文字^{きちもんじや}屋市兵衛……大坂。鳥飼氏。店の屋号は定栄堂。三代目が酔雅と号した。

| | | | | | | | |
|----|---------------------------------------|---------|-------------|------|----|------------|----|
| 30 | 伊勢道中行程記 | 酔雅子 考訂 | 寛延4年(1751) | 木版 | 折本 | 16.9×8.6 | 南波 |
| 31 | 江戸道中勝景行程記(内題) (江戸出店の吉文字屋次郎兵衛と共同刊行) | | 宝暦9年(1759) | 木版 | 折帖 | 16.3×9.3 | 秋岡 |
| 32 | 新增 日本道中行程記大全 | 墨龍齋 編 | 宝暦9年(1759) | 木版刷彩 | 折本 | 15.2×7.4 | 南波 |
| 33 | 金毘羅 ^{こんびら} 参詣海陸記(内題) | 今村美景 | 安永7年(1778) | 木版 | 折本 | 16.3×9.1 | 南波 |
| 34 | 日本海陸早引道中記 | 秋里籬島 編輯 | 文政13年(1830) | 木版手彩 | | 38.5×119.5 | 南波 |

3 藤屋弥兵衛……大坂。浅野氏。店の屋号は星文堂

| | | | | | | | |
|----|----------------------------|--|-------------|------|--|-------------|----|
| 35 | 改正 地球万国全図 | 長久保 ^{ながくぼ} 赤水 ^{せきすい} | 江戸時代後期 | 木版手彩 | | 100.0×149.5 | 南波 |
| 36 | 鳴蘭 ^{おらんだ} 新訳地球全図 | 橋本宗吉 | 寛政8年(1796) | 木版手彩 | | 55.5×92.9 | 南波 |
| 37 | 改正 日本輿地路程全図 | 長久保赤水 | 安永8年(1779) | 木版手彩 | | 83.2×134.3 | 秋岡 |
| 38 | 重鐫 ^{じゅうせん} 日本輿地全図 | | 天明3年(1783) | 木版刷彩 | | 54.0×52.5 | 南波 |
| 39 | 大日本細見指掌全図 改正増選 | 筱 ^{しとみ} 応道 撰 | 文化5年(1808) | 木版手彩 | | 136.2×227.9 | 南波 |
| 40 | 丹後国大絵図 | 城崎 ^{きのさき} 斎藤甚右衛門 | 文化13年(1816) | 木版 | | 56.7×81.5 | 南波 |

Ⅲ 地方の書林

1 仁龍堂……長野 善光寺

| | | | | | | | |
|----|--------|---------|--------|------|--|------------|----|
| 41 | 海陸道中図絵 | 災叢齋一家 画 | 江戸時代末期 | 木版刷彩 | | 29.5×115.1 | 南波 |
|----|--------|---------|--------|------|--|------------|----|

2 美玉堂^{こんびら}……金毘羅宮〔香川県琴平町〕

| | | | | | | | |
|----|--|--|--------|------|--|-----------|----|
| 42 | 象頭山 ^{ぞうとう} 参詣道紀州加田ヨリ讃岐廻并播磨名勝附 | | 江戸時代末期 | 木版刷彩 | | 34.6×47.0 | 南波 |
|----|--|--|--------|------|--|-----------|----|

3 山本平六……高野山〔和歌山県〕

| | | | | | | | |
|----|-------------------------|-------|------------|------|--|-----------|----|
| 43 | 高野山 ^{こうやさん} 絵図 | 橋保春 画 | 文化7年(1810) | 木版手彩 | | 69.5×41.1 | 南波 |
|----|-------------------------|-------|------------|------|--|-----------|----|

4 えつ屋庄八……奈良。絵図屋庄八、井筒屋庄八とも記す

| | | | | | | | |
|----|--------------|--|--------------|--------|--|------------|----|
| 44 | 大日本早引細見絵図 | | 弘化2年(1845)再板 | 木版刷彩 | | 37.3×118.3 | 秋岡 |
| 45 | 西国巡礼図(仮) | | 嘉永2年(1849) | 木版一部手彩 | | 60.2×66.8 | 南波 |
| 46 | ならめい志よゑづ(内題) | | 江戸時代後期~末期 | 木版一部手彩 | | 28.5×43.2 | 南波 |

南波は南波松太郎コレクション、秋岡は秋岡武次郎コレクション、池長は池長孟コレクションの略です。寸法のうち、冊子類は表紙の寸法です。

世界図の歴史 出品目録

[資料名] [作者等] [時代] [版種] [寸法cm] [備考]

ヨーロッパにおける世界図

2世紀の偉大な天文学者プトレマイオスは、ギリシャ・ローマ時代の地理学を集大成したことで有名。地球球体説に基づく世界図も描いたといわれます。ただ、その成果はその後の中世キリスト教社会ではほとんど無視され、ルネサンスの気運に乗って15世紀初頭によみがえり、そこから世界図の新しい歴史が始まるのです。

- 1 メルカトル版 G.メルカトル 17世紀初期 銅版手彩 39.0×52.0
 プトレマイオス世界図 (1605年)

16世紀の偉大な地図学者メルカトルが復元したプトレマイオス世界図。ヨーロッパから地球半周分の世界を描くが、アジア大陸ははてなく続いています。

- 2 ベハイム地球儀 M.ベハイム 1492年 (複製) 径51

現存最古の地球儀で、原品はドイツに保存されている。プトレマイオスより一歩前進した世界図が描かれる。アメリカ大陸はないが、ジパング(日本)は大きく存在しています。つまりここには、「新大陸発見」直前の世界像が描かれています。

- 3 シルバヌス編 B.シルバヌス 1511年 木版 43.0×29.5
 プトレマイオス地図帳

アメリカ大陸確認直後の世界図。左端にアメリカ大陸があり、右上にはジパングが描かれます。

- 4 オルテリウス編 A.オルテリウス 1570年 銅版手彩 41.0×28.5
 『世界の舞台』

大航海時代の成果を凝縮した近代アトラス。巻頭を飾る世界図には、南半球全体と北極地域に巨大な陸塊が描かれています。日本が確認されたので(1543年)、アジア大陸の東端が決まり、プトレマイオス(2世紀)以来の難問が解決しました。

- 5 ブラウ世界図 W.ブラウ 1635年 銅版手彩 51.1×60.5

17世紀のオランダは、世界の地図製作センターでした。ブラウ家は、その最大メーカーです。ここに展示したものは、17世紀にもっとも信頼されていた世界図といえます。

- 6 ブラウ世界地図 J.ブラウ 1662年 銅版手彩 55.0×66.0

- 7 ファルク世界図 G.ファルク 1700年頃 銅版手彩 52.3×63.3

17世紀後半から18世紀前半にかけて、北米カリフォルニア半島が「島」として表現され、北太平洋一帯に大きな陸地が存在しているかのような世界図が流行します。

- 8 ジャイヨ世界地図 H.ジャイヨ 1720年頃 銅版手彩 61.0×100.4

司馬江漢の世界図(28)の手本となった世界図。

日本における世界図

日本ではもともと、仏教の教えに基づく世界図がありました。16世紀後半になると、ヨーロッパから全く違った世界図が伝わり、それを受け入れようとした人もいました。さらに17世紀以後には、中国からも世界図がもたらされ普及しました。江戸時代には、大きく三つに分類できる、全く外形の異なる世界図が、ともに存在していたのです。

〈伝統的世界図〉

本朝(日本)、唐(中国)、天竺(インド)の三国世界を描くもので、現代の感覚ではとても世界図とは思えないもの。江戸時代になるとその「三国」にくわえて、オランダなどヨーロッパ地名も加わります。

- 9 天竺之図 寛延2年(1749) 手書手彩 167.0×133.2 A

中央の巨大陸塊はほとんどがインドで、一部が中国です。右上の海上に日本がある。朱線は三蔵法師ゆかりの仏蹟を案内しており、類図(14世紀)が奈良法隆寺にあります。

- 10 うちわ型仏教系世界図 宝永頃(1704~11) 手書手彩 150.8×155.5 N

「うちわ型」とは、その図形の対称性からいわれたものです。左上にはヨーロッパ地名(フランス、イギリスなど)がみられます。流入してくる海外情報を、なんとか位置づけようと試みているのでしょう。

11 南瞻部洲万国掌葉之図 浪華子 宝永7年(1710) 木版手彩 117.4×144.0 A

これほど大きな木版図には、多くの手間と経費がかかったことでしょう。このことは、伝統的世界図の存在意義の高さを示しているともいえます。

12 万国一覽図 古屋野意春 文化6年(1809) 木版手彩 105.2×138.6 A

左にアフリカ大陸、右の南北に広がる陸地がアメリカ大陸で、このような異様な表現は他に例をみません。インド付近が極端に大きく描かれていることから、作者には仏教への想いがあるのでしょうか。出版流布していたことは驚きです。

〈中国からの影響〉

16~17世紀には、中国にも西洋の地理学や地図が伝わります。西洋の学問が、そこでいったん漢字に訳され、さらに日本へと伝わり、大きな影響を与えます。宣教師マテオ・リッチが1602年に北京で刊行した世界図「坤輿万国全図」は日本に伝わり、それを手本にした図が江戸時代の代表的な世界図となりました。

13 坤輿万国全図屏風(6曲一隻) 江戸時代 手書手彩 167.5×379.1 N

「坤輿万国全図」をそのままに模写し、地名などに読み仮名をふったもの。

14 坤輿全図 南懷仁(F.フェルベースト) 康熙13年(1674) 木版手彩 188.0×411.2 N

イエズス会宣教師が中国で刊行した、8幅一組の大型世界図。朝鮮では後に復刻され広まった。

15 万国総図・人物図 17世紀後半 木版手彩 136.4×58.9(世界図) I
木版手彩 136.8×58.9(人物図)

16 万国総図・世界人形図 慶安5年(1652) 木版手彩 65.4×40.8(世界図) I
65.3×41.3(人形図)

15・16のように、江戸時代初期に刊行された世界図は、各国人物図がセットになっていて、東を上にして縦長に描かれます。

17 万国総界図 石川流宣 貞享5年(1688) 木版手彩 126.9×57.7 I

当時人気の浮世絵師の手になる世界図。大陸は、バラバラの島々が寄り集まったように描かれています。

18 世界万国地球図 稲垣光朗 宝永5年(1708) 木版手彩 127.4×42.8 I

南極中心図と北極中心図を組み合わせた図。大坂で出版されたらしい。

19 輿地図 原目貞清 享保5年(1720) 木版 90.9×154.1 N

「坤輿万国全図」を手本にした図。北を上にし、日本が地図の中央にあるという、現代の我々にもなじみやすい構図です。

20 源内焼世界図皿 江戸時代中期 志度窯(讃岐) 径37.8(ユーラシア図) I
(ユーラシア・アフリカ図皿、南北アメリカ図皿) 径37.0(アメリカ図)

平賀源内(1729-79年)が考案したという焼物。世界図をデザインした皿はきわめて珍しい。原図は「唐土訓蒙図彙」中にある。

*「唐土訓蒙図彙」享保4年(1719)

21 地球一覽図 三橋釣客 天明3年(1783) 木版手彩 81.8×154.3 N

「坤輿万国全図」を手本にしながらかも、南方大陸の形態とインド地域を大きく変えています。

22 地球万国山海輿地全図説 長久保赤水 18世紀末 木版手彩 104.0×153.0 A

水戸藩の儒学者長久保赤水が作った大型世界図。多くの海賊版や異版を生み出し、幕末に至るまで、このタイプの世界図がもっともよくみられた。

23 万国輿地全図 安部泰行 嘉永6年(1853) 木版刷彩 36.8×65.2 N

24 世界万国日本ヨリ海上里数 王城人物図 江戸時代末期 木版刷彩 34.9×48.3 N

23・24は、庶民向けともいうべき簡易世界図。太平洋に浮かぶ黒船は、ペリー艦隊(1853年)の影響でしょう。

〈ヨーロッパからの影響〉

ポルトガル人が種子島に漂着(1543年)して以来、江戸時代を通じて、西洋から直接に日本へ世界図がもたらされました。日本人はそれらを最初は模写する程度でしたが、蘭学の発展により、地名の翻訳や中身の改良までできるようになりました。

25 旧世界図 江戸時代初期 手書手彩 102.7×115.9 N

新大陸を除いた図。中国や東南アジア諸国への里程や貿易品名が記されていることから、鎖国に際して外国情報を調査した図と考えられています。

11 南瞻部洲万国掌藁之図 浪華子 宝永7年(1710) 木版手彩 117.4×144.0 A

これほど大きな木版図には、多くの手間と経費がかかったことでしょう。このことは、伝統的世界図の存在意義の高さを示しているともいえます。

12 万国一覽図 古屋野意春 文化6年(1809) 木版手彩 105.2×138.6 A

左にアフリカ大陸、右の南北に広がる陸地がアメリカ大陸で、このような異様な表現は他に例をみません。インド付近が極端に大きく描かれていることから、作者には仏教への想いがあるのでしょうか。出版流布していたことは驚きです。

〈中国からの影響〉

16～17世紀には、中国にも西洋の地理学や地図が伝わります。西洋の学問が、そこでいったん漢字に訳され、さらに日本へと伝わり、大きな影響を与えます。宣教師マテオ・リッチが1602年に北京で刊行した世界図「坤輿万国全図」は日本に伝わり、それを手本にした図が江戸時代の代表的な世界図となりました。

13 坤輿万国全図屏風(6曲一隻) 江戸時代 手書手彩 167.5×379.1 N

「坤輿万国全図」をそのままに模写し、地名などに読み仮名をふったもの。

14 坤輿全図 南懷仁(F.フェルベースト) 康熙13年(1674) 木版手彩 188.0×411.2 N

イエズス会宣教師が中国で刊行した、8幅一組の大型世界図。朝鮮では後に復刻され広まった。

15 万国総図・人物図 17世紀後半 木版手彩 136.4×58.9(世界図) I
木版手彩 136.8×58.9(人物図)

16 万国総図・世界人形図 慶安5年(1652) 木版手彩 65.4×40.8(世界図) I
65.3×41.3(人形図)

15・16のように、江戸時代初期に刊行された世界図は、各国人物図がセットになっていて、東を上にして縦長に描かれます。

17 万国総界図 石川流宣 貞享5年(1688) 木版手彩 126.9×57.7 I

当時人気の浮世絵師の手になる世界図。大陸は、バラバラの島々が寄り集まったように描かれています。

18 世界万国地球図 稲垣光朗 宝永5年(1708) 木版手彩 127.4×42.8 I

南極中心図と北極中心図を組み合わせた図。大坂で出版されたい。

19 輿地図 原目貞清 享保5年(1720) 木版 90.9×154.1 N

「坤輿万国全図」を手本にした図。北を上にし、日本が地図の中央にあるという、現代の我々にもなじみやすい構図です。

20 源内焼世界図皿 江戸時代中期 志度窯(讃岐) 径37.8(ユーラシア図) I
(ユーラシア・アフリカ図皿、南北アメリカ図皿) 径37.0(アメリカ図)

平賀源内(1729-79年)が考案したという焼物。世界図をデザインした皿はきわめて珍しい。原図は「唐土訓蒙図彙」中にある。
*「唐土訓蒙図彙」享保4年(1719)

21 地球一覽図 三橋釣客 天明3年(1783) 木版手彩 81.8×154.3 N

「坤輿万国全図」を手本にしながも、南方大陸の形態とインド地域を大きく変えています。

22 地球万国山海輿地全図説 長久保赤水 18世紀末 木版手彩 104.0×153.0 A

水戸藩の儒学者長久保赤水が作った大型世界図。多くの海賊版や異版を生み出し、幕末に至るまで、このタイプの世界図がもともよくみられた。

23 万国輿地全図 安部泰行 嘉永6年(1853) 木版刷彩 36.8×65.2 N

24 世界万国日本ヨリ海上里数 江戸時代末期 木版刷彩 34.9×48.3 N
王城人物図

23・24は、庶民向けともいべき簡易世界図。太平洋に浮かぶ黒船は、ペリー艦隊(1853年)の影響でしょう。

〈ヨーロッパからの影響〉

ポルトガル人が種子島に漂着(1543年)して以来、江戸時代を通じて、西洋から直接に日本へ世界図がもたらされました。日本人はそれらを最初は模写する程度でしたが、蘭学の発展により、地名の翻訳や中身の改良までできるようになりました。

25 旧世界図 江戸時代初期 手書手彩 102.7×115.9 N

新大陸を除いた図。中国や東南アジア諸国への里程や貿易品名が記されていることから、鎖国に際して外国情報を調査した図と考えられています。

- 26 地球分双卯酉五帯之図 沢田貞矩 宝暦9年(1759) 手書手彩 各81.5×18.0 N
地球儀を展開したような図で、他に例をみない、きわめて珍しい世界図。11枚一組のもの。
- 27 万国図 中山武成 安永8年(1779) 手書手彩 99.1×199.2 N
パリで刊行されたボアソ世界図を手本にした図。長崎の阿蘭陀通詞が地名翻訳にかかわった。地名翻訳書「新增万国地名考」付。
- 28 地球図 司馬江漢 寛政4年(1792) 銅版手彩 55.4×86.4 N
司馬江漢の世界図。原図となったのはシャイヨ世界図(8)だが、日本の北方地域は改良しています。
- 29 フィッセル改訂
ブラウ世界図模写図 18世紀末 手書手彩 160.0×295.0 I
オランダ製の大型壁掛け世界図を模写したもの。江戸時代に伝わったその原本は、現在、東京国立博物館に保存されています。
- 30 円球万国地海全図 石塚崔高 享和2年(1802) 木版手彩 118.6×219.2 A
蘭学導入に熱心だった薩摩藩が作成した世界図。和漢の知識も統合されています。木版刷りの世界図としては最大寸法のものです。
- 31 新訂万国全図 高橋景保 文化7年(1810) 銅版手彩 114.8×197.7 N
幕府天文方が総力をあけて作成した世界図。間宮林蔵の報告を受け、ヨーロッパに先駆けてサハリン(樺太)を島として表現した、当時世界最高水準の図。
- 32 北極中心世界地図 小佐井道豪 天保8年(1837) 手書手彩 155.3×157.0 A
原図は、北極中心図と南極中心図の、二図一組でした。作者の考えで、北極から見た図に、南半球の姿を合成したもの。
- 33 大輿地球儀 沼尻墨徳 安政2年(1855) 木版手彩 径23.0 A
竹ヒゴの上に木版印刷された世界図を貼り合わせ、地球儀になる。壊れやすく、現存例はごくわずか。
- 34 輿地航海図 武田簡吾 安政5年(1858) 木版手彩 90.5×160.0 A
原図は、ロシア使節プチャーチンの旗艦ディアナ号にあった。それを沼津の医師武田簡吾が翻訳し、出版したもの。数多くの異版を生んだ。
- 35 官許 新刊輿地全図 完 佐藤政養 文久1年(1861) 木版刷彩 136.0×135.9 N
34とならんで、幕末を代表する大型世界図。万国旗と都市や山川の統計表が付いているなど、内容が豊かで詳細。

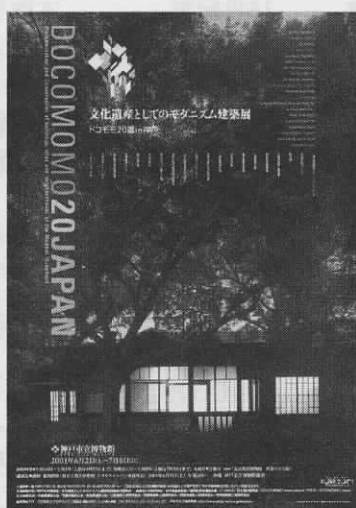
{受贈記念特別出品}

| | | | | | |
|---------|------|---------------|----|-------------|---------|
| 日本図文大鏡 | 人見政親 | 寛文(1661~72年)頃 | 銅鏡 | 径91.8 | 岡嶋直蔵氏寄贈 |
| 鏡背日本図拓本 | | | 拓本 | 113.0×111.7 | N |

※ 備考欄のAは秋岡武次郎コレクション、Iは池長孟コレクション、Nは南波松太郎コレクションであることを示す。



「江戸時代の中国趣味」・
「世界図の歴史」 B2ポスター



「文化遺産としてのモダニズム
建築展」 B2ポスター



「文化遺産としてのモダニズム
建築展」 図録

DOCOMOMO 20 JAPAN

文化遺産としての
モダニズム建築展
ドコモモ20選in神戸

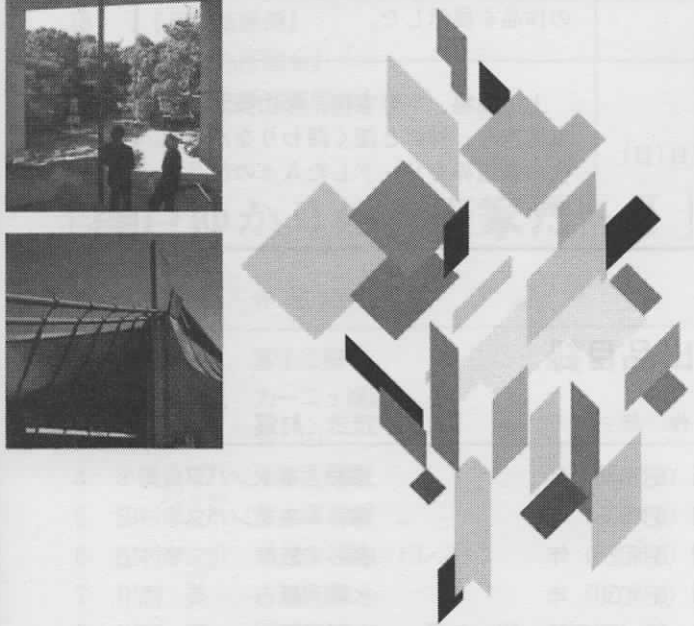
Documentation and Conservation of buildings, sites and neighborhoods of the **Modern Movement**

21世紀を迎えた今、さまざまな分野で、20世紀の歩みをあらためて見なおそうとする動きが盛んになってきました。建築の世界においても、20世紀に世界的なスケールで展開された、モダニズム建築を再検証し、再評価する試みが少しずつ始まろうとしています。

こうした中で、オランダに本部を置く、近代建築の保存と調査のための国際組織、DOCOMOMOが、2000年の9月に開催された世界大会に向けて、各国に現存するモダニズム建築の代表例20件の提出を呼びかけました。これを受けて、わが国でも、日本建築学会の中に発足したワーキング・グループが、1920年代から60年代にかけて建設された

さまざまな建築を選定しました。さらに、こうして選ばれた20の建築を広く社会に伝えるため、そして関西においても住友ビルディングと聴竹居がこの20選に選ばれたことから、神戸市立博物館において、巡回展を開催することとなりました。

20選の建築の写真、図面、模型、資料等に具体的に触れながら、日本におけるモダニズム建築とは何を指し、何を実現しようとしていたのか、これからの建築や町づくりにとって、そこから何が遺産として読み取れるのか、幅広く、深く、検証したいと考えています。



一連の同題会アパルトメントハウス
住友ビルディング
聴竹居
小倉刑務所 管理棟
東京中央郵便局
土浦電城自衛隊
豊島義経幼稚園
宇部市民館
八勝邸御幸の間
神奈川県立近代美術館
広島ピースセンター
コアのあるH氏のすまい
神奈川県立図書館・音楽堂
秩父セント・第2工場
日土小学校
香川県庁舎
群馬音楽センター
国立鹿内総合競技場
大学セミナーハウス
パレスサイドビル

2001年6月2日(土)~7月8日(日)

開館時間●午前10時~午後5時(入館は4時30分まで)

休館日●月曜日 併設展「北京故宫博物院 黄金の至宝展」

神戸市立博物館
Kobe City Museum

講演会●講師 藤岡洋保(東京工業大学教授・ドコモモジャパン事務局長)

2001年6月9日(土)午後2時~ 会場 神戸市立博物館講堂

入館料●一般1000(750)円・高大生700(550)円・中小生400(250)円※()内は30名以上の団体割引料金

※65歳以上で神戸市すこやか手帳持参の方はシルバー料金(500円)

主催●神戸市/神戸市立博物館/文化遺産としてのモダニズム建築関西展実行委員会

後援●日本建築学会/日本建築家協会/国際記念物遺跡会議(ICOMOS)日本国内委員会/DOCOMOMO International/文化庁/

DOCOMOMO Japan/日本建築協会/兵庫県建築士会/京都府建築士会/奈良県建築士会/大阪建築士事務所協会/兵庫県建築士事務所協会/

京都府建築士事務所協会/奈良県建築士事務所協会

●関連展予告 文化遺産としてのモダニズム建築展 関西のモダニズム20選in芦屋 2001年9月8日(土)~10月14日(日) 芦屋市立美術館

<http://www.ashiya-web.or.jp/museum/>

●神戸市立博物館 〒650-0034 神戸市中央区京町24番地 Tel:078-391-0035 Fax:078-392-7054

ひと・まち・みらい
KOBE 2001
神戸市歴史・復興記念事業 2001.1.17-9.30

(3) ギャラリー

| 展 覧 会 名 | 会 期 | 内 容 |
|--------------------------|-------------------|---|
| 神戸ゆかりの芸術家たちⅠ | 4月14日(土)～5月30日(木) | 収蔵品の中から神戸ゆかりの洋画家・川端謹次と小松益喜の油彩画、別車博資の水彩画、彫刻家・柳原義達による鳩と鴉をテーマにした素描を展示した。 |
| 文化遺産としてのモダニズム建築展 | 6月2日(土)～7月8日(日) | ドコモモ (DOCOMOMO:近代建築に関する建物、敷地、環境の資料と保存の国際組織) が、日本で選定した20件の近代建築の姿を、写真・図面・模型・資料等により展示。 |
| 神戸の風景版画 —源平に育まれたイメージ— | 7月11日(水)～9月13日(木) | 失われつつある近代以前の神戸のイメージを、源平関係の浮世絵等20点を通して浮かび上がらせた。 |
| 神戸ゆかりの芸術家たちⅡ | 9月15日(土)～11月4日(木) | 金山平三、林重義、小磯良平、田村孝之介、川西英、別車博資、川端謹次といった神戸洋画壇を築いた人々の作品を展示した。 |
| 神戸の書展 | 1月31日(木)～3月31日(日) | 上田桑鳩、宇野雪村、深山龍洞、安東聖空ら、神戸と深く関わりながら近代の書道界をリードした人々の作品を展示した。 |

「神戸ゆかりの芸術家たちⅠ」 出品目録

| No | 作家名 | 作品名 | 制作年 | 技法・材質 |
|----|------|------------|--------------------|----------|
| 1 | 川端謹次 | 潮風 | 1955(昭和30)年 | 油彩・キャンバス |
| 2 | 川端謹次 | 一の谷風景 | 1960(昭和35)年 | 油彩・キャンバス |
| 3 | 別車博資 | 神戸港暮色 | 1950(昭和25)年 | 水彩・紙 |
| 4 | 別車博資 | 一の谷風景 | 1955(昭和30)年 | 水彩・紙 |
| 5 | 別車博資 | トレド | 1964～65(昭和39～40)年頃 | 水彩・紙 |
| 6 | 別車博資 | 太山寺晩秋 | 1970(昭和45)年頃 | 水彩・紙 |
| 7 | 小松益喜 | 神戸北野町 桃色の家 | 1969～70(昭和44～45)年頃 | 油彩・キャンバス |
| 8 | 小松益喜 | 煉瓦塀と異人館 | 1983(昭和58)年 | 油彩・キャンバス |
| 9 | 小松益喜 | 最後の異人館 | 1970～72(昭和45～47)年頃 | 油彩・キャンバス |
| 10 | 柳原義達 | 道標・孔雀鳩 | 1989(平成元年)年 | フェルトペン・紙 |
| 11 | 柳原義達 | 道標・孔雀鳩 | 1989(平成元年)年 | フェルトペン・紙 |
| 12 | 柳原義達 | 道標・鴉 | 1991(平成3)年 | フェルトペン・紙 |
| 13 | 柳原義達 | 道標・孔雀鳩 | 1991(平成3)年 | フェルトペン・紙 |
| 14 | 柳原義達 | 道標・孔雀鳩 | 1991(平成3)年 | フェルトペン・紙 |
| 15 | 柳原義達 | 道標・孔雀鳩 | 1991(平成3)年 | フェルトペン・紙 |

神戸の風景版画 出品目録

| No | 資料名 | 員数 | 作者 | 年代 |
|----|-------------------------|------|-------|----------------------|
| 1 | 新形三十六怪撰 布引滝悪源太義平靈討難波次郎 | 1 枚 | 月岡 芳年 | 明治22年 (1889) |
| 2 | 清盛入道布引滝遊覧悪源太義平靈討難波次郎 | 3 枚続 | 歌川 国芳 | 文化12~天保13年 (1815~42) |
| 3 | 福原殿舎怪異之図 (無題) | 3 枚続 | 葛飾 北為 | 天保14~弘化4年 (1843~47) |
| 4 | 新容六怪撰 福原殿舎怪異之図 (無題) | 3 枚続 | 月岡 芳年 | 明治15年 (1882) |
| 5 | 新形三十六怪撰 清盛福原に数百の人頭を見るの図 | 1 枚 | 月岡 芳年 | 明治22年 (1889) |
| 6 | 生田森追手源平大合戦 | 3 枚続 | 歌川 国芳 | 天保14~弘化4年 (1843~47) |
| 7 | 武勇雪月花之内 生田森えひらの梅 | 3 枚続 | 月岡 芳年 | 慶応3年 (1867) |
| 8 | 源義経一谷裏手之図 | 3 枚続 | 歌川 芳員 | 嘉永6年 (1853) |
| 9 | 摂州一之谷写真 | 3 枚続 | 橋本 貞秀 | 安政4年 (1857) |
| 10 | 義経之軍兵一之谷逆落之図 | 3 枚続 | 歌川 国芳 | 天保元年~13年 (1830~42) |
| 11 | 摂州一の谷鶴越ヨリ義経平家を攻ル図 | 3 枚続 | 歌川 芳藤 | 明治前期 |
| 12 | 小敦盛絵巻 | 1 巻 | | 桃山時代 |
| 13 | 敦盛と直実 | 1 枚 | 鈴木 春信 | 明和年間 (1764~72) |
| 14 | 無官の太夫敦盛 熊谷次郎直実組討の図 | 1 枚 | 歌川 豊国 | 文化12~文政7年 (1815~24) |
| 15 | 耀武八景 須磨寺晩鐘 | 1 枚 | 歌川 国芳 | 天保元~13年 (1830~42) |
| 16 | 播州須磨寺ノ桜に義経高札ヲ立ル図 | 3 枚続 | 歌川 国芳 | 文化12~天保13年 (1815~42) |
| 17 | 播州須磨寺若木桜ノ図 | 3 枚続 | 月岡 芳年 | 明治3年 (1870) |
| 18 | 『兵庫築島傳』 | 1 冊 | | 天明2年 (1782) |
| 19 | 『摂津名所図会』 | 1 冊 | | 寛政10年 (1798) |
| 20 | 『播州名所巡覧図絵』 | 1 冊 | | 享和3年 (1803) |

「神戸ゆかりの芸術家たちⅡ」 出品目録

| No | 作家名 | 作品名 | 制作年 | 技法・材質 |
|----|-------|-----------------------------|--------------------|----------|
| 1 | 金山平三 | 富士に梅 | 1935~45(昭和10~20)年頃 | 油彩・板 |
| 2 | 林 重義 | カーニユ城趾 | 1931(昭和6)年 | 油彩・カルトン |
| 3 | 林 重義 | 雪山 | 1943(昭和18)年 | 油彩・キャンバス |
| 4 | 小磯良平 | 池長孟肖像 | 1944(昭和19)年 | 油彩・キャンバス |
| 5 | 田村孝之介 | 黄衣婦人像 | 1936(昭和11)年 | 油彩・キャンバス |
| 6 | 田村孝之介 | 婦人像(黒いドレス) | 1954(昭和29)年頃 | 油彩・キャンバス |
| 7 | 川西 英 | 古道貝屋 | 1941(昭和16)年 | 木版色摺・紙 |
| 8 | 川西 英 | 湖畔雪村 | 1942(昭和17)年 | 木版色摺・紙 |
| 9 | 川西 英 | 船室 | 1953(昭和28)年 | 木版色摺・紙 |
| 10 | 小松益喜 | 海岸通り 鉄道棧橋行鉄道のある風景 | 1935(昭和10)年 | コンテ・紙 |
| 11 | 小松益喜 | 元居留地 南町 | 1935(昭和10)年 | コンテ、鉛筆・紙 |
| 12 | 小松益喜 | 元居留地 東遊園地通(貿易会館商館) | 1938(昭和13)年頃 | コンテ・紙 |
| 13 | 小松益喜 | 元居留地 カナディアンパシフィックとオリエンタルホテル | 1939(昭和14)年 | コンテ・紙 |
| 14 | 別車博資 | 海洋气象台 | 1935(昭和10)年 | 水彩・紙 |
| 15 | 別車博資 | 須磨彩雲 | 1960~63(昭和35~38)年頃 | 水彩・紙 |
| 16 | 別車博資 | ローテンプルク | 1964(昭和39)年 | 水彩・紙 |
| 17 | 川端謹次 | 日和山 | 1956(昭和31)年 | 油彩・キャンバス |
| 18 | 川端謹次 | 塩屋の夕映 | 1992(平成4)年 | 油彩・キャンバス |

神戸の書展

出品目録

- | | | | | |
|-----|------|---------------|-------------------|-------------------|
| 1. | 上田桑鳩 | 明月照積雪 | 昭和16年 (1941) | |
| 2. | 宇野雪村 | 命 (MYŌ) | 昭和57年 (1982) | 毎日書道展 |
| 3. | 安東聖空 | 万葉のうた (みなそこ) | 昭和35年 (1960) | 日展・日本芸術院賞 |
| 4. | 〃 | 波音 (しのめの) | 昭和44年 (1969) | 日展 |
| 5. | 〃 | 尾花 (ひとむらの) | 昭和49年 (1974) | 日展 |
| 6. | 〃 | さゆらぎ (深山木の) | 昭和50年 (1975) | 日展 |
| 7. | 〃 | さん彩 | 昭和51年 (1976) | 日展 |
| 8. | 〃 | 白萩 (つくばひや) | 昭和52年 (1977) | 日展 |
| 9. | 〃 | 墨の香や | 昭和54年 (1979) | 現代書道二十人展 |
| 10. | 〃 | 月雪花 (明月や 他二首) | 昭和55年 (1980) | 日展 |
| 11. | 〃 | やうやくに | 昭和55年 (1980) | 日本の書展 |
| 12. | 西谷卯木 | 清元の | 昭和52年 (1977) | 毎日書道展 |
| 13. | 深山龍洞 | 昔がたり | 昭和35年 (1960) | 一楽書芸院展 |
| 14. | 〃 | つきの夜 | 昭和37年 (1962) | 一東書道会展 |
| 15. | 〃 | 歌一首 | 昭和37年 (1962) | 毎日書道展 |
| 16. | 〃 | 人麻呂旅の歌 | 昭和37~45年(1962~70) | |
| 17. | 〃 | 与謝野晶子うた | 昭和42年 (1967) | |
| 18. | 〃 | よしの | 昭和43年 (1968) | 現代書道二十人展 |
| 19. | 〃 | 若山牧水のうた | 昭和50年 (1975) | 和様書作家協会 臨書と展開展 |
| 20. | 〃 | 孤獨 | 昭和50年 (1975) | 日本の書展 |
| 21. | 〃 | 芭蕉俳句二句 | 昭和52年 (1982) | 日展 |

3 学習室・図書室

(1) 学習室

学習室は、「見る・触る・考える」という来館者の主体的な行為を導くように構成している。

常設展示で十分に展示・表現できない分野を補足するための資料を準備し、「ハンズ・オン」の考えに基づき自由に手で触り、動かし、その事物の感触を味わい、楽しみながら、学習するなど工夫しており、これにより、本館の基本テーマや神戸の歴史に親しみやすくしてある。次の3つのコーナーが設けられている。

■見るコーナー

博物館で資料展示が困難な、動きのある祭りや生産物の工程を示すもの、また建築物や空からの都市景観、神戸の歴史などをビデオディスクを使って映像で紹介している。

これらは、リクエスト型のテレビモニターで、解説も日本語・英語いずれも聴けるようにしており、各自が自由に見たいものを検索できるようにしている。

また、写真パネルでは、昭和初期と平成2年（阪神・淡路大震災以前）、13年（阪神・淡路大震災以後）の神戸市内15カ所の定点比較ができる。

■触るコーナー

常設展示の原始・古代部分に展示されている縄文時代、弥生時代、古墳時代の土器の模型を配置し、自由に触り、土器の感触を直接体験できるようにしている。

また、国宝桜ヶ丘出土の6号銅鐸レプリカ（複製）にも触れ、銅鐸の音色を楽しむことができる。壁面に描かれた縄文・弥生時代の生活想像画のパノラマは、古代人の暮らしを身近に感じてもらおうというものである。

■考えるコーナー

コンピューター方式でクイズ番組4台、館蔵名品案内2台を設置している。

クイズ番組用の4台では、神戸に関するクイズを13番組から選択できるようになっている。

館蔵名品案内用の2台では本館発行の「神戸市立博物館 館蔵名品図録」掲載の100点の資料に関する写真及び解説を、「原始・古代の神戸と日本」「中・近世の神戸と日本」「近代の神戸と日本」「古い地図 描かれた日本と世界」「南蛮美術」「江戸時代の絵画」「江戸時代の工芸」の7つのジャンルから検索して見ることができる。

(2) 図書室

神戸、東西文化交流、考古、南蛮・紅毛美術に関する書籍の4分野を中心に、雑誌・辞典・豪華本・全集など本館の基本テーマに関するものを収集している。

館内の展示部門の基礎的理解を深めていきたい人、専門的に探求しようとする人達のために気安く利用できる約5400冊を揃えた開架式の図書室である。

4 普及事業

1. 博物館独自の事業

| | | | | | |
|------------------------------------|----------|---------|-------|------|-------------|
| (1) 博物館たんけん隊 | 5. 3 | | | | 77人 |
| (2) 夏休み土器づくり教室 | 7. 26~27 | 成形 | | | 17人 |
| | 8. 3 | 焼成 | | | 11人 |
| | 8. 14 | 展示作業 | | | 8人 |
| | 8. 14~26 | 展覧会 | | | |
| (3) ミュージアム講座 | | | | | |
| 10. 18 「異国絵へのいざない」 | | 塚原学芸員 | | | 87人 |
| 11. 15 「火山灰に埋もれたまち」 | | 藤井学芸員 | | | 85人 |
| 12. 13 「神戸の仏教美術」 | | 川野学芸員 | | | 73人 |
| 1. 10 「神戸観光写真（昭和初期）をめぐって」 | | 田井学芸員 | | | 75人 |
| 2. 21 「江戸時代絵画と中国の神々」 | | 成澤学芸員 | | | 78人 |
| 3. 14 「世界を描くということ」 | | 三好学芸員 | | | 76人 |
| (4) ジュニアミュージアム講座：小学5・6年生を対象。参加費無料。 | | | | | |
| 第5回「神戸の古文書を読む」 | 10. 6 | 11. 10 | 12. 8 | 11人 | 3回連続 |
| 第6回「こどものための浮世絵入門」 | 1. 12 | | | 9人 | |
| 「中世へのタイムトラベル」 | 2. 17 | | | 13人 | |
| 「銅鐸の世界をのぞいてみよう」 | 3. 9 | | | 15人 | |
| (5) 講座「日中文化交流をさぐる」 | 2. 22 | 3. 1 | 3. 8 | 56人 | 3回連続 |
| (6) 特別講演会 | | | | | |
| ○「古伊万里のすべて」 | 4. 14 | | | 130人 | |
| | 5. 5 | | | 120人 | |
| | 5. 12 | | | 100人 | (スライドレクチャー) |
| ○「文化遺産としてのモダニズム建築展」 | 6. 9 | | | 100人 | |
| ○「川西英の新・旧『神戸百景』」 | 7. 20 | | | 130人 | |
| | 7. 28 | | | 40人 | (スライドレクチャー) |
| ○「異国絵の冒険」 | 9. 22 | | | 20人 | |
| | 9. 29 | | | 30人 | |
| | 10. 6 | | | 35人 | |
| | 10. 13 | | | 35人 | |
| ○「世界遺産 ポンペイ展」 | 12. 9 | | | 180人 | |
| (7) 学校団体受入数（オリエンテーションを含む） | | | | | |
| 幼稚園 | 0園 | 0人、 | 小学校 | 53校 | 3,094人 |
| 中学校 | 57校 | 4,218人、 | 高等学校 | 22校 | 598人 |
| 大学 | 20校 | 943人、 | 専門学校 | 1校 | 76人 |
| 盲養護学校 | 7校 | 85人、 | (計) | 160校 | 9,015人) |

2. 共催事業

| | | | | | | | | |
|------------------------------------|--------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|--------|
| (1) 神戸21世紀・復興記念事業映画祭「こどもを描いた世界の映画」 | 6. 12 | 6. 13 | 6. 14 | 6. 21 | 6. 22 | 6. 23 | 6. 24 | 2,368人 |
| (2) こうべ歴史たんけん隊 | 10. 27 | | | | | | | 8人 |
| (3) 邦楽演奏会及び講習会 | 2. 16 | | 新内、長唄 | | | | | 140人 |
| | 2. 24 | | 地歌、常盤津 | | | | | 127人 |
| | 3. 16 | | 須磨琴 | | | | | 156人 |

※ 複数回開催の講座等に関しては、延べ人数とした。

5 事業一覧

| | 常設展示室 1～5 | 特別展示室 1 | 南蛮美術館室 | 特別展示室 2 | ギャラリー | 普及事業 |
|-----|-------------------------------|---|--|------------------------------------|--------------------------------------|--|
| 4月 | 日本と外国との文化交流のようすを神戸に焦点をあてながら展示 | 特別展 「古伊万里のすべて」 4/14(土)～5/20(日) 32日間 20,588人 | | 企画展 「古地図と版元」 4/14(土)～5/20(日) | 神戸ゆかりの 芸術家たち展Ⅰ 4/14(土)～5/30(水) | 博物館たんけん隊 (5/3) |
| 5月 | | | | | | |
| 6月 | | 特別展 「北京・故宫博物院—黄金の至宝展—」 6/2(土)～7/8(日) 32日間 50,809人 | | | 文化遺産としての モダニズム建築 6/2(土)～7/8(日) | 神戸21世紀・復興 記念事業映画祭 (6/12～14, 21～24) |
| 7月 | | | | | | |
| 8月 | | 企画展 「南蛮美術名品展」 7/20(金・祝)～9/2(日) | 特別展 「川西英の新・旧『神戸百景』」 7/20(金・祝)～9/2(日) 39日間 13,865人 | | 神戸の風景版画 7/11(水)～9/13(木) | 夏休み土器づくり 教室 (7/26,27, 8/3,14,) |
| 9月 | | | | | | ジュニア・ミュージアム講座 (10/6,11/10,12/8 1/12,2/17,3/9) |
| 10月 | | 特別展 「異国絵の冒険 —近世日本美術に見る情報と幻想—」 9/15(土)～10/21(日) 32日間 8,331人 | | | 神戸ゆかりの 芸術家たち展Ⅱ 9/15(土)～11/4(日) | ミュージアム講座 (10/18,11/15, 12/13,1/10,2/2 1,3/14) |
| 11月 | | | | | | こうべ歴史たんけん隊 (10/27) |
| 12月 | | 特別展 「古代ローマの輝き 世界遺産 ポンペイ展」 11/10(土)～1/27(日) 63日間 127,872人 | | | | |
| 1月 | | | | | | |
| 2月 | | | 燻蒸 | | | 邦楽演奏会・講習会 (2/16,2/24,3/16) |
| 3月 | | 企画展 「世界図の歴史」 2/16(土)～3/24(日) | 企画展 「江戸時代の中国趣味」 2/16(土)～3/24(日) | | 神戸の書展 1/31(木)～4/11(木) | 講座 日中文化交流をさぐる (2/22,3/1,3/8) |

特別展開催日数198日、開館日数243日

6 刊行物

平成13年度刊行物

| | | |
|--------|------------------------------|--------|
| 特別展図録 | 川西英の新・旧「神戸百景」 | 1,500円 |
| | 異国絵の冒険 | 2,000円 |
| 館藏品目録 | 美術の部 No18 朝田祥次郎役者絵コレクションII | 200円 |
| | 歴史・考古の部 No18 古文書VI—酒造関係文書2 | 200円 |
| 研究紀要 | No18 | 500円 |
| 年報 | No17（平成12年度） | 500円 |
| 博物館だより | No72（平成13年4月）～No75（平成13年12月） | |

刊行物一覧

図 録

| 発行年 | 図 録 名 | 単価 |
|---------|-----------------|-------|
| 57('82) | 常設展示あんない | 品切 |
| 57('82) | 国宝 桜ヶ丘 銅鐸銅戈 | 品切 |
| 57('82) | 南蛮美術館図録 | 500 |
| 57('82) | 東山魁夷 中国の旅展 | 品切 |
| 60('85) | 館蔵名品図録 | 品切 |
| 63('88) | 博物館総合案内 | 800 |
| 3('91) | 館蔵名品図録 | 2,300 |
| 1('89) | 松方コレクション西洋美術総目録 | — |
| 6('94) | 古地図セレクション | 2,000 |
| 9('97) | 源平物語絵セレクション | 2,000 |
| 10('98) | 南蛮美術セレクション | 2,000 |
| 12('00) | 国宝桜ヶ丘銅鐸・銅戈 | 2,000 |

年 報

| No | 内 容 | 価格 | No | 内 容 | 価格 |
|----|----------|-----|----|--------|-----|
| 1 | 57, 58年度 | 700 | 11 | 5年度 | 500 |
| 2 | 59年度 | 500 | 12 | 6年度 | 500 |
| 3 | 60年度 | 700 | 13 | 7, 8年度 | 800 |
| 4 | 61年度 | 600 | 14 | 9年度 | 500 |
| 5 | 62年度 | 800 | 15 | 10年度 | 500 |
| 6 | 63年度 | 品切 | 16 | 11年度 | 500 |
| 7 | 元年度 | 900 | 17 | 12年度 | 500 |
| 8 | 2年度 | 500 | | | |
| 9 | 3年度 | 500 | | | |
| 10 | 4年度 | 500 | | | |



平成13年（2001）度前半期カレンダー



博物館だより

No. 72 (2001・春)



本誌の中で最も注目されるイベント、日替りランチの提供、中央ホールで開かれる「神戸開港150周年記念展」など、さまざまな企画が盛り込まれています。また、本誌の発行に際しては、神戸市立博物館の発行方針に基づき、環境に配慮した紙を使用しています。

博物館だより No.72（2001年春）

研究紀要

| No | 発行年度 | 内 容 |
|----|------------------|---|
| 1 | 58('83) 500円 | ポルトガル地図学史上における日本地図の変遷 ウィロウパターンの起源と変遷について—18世紀輸出陶磁史の一視点— 航路図屏風考 貝貼り書筆筒 |
| 2 | 59('84) 600円 | 狩野内膳考 江戸時代初期の日本図 安田雷州筆「赤穂義士報復図」と若干の銅版画作品をめぐって |
| 3 | 60('85) 品切 | 東播系中世須恵器生産の成立と展開—神出古窯址群を中心に— 播磨大蔵山遺跡1—縄文土器— 新収南蛮屏風について |
| 4 | 61('86) 800円 | ヴィテ・レーウ号積載の芙蓉手磁器について—17世紀初頭におけるV.O.C.交易— 南波コレクション中の刊行諸国図について 十六~十七世紀初期の摂津国兵庫津史料について—種井家文書の紹介— |
| 5 | 62('87) 500円 | 一人のイギリス人の残したアルバムから—明治20年代前半の神戸外国人居留地の一側面— 渡辺鶴洲家襲蔵粉本の研究 |
| 6 | 63('88) 450円 | 市街地に消えた古墳—念仏山古墳— |
| 7 | 元('89) 300円 | 播磨の古瓦—赤松啓介氏採集品より— 渡辺鶴洲研究資料補遺 |
| 8 | 2('90) 300円 | 「石峯寺経塚」遺物の再検討 五輪塔形曳曼陀羅について—中世版木資料からの考察を中心に— |
| 9 | 3('91) 300円 | 江戸時代後期における輸出漆器の資料 神戸市立博物館所蔵頭椎太刀の保存処理 透過試験による頭椎太刀の観察 |
| 10 | 4('92) 300円 | 『伊能図』に関する若干の考察 鳩谷天愚孔平伝—司馬江漢周辺の一奇人— |
| 11 | 5('93) 500円 | A.H.グルーム1—in日50年に及ぶ1人のイギリス人の足跡— J. ブラウの1645/46年版世界地図について 石峯寺如法大般若経について |
| 12 | 7('95) 500円 | 「大日本国地震之図」の資料紹介 阪神淡路大震災による被害と復旧 |
| 13 | 8('96) 500円 | 神戸市立考古館史稿 神戸市立博物館所蔵経筒の材質について 銅鑄製経筒の保存処理 P. カエリウス1609年版世界地図をめぐって 播州村上家文書について—特別展「鎖国長崎貿易の華」補遺— |
| 14 | 9('97) 500円 | 外国人と土地所有権 怪鳥カズワル江戸を歩く—寛政元年渡来のヒクイドリ— 柳田義一氏蒐集 瓦経資料について |
| 15 | 10('98) 500円 | 中国の西湖景と日本の浮絵—阿英「閑話西湖景」洋片「発展史略」をめぐって— 貞秀=玉蘭齋ノート—地図および地図的作品への手がかりとして— 神戸市立博物館における学校との連携事業 初代玄々堂松本保居の銅版画 |
| 16 | 11('99) 500円 | 国立歴史民俗博物館特定研究南蛮関係資料研究班による 神戸市立博物館所蔵「聖フランシスコ・ザビエル像」の調査に関する概要 大浪から国芳へ—美術にみる蘭書受容のかたち— 「岡山藩家老日置忠自筆御用勤書上」と神戸事件 |
| 17 | 12(2000) 500円 | 近代美術と地図—川上冬崖と岩橋教章— 語りかける図像—太山寺蔵「絹本着色愛染曼荼羅」をめぐって— 『御用唐木細工物雛形』について—近世後期長崎における工芸史料の紹介— |
| 18 | 13(2001) 500円 | 近世期兵庫津北浜における浜先地開発と屋鋪制の変化について 兵庫津遺跡における埋蔵文化財調査の現状 —発掘調査の成果と文献・絵図史料から考える近世都市景観の復元に 向けて— 古地図と版元—館蔵品にみる江戸時代の地図出版について— 新出の毘盧遮那仏変相図について—高麗末期華嚴教仏画の—様相— 昭和初期の神戸観光写真をめぐって 1 |

展覧会図録

| 開催年度 | 展覧会名 | 単価 |
|--------------|--|----------------------------------|
| 57 ('82) | 海のシルクロード 南波松太郎氏収集古地図の世界 | 2,000 品切 |
| 58 ('83) | 神戸の文化財 びいどろ・ぎやまん展 古地図に見る世界と日本 | 1,200 品切 品切 |
| 59 ('84) | 眼鏡絵と東海道五拾三次展 はるばるとオランダ古地図展 更紗の世界展 | 品切 品切 品切 |
| 60 ('85) | 中国五千年の秘宝展—中国天津市文物展— 桃山時代の祭礼と遊楽 | 品切 品切 |
| 61 ('86) | ニューヨークメトロポリタン美術館特別出品 西洋の風景 狩人の夢—オーストラリア、アポリジニの世界— | 1,700 1,300 |
| 62 ('87) | ニューヨークパブリックライブラリー所蔵 日本絵画名作展 神戸はじめ物語展 明治のガラス展—びいどろからガラスへ— | 品切 品切 品切 |
| 63 ('88) | ジャワ更紗展 中世を旅する聖たち展—遍聖人と時宗— 卑弥呼の鏡展 アイルランドチェスタービーティーコレクション日本絵画名作展 神戸ゆかりの巨匠たち展 | 1,500 品切 品切 1,500 品切 |
| 元 ('89) | 松方コレクション展 秋岡古地図コレクション名品展 小磯良平展 | 2,000 品切 品切 |
| 2 ('90) | THE びいどろ展—江戸時代のガラス粋と美— 隠元禅師と黄檗宗の絵画展 石峯寺展 | 1,900 品切 品切 |
| 3 ('91) | 南蛮見聞録—桃山絵画にみる西洋との出会い— | 品切 |
| 4 ('92) | 銅鐸の世界—地の神への「いのり」— 中世の摺経展 | 品切 400 |
| 5 ('93) | 花と鳥たちのパラダイス—江戸時代長崎派の花鳥画— 太山寺の名宝展 栄光のオランダ絵画と日本 | 2,000 2,000 品切 |
| 6 ('94) | 鎖国長崎貿易の華—ギヤマン更紗金唐革— 受贈記念上川庄二郎コレクション—明治鉄道錦絵展 | 2,000 品切 |
| 7 ('95) | 没後30年 川西英展 | 300 |
| 8 ('96) | オルセー美術館展ガイドブック 司馬江漢百科事展—生誕50年江戸時代のマルチタレント | 品切 2,200 |
| 9 ('97) | 日中歴史海道2000年展 日蘭交流のかけ橋展 | 2,000 2,000 |
| 10 ('98) | 神戸淡路鳴門 近世の画家たち コメはじめ物語・古地図と絵解き展 有馬の名宝—蘇生と遊興の文化— | 1,400 品切 2,000 |
| 11 ('99) | 居留地返還100周年記念 神戸横浜“開化物語” 絵図と風景—絵のような地図、地図のような絵— | 1,800 1,800 |
| 12 (2000) | 文化財保護法50年記念 海の考古学 びいどろ・ぎやまん・ガラス—江戸から明治・大正— | 800 2000 |
| 13 (2001) | 川西英の新・旧「神戸百景」 異国絵の冒険 | 1,500 2,000 |

館 蔵 品 目 録

| No | 発行年 | 地 図 の 部 | 価 格 | 美 術 の 部 | 価 格 | 考 古 ・ 歴 史 の 部 | 価 格 |
|----|----------|--|-----|---|-----|--|-----|
| 1 | 59 ('84) | 南波コレクション 世界図・日本図 | 200 | 南蛮美術 | 100 | 古鏡 | 100 |
| 2 | 60 ('85) | 南波コレクション 分国図・地方図・郡村図 | 200 | 黄檗美術・長崎派・長崎版画 | 400 | 引札 | 300 |
| 3 | 61 ('86) | 南波コレクション 諸国図・都市図 | 300 | 江戸時代諸派 | 200 | 小学校教科書 | 300 |
| 4 | 62 ('87) | 南波コレクション 江戸図・京都図・大坂図 | 300 | 浮世絵版画Ⅰ 江戸系 | 500 | 神戸市関係絵地図 | 300 |
| 5 | 63 ('88) | 南波コレクション 外国関係図・北海道関係図 | 200 | 浮世絵版画Ⅱ 江戸系補遺・上方系 大坂系・雑系 石版画 | 400 | 古文書Ⅰ 藻川家文書・上津上村関係 文書 | 400 |
| 6 | 1 ('89) | 南波コレクション 道中関係図・寺社関係図・ その他 | 150 | 銅版画 | 300 | 写真・絵葉書Ⅰ | 300 |
| 7 | 2 ('90) | 新収外国製古地図 | 200 | 地図 文書Ⅰ 博覧会展覧会・横浜・浪速・ 神戸資料綴・開化雑絵・御固 ・外国人物図等・中華船破損 救助感謝状綴・輸出茶商標・ 駱駝図等綴・図書 | 200 | 考古資料Ⅰ | 200 |
| 8 | 3 ('91) | 秋岡コレクション 世界図・日本図・江戸図 都市図・諸国図等 | 200 | 近代絵画 | 200 | 写真・絵葉書Ⅱ | 200 |
| 9 | 4 ('92) | 秋岡コレクション 天文学関係図・暦 | 200 | 文書Ⅱ 川村家文書・村上家(阿蘭陀 宿)文書・川島家文書 | 200 | 引札Ⅱ | 200 |
| 10 | 5 ('93) | 秋岡コレクション 外国製地図・外国製図書 | 200 | 工芸品 | 200 | 神戸市関係絵地図Ⅱ | 200 |
| 11 | 6 ('94) | 秋岡コレクション 地理学関係書・測量関係書・ 漢籍(天文地理測量等) | 200 | 文書Ⅲ 村上家文書・その他貿易文書 | 200 | 古文書Ⅱ 八田家文書・岡田家文書・木 村家文書・中村関係文書・山 路家文書・山口家文書 | 200 |
| 12 | 8 ('96) | 秋岡コレクション 道中関係図・周辺地域図 (小笠原・漂流・航海・北海 道)・その他 | 200 | 文書Ⅳ 林子平関係文書・絵図・版画 古文書・図書原稿類・その他 | 200 | 拓本・石造品・古鏡Ⅱ | 200 |
| 13 | 9 ('97) | 新収蔵古地図 | 200 | 文書Ⅴ 本木家文書邦文資料・同欧文 資料(『諸雑書集』) | 200 | 写真・絵葉書Ⅲ | 200 |
| 14 | 10 ('98) | (古地図資料は13号にて完結) | | 村上金次郎コレクション 補正成および太平記関係資料 | 200 | 古文書Ⅲ 兼吉家文書 | 200 |
| 15 | 11 ('99) | | | 別車博資浮世絵コレクションⅠ 江戸・東京版行の浮世絵資料 | 200 | 写真・絵葉書Ⅳ | 200 |
| 16 | 12(2000) | | | 別車博資浮世絵コレクションⅡ 大坂・京版行の浮世絵資料 | 200 | 古文書Ⅳ 住吉良運商社文書 | 300 |
| 17 | 13(2001) | | | 朝田祥次郎役者絵コレクションⅠ 大坂・京版行の浮世絵資料 | 100 | 古文書Ⅴ 酒造関係文書Ⅰ | 200 |
| 18 | 14(2002) | | | 朝田祥次郎役者絵コレクションⅡ 江戸・東京版行の浮世絵資料 | 200 | 古文書Ⅵ 酒造関係文書Ⅱ | 200 |

収蔵資料

1 新収蔵資料

(1) 受贈資料

| 資料名 | 数量 | 寄贈者 |
|-----------------------|------|------------------------|
| 落合長雄氏収集資料 | 14点 | 落合久子 |
| 日本図文大鏡(台付) | 1枚 | 岡嶋直蔵 |
| 燐寸レットル蒐集帖 | 14冊 | 小畑良和 |
| 松村小琴筆 牡丹図屏風 | 2曲1隻 | 佐々木まり子 |
| 松村小琴筆 君子化為猿之図 | 1幅 | 佐々木まり子 |
| 松村小琴筆 月夜之図 | 1幅 | 佐々木まり子 |
| 松村小琴筆 立雛図 | 1幅 | 佐々木まり子 |
| レファート家資料 | 一括 | Walter Hermann Refardt |
| 片岡利英作 切子(カットガラス) ガラス器 | 39点 | 片岡利英 |
| 神戸遊覧指南 | 1冊 | 小西一正 |
| カウベ | 1冊 | 小西一正 |
| 有馬名所絵葉書 | 13枚 | 小西一正 |

(2) 購入資料

| | | |
|--------------|--|-------|
| ア. 書画作品 | | |
| 渡辺赤水筆 | 黄毛鷲図 | 1幅 |
| 荒木元慶筆 | 唐子図 | 1幅 |
| 渡辺鶴洲筆 | 四睡図 | 1幅 |
| 鉅鹿民部筆 | 白梅綬帯鳥図 | 1幅 |
| 河村若芝筆 | 諸葛孔明読書図 | 1幅 |
| 司馬江漢画 | 霊鷲山図 | 1幅 |
| 森琴石画 | 諸国名所 | 1帖14図 |
| | 阪神名勝図絵 1~6 | 6冊 |
| 川西英・別車博資ほか | MAJOR SCENIC ATTRACTIONS OF HYOGO PREFECTURE | 1件 |
| 神原浩画 | 芝川梅林 | 1枚 |
| 昇外義筆 | 野の秋 | 1面 |
| イ. 工芸品 | | |
| 薩摩系 | 切子藍色脚付ガラス杯 | 1口 |
| 景德鎮窯 | 染付楼閣文皿 | 10枚 |
| 景德鎮窯 | 染付褐釉鉢 | 2口 |
| イギリス | 緑・赤絵西洋風景図皿 | 1枚 |
| オランダ・マーストリヒト | 染付楼閣山水文皿 | 1枚 |
| イギリス・グラスゴウ | 赤絵西洋風景図皿 | 1枚 |
| オランダ・デルフト窯 | 染付西洋紋章文大皿 | 1枚 |
| 井田吉六作 | 藍絵龍文小皿 | 5枚 |
| ウ. 古地図資料 | | |
| 石川流宣編作 | 江戸図鑑綱目 | 2冊 |
| エ. 歴史資料 | | |
| | HARPER'S WEEKLY no. 588 | 1冊 |
| | THE TYPHOON IN JAPAN | 1枚 |

| | | |
|--------|-------------------------|-------|
| | 神戸写真 | 1冊12点 |
| | 摂津国八部郡丹生山田庄原野村文書 | 140件 |
| | 摂津国八部郡栗花落家宛文書 | 1帖 |
| | 兵庫南浜船大工町五人組帳 | 1点 |
| | 兵庫川崎和田岬石堡砲台文書 | 1件 |
| | 播磨国明石郡中村藤田家文書 | 1件 |
| | 居留地内火災後の光景（古写真） | 2枚 |
| オ．書籍資料 | | |
| ニューホフ著 | 東西海陸紀行 | 1冊 |
| カ．複製資料 | | |
| | 辰馬考古史料館蔵出土地不明第404号銅鐸複製品 | 1点 |

2 指定文化財等一覧

| 指定区分 | 指定年月日 | 指定番号 | 資料名称 | 員数 | 時代 |
|----------------|-----------------------------|-----------|--------------------------|------|-----------------------------|
| 国 宝 | 昭和45. 5. 25 | 考第 34号 | 桜ヶ丘銅鐸・銅戈群 | 21口 | 弥生時代中期 |
| 重要文化財 | 昭和28. 3. 31 | 絵第1257号 | 泰西王侯騎馬図 | 4曲1隻 | 江戸時代 |
| 重要文化財 | 昭和32. 2. 19 | 絵第1390号 | 織田信長像（古溪宗陳賛） | 1幅 | 桃山時代 天正11年（1583） |
| 重要文化財 | 昭和43. 4. 25 | 絵第1625号 | 四都図・世界図 | 8曲1双 | 江戸時代初期 |
| 重要文化財 （附指定） | 昭和45. 6. 17 （昭和56. 6. 5） | 建第1771号 | 旧小寺家厩舎設計図他 | 68点 | 明治43年（1910） ※旧小寺家厩舎の附属指定 |
| 重要文化財 | 平成 7. 6. 15 | 絵第1938号 | 南蛮屏風（狩野内膳筆） | 6曲1双 | 桃山時代 |
| 重要文化財 | 平成 9. 6. 30 | 絵第1957号 | 相州鎌倉七里ヶ浜図 （司馬江漢筆） | 2曲1隻 | 寛政 8 年（1796） |
| 重要文化財 | 平成12. 6. 27 | 絵第1974号 | 聖フランシスコ・ザヴィエル像 | 1面 | 江戸時代初期 |
| 重要美術品 | 昭和 9. 9. 1 | | 西洋二武人図・師父二童子図 | 2面 | 江戸時代初期 |
| 重要美術品 | 昭和23. 4. 27 | | 伝福岡県内経塚出土遺物 | 10点 | 平安時代 永久 5 年（1117） |
| 登録文化財 | 平成10. 9. 2 | 第28-0026号 | 神戸市立博物館 （旧横浜正金銀行神戸支店） | 1棟 | 昭和10年（1935） |

3 資料補修

| 資料名 | 数量 | 備考 |
|--------------------------------|-----------|--------------------|
| 韃靼人狩猟図（渡辺鶴洲家襲蔵粉本） | 1枚 | 本紙補修 軸装 |
| 十八羅漢図〔残欠〕（渡辺鶴洲家襲蔵粉本） | 1枚 | 本紙補修 軸装 |
| 柳汀洗馬図（渡辺鶴洲家襲蔵粉本） | 1枚 | 本紙補修 軸装 |
| 桃園結義図（渡辺鶴洲家襲蔵粉本） | 1枚 | 本紙補修 軸装 |
| 石川大浪筆 獅子図 | 1枚 | 補絹・補彩・額補修 |
| 司馬江漢作 靈鷲山図陰刻木版画 | 1枚 | 本紙補修 軸装 |
| ファルク ヨーロッパ図 | 1枚 | 額装 |
| 日本分国図（二）（南波コレクション） | 68舗のうち34舗 | 本紙補修 |
| 青貝細工花鳥図裁縫机 | 1点 | 本体補修 |
| 昇 外義 「野の秋」 | 1枚 | 額装 |
| 林 重義 「雪山」 | 1面 | 額縁補修 |
| 小磯良平 「池長孟肖像」 | 1面 | 裏打・洗浄・補彩・木枠新調・額縁修理 |
| 小松益喜 「最後の異人館」 | 1面 | 額縁補修 |
| 源平浮世絵 | 2枚 | マット装 |
| 川西 英 木版画（「神戸百景」他）（川西・別車コレクション） | 236枚 | マット装 |

4 資料の特別利用

(1) 館外貸出

| 貸出先（会場） | 展覧会名 | 開催期間 | 点数 | 資料名 |
|-------------------------|---------------------------------|----------------|----|--|
| 神戸港振興協会（神戸海洋博物館） | 常設展示 | 13.4.1-14.3.31 | 1 | ブロンズ製平清盛像（西村公朝） |
| 町田市立国際版画美術館 | 夢二1884-1943-アヴァンギャルドとしての抒情- | 13.4.7-6.3 | 2 | LAVIE ETLE SENS 街（以上川西英） |
| 神戸市立小磯記念美術館 | 明治・大正 神戸生まれの芸術家たち展 | 13.4.21-6.10 | 8 | 軽業 黄色い家 自画像 小春日和（以上川西英）メリケン波止場（神原浩）雪山（林重義）海岸通 クレセントビル（以上別車博資） |
| 神戸市教育委員会文化財課（埋蔵文化財センター） | 昔むかしのたべものは？ | 13.4.21-6.3 | 1 | 桜ヶ丘5号銅鐸レプリカ |
| 豊橋市美術館 | 歴史の道～東海道～ | 13.4.21-5.27 | 7 | 東海道写真五十三次勝景 日本橋図 東海道薩陀峠之景 東海道沖津駅勝景 浪花講看板 玉栄講看板 諸国行程大日本道中指南車 |
| 京都府京都文化博物館・京都新聞社 | こころの交流 朝鮮通信使—江戸時代から21世紀へのメッセージ— | 13.4.28-6.3 | 2 | 朝鮮通信使来朝図（羽川藤永） 朝鮮通信使兵庫津上陸・宿割図 |
| 西日本新聞社（香川県歴史博物館） | 古伊万里のすべて | 13.6.9-7.22 | 14 | 色絵鶴丸形瓶 色絵帆船阿蘭陀人文蓋付碗 色絵阿蘭陀人文八角皿 染付阿蘭陀人文八角小鉢 染付阿蘭陀人文八角鉢 染付蒸気船日本地図文大皿 |
| サントリー美術館 | 海と川と湖と—描かれた水辺の人々 | 13.6.19-7.29 | 4 | 相川鎌倉七里浜図 美人納涼図（以上司馬江漢）長崎唐館交易図巻（渡辺秀詮）今戸瓦焼図（亜欧堂田善） |
| 和歌山市立博物館 | 紀州浮世絵づくし | 13.7.20-8.26 | 4 | 高野の玉川（鈴木春信） 京都一覽図画 大坂名所一覽（以上歌川貞秀） 高野山図眼鏡絵 |
| 神戸市教育委員会文化財課（埋蔵文化財センター） | 古代のメインロード—山陽道沿線物語— | 13.7.20-9.2 | 2 | 北宿廢寺出土軒丸瓦（特殊重圏文） 野条廢寺出土軒平瓦（均正唐草文） |

| 貸出先(会場) | 展覧会名 | 開催期間 | 点数 | 資料名 |
|-----------------------|----------------------------|-------------------------------|----|---|
| 大阪府立弥生文化博物館 | なにわ←→きのくに—泉州・紀州の鉄道史— | 13.7.20—9.2 | 7 | 高野山絵図(橘保春) 東海道紀行図巻(伝白雲) 日本三景之内紀州和歌之浦之勝景(五雲亭貞秀) 鉄道旅行案内(吉田初三郎挿図) 増補新刻大日本海陸行程図鑑(千鍾房発) 大日本早引細見地図 西国巡礼図(以上えづ屋庄八) |
| 文化庁(大英博物館) | 古代日本の聖なる美術 | 13.9.5—12.2 | 1 | 桜ヶ丘5号銅鐸 |
| 細見美術財団・細見美術館 | 琳派展Ⅳ 風流公子酒井抱一展—江戸琳派の軌跡を辿る— | 13.9.7—12.16 | 2 | ヒポクラテス像(酒井抱一) 風牡丹図(岸駒) |
| 霞会館(栃木県立博物館) | 光格天皇と幻の将軍—京都・日光・例幣使— | 13.9.11—10.21 | 2 | 白鷺追兎図 鷹に小禽図(以上戸田忠翰) |
| 川崎市市民ミュージアム | 東海道—日本橋、そして川崎宿へ— | 13.9.15—10.21 | 1 | 幕末風俗図巻第2巻 |
| 千葉市美術館・宇都宮美術館・東京新聞事務局 | 日本の版画・1921—1930・都市と女と光と影と | 13.9.18—10.21/ 14.1.6—2.24 | 5 | 曲馬(1925年) 曲馬(1928年) 曲馬(藍摺・1929年) 軽業 曲馬帖(以上川西英) |
| 大阪人権博物館 | 絵図に描かれた被差別民 | 13.9.18—11.4 | 20 | 新版大坂之図 新地入増補大坂図 新板撰津大坂東西南北町嶋之図 新撰増補大坂大絵図 撰州大坂大絵図 改正撰津大絵図 大湊一覽 新改洛陽并洛外之図 新板平安城并洛外之図 新撰増補京大絵図 新板増補京絵図 増補再板京大絵図 京都図 宝曆京都図 天保改正京都指掌図 洛中洛外町々小名大成京細見絵図 袖玉京都細絵図 華洛一覽図絵 改正保和泉国絵図写 撰津国名所大絵図 |
| 神戸新聞社地域活動局(兵庫県立歴史博物館) | キヨッソーネ東洋美術館所蔵 浮世絵展 | 13.9.22—11.4 | 1 | シーボルト像(キヨッソーネ) |
| 仙台市博物館 | 競う!—江戸時代のスポーツ文化— | 13.9.28—11.4 | 7 | 三十三間堂通し矢図(直視式眼鏡絵) 三十三間堂通し矢図(反射式眼鏡絵) 楊弓場(鈴木春重) 三国第一山之図 富士詣独案内(以上五雲亭貞秀) 撰州神戸西洋人馬駆之図(二代長谷川貞信) 谷風と大童山(五月幟) |
| 東北歴史博物館 | はるかみちのく—古典文学と美術にみるすがた— | 13.10.2—11.12 | 1 | 磐城紀行図巻(白雲) |
| 府中市美術館 | 司馬江漢の絵画—西洋との接触、葛藤と確信 | 13.10.6—11.11 | 7 | 三囲景(天明3年) 両国橋 七里浜 播州舞子浜図 駿州柏原富士図 異国風景人物図(以上司馬江漢) |
| 西宮市大谷記念美術館 | 名所を描く | 13.10.6—11.18 | 62 | 高麗橋之図/鎮台之図 住吉社之図/住吉浦之図(以上森琴石・大阪名所のうち) 大阪造幣局図 兵庫舞子之図(以上森琴石・諸国名所のうち) 住吉社前反り橋 大阪城(以上川崎巨泉・大阪名所のうち) 大阪城ばんば之図 大阪江ノ子嶋政府之図 大阪四ツばし之図 大阪松嶋廓出火之図 大阪河崎造幣局之図(以上野村芳国・京阪名所図絵のうち) 神戸海岸繁榮之図 撰州神戸海岸繁榮之図 浪花八景之内川崎鑄造場 浪花川崎鑄造場の風景 浪花新景川崎金次場 浪花真写川崎鑄造場 浪花東掘高麗はし鉄橋之図 阪府高麗鉄橋之図 阪府新名所・神戸海岸 阪府新名所・高麗鉄橋(以上二代長谷川貞信) 神戸ステーション 及ヒ相生橋之景 布引雄滝・布引雌瀧 神戸市中及ヒ海岸 居留地外国クラブ(以上林基春・神戸名所のうち) 住吉神社反橋之図 撰州住吉大神社勝景図(橋本澄月) 大日本五港之内・神戸港 浪花川崎造幣寮(後藤芳景) 高麗橋 四天王寺四ツ橋(以上五流亭景松・浪花勝景のうち) 浪花新景・川崎造幣局(柏園) 浪花天保山風景(五蝶亭貞升) 浪花八景(松田龍山) 浪華高麗鉄橋之図 浪花名所双六(以上松川半山) 錦城の馬場 住吉高とうろう(以上歌川国員・浪花百景のうち) 四ツ橋 新町廓中九軒夜桜(以上一養齋芳滝・浪花百景のうち) 天保山(南粋亭芳雪・浪花百景のうち) 高麗橋 住吉高灯籠 四ツ橋(以上長谷川貞信・浪花百景のうち) 舞子ヶ浜 布引瀧 梅田ステーション 大阪城 住 |

| 貸出先(会場) | 展覧会名 | 開催期間 | 点数 | 資料名 |
|------------|-----------------------|----------------|----|--|
| | | | | 吉造幣局道頓堀(以上阪神名所のうち) 阪神地下鉄のりば 背山眺望 神戸駅前 布引雄滝 港俯瞰 須磨夜桜(以上川西英・神戸百景のうち) 海岸通 神戸山手風景 道頓堀川 旧栄町風景(以上別車博資) |
| 一宮市博物館 | 銅鐸から描く弥生社会—埋められた銅鐸の謎— | 13.10.6—11.4 | 8 | 桜ヶ丘1号・10号・13号銅鐸 桜ヶ丘2号・3号・4号・6号銅鐸レプリカ 入室里出土朝鮮式小銅鐸レプリカ |
| 伊丹市立博物館 | 歴史の道Ⅶ 有馬道 | 13.10.13—11.18 | 7 | 増補有馬手引草 滑稽有馬紀行 有馬温泉古由来山海見立相撲撰津有馬山 有馬本陣御大名入湯書込帳 |
| 静岡県立美術館 | 描かれた東海道 | 13.10.16—11.25 | 7 | 東海道名所一覽(葛飾北斎) 東海道写真五十三駅勝景 東海道高輪風景 東海道薩陀峠之景 東海道沖津駅勝景 東海道荒井之勝景 箱根山富士見平御遊覧諸所遠景之図(以上五雲亭貞秀) |
| 佐野美術館 | 葛飾北斎展 | 13.10.27—11.26 | 19 | 銅板近江八景(袋付) 阿蘭陀画鏡江戸八景(袋付) 風流無くてな、くせ・遠眼鏡(以上葛飾北斎) |
| 千葉市美術館 | 江戸の異国趣味—南蘋風大流行— | 13.10.30—12.9 | 19 | 牡丹に白頭翁図(山田宮常) 聯珠争光図 寒梅緩帯鳥図(以上宋紫石) 桃に瑠璃鳥図(森蘭斎) 柳蔭野馬図(黒川亀玉) 牡丹に蝶図(岸駒) 桃花図(木村蒹葭堂) 菊に白頭翁図(源鸞卿) 翠柳芙蓉白鷺小禽図(諸葛監) 仏手柑に白鷺図 枇杷金鳩図(以上董九如) 牡丹緩帯鳥図(鶴亭) 鷓鴣捉魚図(大友月湖) 源氏活花記後編百瓶図(千葉龍下) 蓮図(小田野直武) 蓮花鷺鳥図(伝郎世寧) 海棠芥子緩帯鳥図(柳沢伊信) 風牡丹図(鄭培) |
| 熱田神宮宝物館 | 南蛮美術と室町・桃山絵画 | 14.1.1—1.29 | 20 | 南蛮屏風 ミュンスター新大陸図 蒔絵楼閣山水に芥河文家屋形箱 蒔絵南蛮人文箱 蒔絵螺鈿鮫皮貼住吉社図鞍袋形箱 蒔絵鉄砲文大鼓胴 天正かるた版木重箱 蒔絵螺鈿花樹鳥獸文洋櫃 貝貼り書算筒 南蛮人散策図柄鏡 南蛮人喫煙図柄鏡 南蛮人散策図八稜鏡 永楽銭・南蛮人象嵌鏡 南蛮船文鐺 南蛮人洋犬文鐺 南蛮人文鐺 南蛮船文鐺 洋文字唐草文鐺 |
| 佐賀県立美術館 | 時代を描く—肥前佐賀の絵師— | 14.2.1—3.10 | 3 | 拾得図(広渡心海) 群仙星祭図(河村若芝) 太公望図(上野若元) |
| 市立長浜城歴史博物館 | 秀吉の城と城下町／長浜・大坂・伏見 | 14.2.1—3.3 | 4 | 新改洛陽並洛外之図 寛文大坂図 長浜町全図 伏見桃山御殿御城ノ画図 |
| 川崎市民ミュージアム | 明治の版画—岡コレクションを中心に— | 14.2.9—3.31 | 7 | 商標類(中川耕山) 西洋国大船の図(伝松本保居) 外国船図(玄々堂) 彫刻会社広告 縁飾り各種(伝スモリック) 甕海魚譜(鹿児島県勸業課発行・白野夏雲編纂) |
| 北九州市立考古博物館 | レプリカ製作のため | 14.3.12—4.26 | 1 | 広形銅戈(伝福岡県浮羽郡出土) |

(2) 特別利用

1. 館外貸出

| 年度 | 件数 | 貸出先 | 貸出点数 |
|----|----|-----|------|
| 4 | 44 | 58 | 318 |
| 5 | 54 | 71 | 392 |
| 6 | 49 | 55 | 278 |
| 7 | 28 | 36 | 291 |
| 8 | 36 | 47 | 421 |

| 年度 | 件数 | 貸出先 | 貸出点数 |
|----|----|-----|-------|
| 9 | 53 | 59 | 311 |
| 10 | 45 | 55 | 1,136 |
| 11 | 47 | 58 | 494 |
| 12 | 35 | 39 | 473 |
| 13 | 32 | 33 | 258 |

2. 特別利用

| | | 昭和57～平成2年度 | | 3年度 | | 4年度 | | 5年度 | | |
|--------------|------|------------|--------|-------|-------|-----|-------|-----|-------|-----|
| 許可件数 | | 2,740※ | | 598 | | 592 | | 574 | | |
| 資料 内 訳 | | 件数 | 点数 | 件数 | 点数 | 件数 | 点数 | 件数 | 点数 | |
| | 熟覧 | 326 | 2,502 | 21 | 262 | 35 | 295 | 42 | 277 | |
| | 模造 | 23 | 44 | 7 | 10 | 5 | 5 | 4 | 5 | |
| | 撮影 | 映画テレビ | 184 | 756 | 56 | 198 | 59 | 237 | 51 | 229 |
| | | 写真 | 359 | 2,202 | 31 | 299 | 53 | 462 | 44 | 198 |
| | 掲載許可 | 2,014 | 5,267 | 427 | 1,228 | 411 | 1,194 | 367 | 747 | |
| | 原版使用 | 1,423 | 4,874 | 361 | 973 | 334 | 927 | 312 | 879 | |
| | 紙焼付与 | 219 | 887 | 29 | 151 | 48 | 373 | 27 | 83 | |
| | その他 | 116 | 394 | 39 | 263 | 54 | 320 | 74 | 265 | |
| | 合計 | 4,664 | 16,926 | 971 | 3,384 | 999 | 3,813 | 921 | 2,683 | |

| | | 6年度 | | 7年度 | | 8年度 | | 9年度 | | |
|--------------|------|-------|-----|-------|-----|-------|-------|-------|-----|-----|
| 許可件数 | | 410 | | 366 | | 479 | | 486 | | |
| 資料 内 訳 | | 件数 | 点数 | 件数 | 点数 | 件数 | 点数 | 件数 | 点数 | |
| | 熟覧 | 24 | 232 | 11 | 169 | 33 | 182 | 41 | 304 | |
| | 模造 | 2 | 4 | 2 | 2 | 1 | 1 | 0 | 0 | |
| | 撮影 | 映画テレビ | 27 | 148 | 4 | 9 | 13 | 31 | 14 | 45 |
| | | 写真 | 25 | 169 | 11 | 109 | 30 | 155 | 23 | 110 |
| | 掲載許可 | 272 | 560 | 314 | 701 | 368 | 1,040 | 380 | 987 | |
| | 原版使用 | 181 | 496 | 195 | 480 | 229 | 807 | 276 | 831 | |
| | 紙焼付与 | 21 | 265 | 8 | 15 | 9 | 101 | 12 | 75 | |
| | その他 | 47 | 101 | 21 | 86 | 56 | 147 | 52 | 226 | |
| 合計 | 599 | 1,975 | 566 | 1,571 | 739 | 2,464 | 798 | 2,578 | | |

| | | 10年度 | | 11年度 | | 12年度 | | 13年度 | | |
|--------------|------|-------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-----|
| 許可件数 | | 525 | | 651 | | 616 | | 618 | | |
| 資料 内 訳 | | 件数 | 点数 | 件数 | 点数 | 件数 | 点数 | 件数 | 点数 | |
| | 熟覧 | 44 | 254 | 41 | 963 | 48 | 512 | 61 | 618 | |
| | 模造 | 2 | 3 | 2 | 2 | 3 | 8 | 2 | 2 | |
| | 撮影 | 映画テレビ | 10 | 70 | 10 | 42 | 13 | 126 | 22 | 127 |
| | | 写真 | 30 | 229 | 39 | 383 | 41 | 374 | 47 | 423 |
| | 掲載許可 | 517 | 921 | 470 | 1,205 | 475 | 1,028 | 481 | 1,065 | |
| | 原版使用 | 288 | 814 | 326 | 968 | 338 | 817 | 320 | 932 | |
| | 紙焼付与 | 17 | 195 | 14 | 45 | 17 | 48 | 10 | 76 | |
| | その他 | 42 | 151 | 71 | 1,429 | 52 | 241 | 65 | 219 | |
| 合計 | 950 | 2,637 | 973 | 5,037 | 987 | 3,157 | 1,008 | 3,462 | | |

※の件数は昭和60年度以降

入館者数

1 経年 (単位：人)

| | 平成元年度まで | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 |
|------|-----------|---------|---------|---------|---------|---------|--------|---------|---------|---------|---------|--------|---------|
| 開館日数 | 2,108 | 285 | 285 | 284 | 365 | 222 | 64 | 284 | 280 | 290 | 292 | 287 | 285 |
| 特別展 | 1,084 | 128 | 177 | 149 | 185 | 123 | 0 | 222 | 193 | 201 | 208 | 163 | 198 |
| 常設展 | 210,219 | 40,321 | 25,335 | 35,016 | 49,622 | 22,587 | 13,483 | 9,858 | 9,729 | 13,052 | 12,104 | 14,941 | 11,924 |
| 特別展 | 870,108 | 104,831 | 155,037 | 165,150 | 619,896 | 85,429 | 0 | 581,931 | 147,368 | 206,298 | 914,949 | 70,090 | 221,465 |
| 普及事業 | 55,820 | 10,891 | 10,856 | 9,244 | 8,081 | 6,059 | 1,821 | 4,009 | 3,592 | 4,570 | 3,603 | 3,554 | 3,473 |
| 計 | 1,136,147 | 156,043 | 191,228 | 209,410 | 677,599 | 144,075 | 15,304 | 595,798 | 160,689 | 223,920 | 930,656 | 88,585 | 236,862 |
| 1日平均 | 539 | 548 | 671 | 737 | 1,856 | 649 | 239 | 2,098 | 574 | 772 | 3,187 | 309 | 831 |
| 特別展 | 803 | 819 | 876 | 1,108 | 3,351 | 695 | 0 | 2,621 | 764 | 1,026 | 4,399 | 430 | 1,119 |

2 年齢・階層別

(単位：人)

| 区 | 月 | 12年度まで | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 13年度計 |
|--------|-------|-----------|-------|--------|--------|--------|-------|-------|-------|--------|--------|--------|-------|-------|---------|
| 分 | 開館日数 | 4,964 | 25 | 22 | 25 | 24 | 27 | 25 | 26 | 22 | 25 | 21 | 16 | 27 | 285 |
| | うち特別展 | 2,828 | 15 | 17 | 25 | 17 | 27 | 16 | 18 | 18 | 25 | 20 | | | 198 |
| 常 | 一 般 | 315,213 | 374 | 298 | | 382 | 37 | 484 | 416 | 368 | 64 | 74 | 1,868 | 2,846 | 7,211 |
| | 高大生 | 41,043 | 14 | 59 | | 58 | 7 | 92 | 68 | 34 | 31 | 38 | 161 | 238 | 800 |
| 設 | 小中生 | 92,263 | 49 | 426 | | 165 | 6 | 210 | 303 | 345 | 9 | 85 | 909 | 1,174 | 3,681 |
| | シルババー | 7,748 | 6 | 9 | | 15 | | 10 | 23 | 19 | | 1 | 60 | 89 | 232 |
| 展 | 小 計 | 456,267 | 443 | 792 | | 620 | 50 | 796 | 810 | 766 | 104 | 198 | 2,998 | 4,347 | 11,924 |
| | 一 般 | 3,254,833 | 5,593 | 12,363 | 30,750 | 14,890 | 7,978 | 3,690 | 4,443 | 22,081 | 36,282 | 52,970 | | | 191,040 |
| 特 | 高大生 | 288,870 | 122 | 336 | 1,418 | 829 | 660 | 143 | 507 | 1,511 | 2,159 | 2,883 | | | 10,568 |
| | 小中生 | 298,040 | 475 | 602 | 1,329 | 384 | 543 | 151 | 506 | 1,865 | 1,302 | 2,031 | | | 9,188 |
| 別 | シルババー | 79,344 | 306 | 791 | 2,869 | 1,014 | 640 | 145 | 116 | 1,220 | 1,206 | 2,362 | | | 10,669 |
| | 小 計 | 3,921,087 | 6,496 | 14,092 | 36,366 | 17,117 | 9,821 | 4,129 | 5,572 | 26,677 | 40,949 | 60,246 | | | 221,465 |
| 普 | 及 事 業 | 122,100 | | 77 | 2,368 | 17 | 8 | | 95 | 90 | 73 | 84 | 378 | 283 | 3,473 |
| | 合 計 | 4,499,454 | 6,939 | 14,961 | 38,734 | 17,754 | 9,879 | 4,925 | 6,477 | 27,533 | 41,126 | 60,528 | 3,376 | 4,630 | 236,862 |
| 入館者数/日 | | 906 | 278 | 680 | 1,549 | 740 | 366 | 197 | 249 | 1,252 | 1,645 | 2,882 | 211 | 171 | 831 |

3 特別展

| 展覧会名 | 期 | 古伊万里のすべて | | 北京・故宮博物院 黄金の至宝展 | | 川西英の新旧 『神戸百景』 | | 異国絵の冒険 | | 世界遺産ポンペイ展 | | 計 |
|------------|-----|-----------|--------|--------------------|--------|------------------|-------|------------|-------|------------|---------|---------|
| | | 4/14~5/20 | (32) | 6/2~7/8 | (32) | 7/20~9/2 | (39) | 9/15~10/21 | (32) | 11/10~1/27 | (63) | |
| 入館料(開催日数) | 入館料 | 入館料 | 入館料 | 入館料 | 入館料 | 入館料 | 入館料 | 入館料 | 入館料 | 入館料 | 入館料 | (198) |
| 一般 | 個人 | 800 | 9,047 | 1,000 | 17,092 | 600 | 5,045 | 800 | 1,999 | 1,200 | 46,401 | 79,584 |
| | 団体 | 600 | 869 | 750 | 1,765 | 450 | 348 | 600 | 408 | 900 | 5,964 | 9,354 |
| | 前売 | 700 | 532 | 850 | 9,485 | | 0 | 700 | 50 | 1,000 | 18,510 | 28,577 |
| | 計 | | 10,448 | | 28,342 | | 5,393 | | 2,457 | | 70,875 | 117,515 |
| 高大生 | 個人 | 550 | 358 | 700 | 1,344 | 400 | 702 | 550 | 322 | 900 | 4,132 | 6,858 |
| | 団体 | 400 | 77 | 550 | 161 | 300 | 218 | 400 | 285 | 700 | 788 | 1,529 |
| | 前売 | 450 | 23 | 600 | 502 | | 0 | 450 | 7 | 750 | 1,605 | 2,137 |
| | 計 | | 458 | | 2,007 | | 920 | | 614 | | 6,525 | 10,524 |
| 小中生 | 個人 | 300 | 293 | 400 | 342 | 250 | 490 | 300 | 98 | 400 | 2,219 | 3,442 |
| | 団体 | 150 | 289 | 250 | 249 | 150 | 4 | 150 | 0 | 250 | 405 | 947 |
| | 前売 | 200 | 1 | 300 | 107 | | 0 | 200 | 2 | 300 | 413 | 523 |
| | 計 | | 583 | | 698 | | 494 | | 100 | | 3,037 | 4,912 |
| シルバー | 個人 | 400 | 1,097 | 500 | 3,763 | 300 | 825 | 400 | 196 | 600 | 4,788 | 10,669 |
| 計 | | 12,586 | | 34,810 | | 7,632 | | 3,367 | | 85,225 | 143,620 | |
| ミュージアム・カード | | 1,032 | | 1,619 | | 865 | | 787 | | 2,193 | 6,496 | |
| 免除・無料 | | 6,970 | | 14,380 | | 5,368 | | 4,177 | | 40,454 | 71,349 | |
| 合計 | | 20,588 | | 50,809 | | 13,865 | | 8,331 | | 127,872 | 221,465 | |
| 入館者数 / 日 | | 643 | | 1,588 | | 356 | | 260 | | 2,030 | 1,119 | |

日誌

平成13年4月14日・特別展「古伊万里のすべて」開催（～5/20）

- 14日・企画展「古地図と版元」開催（～5/20）
- 14日・ギャラリー「神戸ゆかりの芸術家たち展Ⅰ」開催（～5/30）
- 28日・「KOBE2001 ひと・まち・みらい」協賛事業「光都・こうべ」ライトアップ開始
- 5月3日・博物館たんけん隊開催 参加者77人
- 29日・トライやるウイーク 丸山中学校 6人（～6/1）
- 6月2日・特別展「北京・故宮博物院－黄金の至宝展－」開催（～7/8）
- 2日・ギャラリー「文化遺産としてのモダニズム建築」開催（～7/8）
- 5日・トライやるウイーク 御影中学校 2人 本山南中学校 2人（～6/8）
- 12日・映画会「こどもを描いた世界の映画」（～6/14・6/21～6/24）参加者2,368人
- 7月11日・ギャラリー「神戸の風景版画」開催（～9/13）
- 18日・「KOBE2001 ひと・まち・みらい」協賛事業「クロモリット」開催（～8/19）
- 20日・特別展「川西英の新・旧『神戸百景』」開催（～9/2）
- 20日・企画展「南蛮美術名品展」開催（～9/2）
- 20日・開館時間延長、午後7時まで（神戸まつり）
- 24日・博物館実習生受入〔①7/24～28（13人）、②8/7～11（16人）、③8/21～25（16人）〕
- 26日・「夏休み土器づくり教室」開催（7/26・27 成形 参加者17人、8/3 焼成 参加者11名、8/14 展示作業 参加者8人、8/14～26 展覧会）
- 28日・「KOBE2001 ひと・まち・みらい」協賛事業「KOBEで結婚式」開催（7/29・8/4）
- 9月15日・特別展「異国絵の冒険－近世日本美術に見る情報と幻想－」開催（～10/21）
- 15日・ギャラリー「神戸ゆかりの芸術家たち展Ⅱ」開催（～11/4）
- 10月6日・第5回ジュニアミュージアム講座「神戸の古文書を読む」参加者11人（11/10・12/8）
- 14日・神戸市立博物館協議会開催（13年度第1回）
- 18日・第6回ミュージアム講座①「異国絵へのいざない」参加者87人
- 27日・こうべ歴史たんけん隊「神戸の西国街道をあるく」参加者8人
- 11月10日・特別展「古代ローマの輝き 世界遺産 ポンペイ展」開催（～1/27）
- 13日・トライやるウイーク 鷹匠中学校 3人 高取台中学校 3人（～11/16）
- 15日・第6回ミュージアム講座②「火山灰に埋もれたまち」参加者85人
- 12月13日・第6回ミュージアム講座③「神戸の仏教美術」参加者73人
- 12日・開館時間延長、午後7時まで（神戸ルミナリエ ～12/25）
- 17日・「世界遺産 ポンペイ展」臨時開館（12/25）
- 1月10日・第6回ミュージアム講座④「神戸観光写真（昭和初期）をめぐって」参加者75人
- 12日・第6回ジュニアミュージアム講座 参加者37人（2/17・3/9）
- 31日・ギャラリー「神戸の書展」開催（～4/11）
- 2月16日・企画展「世界図の歴史」開催（～3/24）
- 16日・企画展「江戸時代の中国趣味」（～3/24）
- 16日・邦楽演奏会及び講習会 参加者423名（2/16・2/24・3/16）
- 21日・第6回ミュージアム講座⑤「江戸時代絵画と中国の神々」参加者78人
- 22日・講座 日中文化交流をさぐる（3/1・3/8）参加者56名
- 26日・神戸市立博物館協議会（13年第2回）
- 3月14日・第6回ミュージアム講座⑥「世界を描くということ」参加者76人

予 算

(単位 千円)

| 年度 項目 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 |
|----------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 資料購入費 | 80,000 | 80,000 | 0 | 10,000 | 10,000 | 10,000 | 9,000 | 9,000 | 15,000 |
| 資料整理費等 | 24,317 | 22,456 | 13,369 | 22,221 | 19,712 | 18,303 | 18,719 | 17,027 | 17,027 |
| 特別展等開催費 | 295,390 | 108,085 | 23,666 | 168,146 | 112,520 | 89,313 | 165,106 | 81,228 | 65,314 |
| 普及事業費 | 21,486 | 21,014 | 16,916 | 19,203 | 19,280 | 21,722 | 20,889 | 22,556 | 19,600 |
| 光熱水費 | 34,920 | 32,854 | 26,663 | 29,623 | 28,447 | 28,447 | 28,447 | 27,737 | 27,737 |
| 施設管理費等 | 83,578 | 85,459 | 77,770 | 86,411 | 87,531 | 88,605 | 89,585 | 89,585 | 86,510 |
| 事務費等 | 26,979 | 23,391 | 22,060 | 14,898 | 14,094 | 13,805 | 13,169 | 12,238 | 11,954 |
| 合計 | 566,670 | 373,286 | 180,444 | 350,502 | 291,584 | 270,195 | 344,915 | 259,371 | 243,142 |

博物館協議会

平成13年度

会 長

高尾 一彦 神戸大学文学部名誉教授 (学識経験)

副会長

吉村 元雄 大阪芸術大学大学院教授 (/)

委 員

小堀 美須津 神戸市立小学校教育研究会社会科部長 (摩耶小学校長) (学校教育)

安本 功 神戸市立中学校教育研究会社会科部長 (神出中学校長) (/)

油谷 健夫 神戸市立高等学校教育研究会地歴部会長 (葺合高等学校長) (/)

榎 智子 神戸市青少年団体連絡協議会副会長 (社会教育)

土井 芳子 神戸市婦人団体協議会名誉会長 (/)

筋野 典子 神戸市PTA協議会母親専門委員長 (/)

藤原 典久 神戸労働者福祉協議会会長 (/)

神木 哲男 奈良県立大学学長 (学識経験)

金子 裕之 独立行政法人奈良文化財研究所平城宮跡発掘調査部長 (/)

田端 泰子 京都橘女子大学教授 (/)

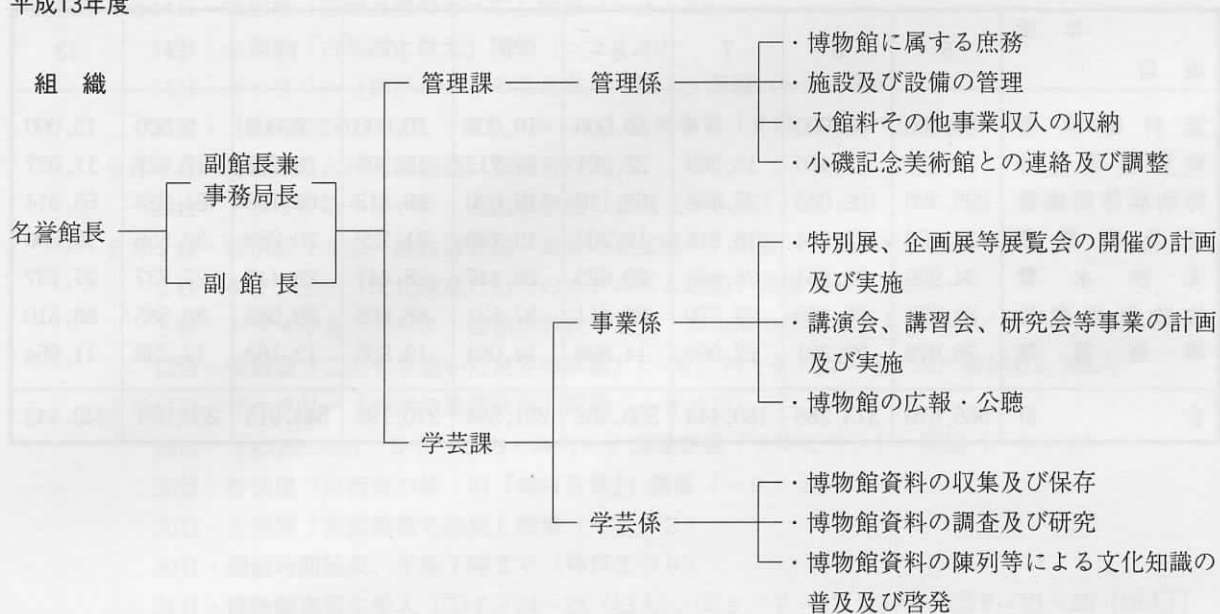
百橋 明穂 神戸大学文学部教授 (/)

奥平 俊六 大阪大学大学院教授 (/)

森田 恒之 国立民族学博物館教授 (/)

組織・職員

平成13年度



職員

| | | | |
|----------|------|------|-------|
| 名誉館長 | 笹山幸俊 | 主査 | 岡泰正 |
| 副館長兼事務局長 | 神内良彦 | 指導主事 | 麻田明生 |
| 副館長 | 崎山昌廣 | 事務職員 | 前田佳世 |
| | | 学芸員 | 國木田明子 |
| | | 〃 | 松林宏典 |
| | | 〃 | 金井紀子 |
| | | 〃 | 高久智広 |
| 管理課 | | 学芸係長 | 三好唯義 |
| 管理課長 | 岸本隆昌 | 指導主事 | 山名則男 |
| 管理係長 | 森本信行 | 学芸員 | 田井玲子 |
| 事務職員 | 福田信安 | 〃 | 勝盛典子 |
| 〃 | 木下広昭 | 〃 | 成澤勝嗣 |
| 学芸課 | | 〃 | 塚原晃 |
| 学芸課長 | 中村善則 | 〃 | 藤井太郎 |
| 事業係長 | 吉田尚 | 〃 | 川野憲一 |

[平成14年3月31日現在]

職員の異動

| | | | | | |
|-----------|-------------|----|-----------|-------------|--------------|
| 13. 3. 31 | 岡部幸雄 (管理課長) | 退職 | 13. 4. 1 | 岸本隆昌 (管理課長) | 玉津南公民館より転入 |
| 13. 4. 1 | 角南金平 (事業係長) | 転出 | 13. 4. 1 | 吉田尚 (事業係長) | 神戸みよりの公社より転入 |
| 13. 4. 19 | 杠文実雄 (管理課) | 転出 | 13. 4. 1 | 麻田明生 (指導主事) | 太山寺中学校より転入 |
| | | | 13. 4. 19 | 木下広昭 (管理課) | 環境局より転入 |

